

基本計画書

基本計画											
事項	記入欄							備考			
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更										
フリガナ設置者	ガッコウホウジン ニホンイリョウダイガク 学校法人 日本医療大学										
フリガナ大学の名称	ニホンイリョウダイガク 日本医療大学 (Japan Health Care College)										
大学本部の位置	北海道札幌市清田区真栄434番地1										
大学の目的	本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、学術の中心として広く知識を受けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開できる保健医療福祉分野の人材の育成を目的とする。										
新設学部等の目的	医療技術の高度化、進行する高齢化に対応できる幅広い教養を持ち、地域に貢献することができる看護師、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師の育成を目的としている。隣接する高齢者施設、障がい者就労施設の障害者と交流する環境から、更なる人材の育成が必要であるため、入学定員を変更する。										
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	平成30年3月収容定員増認可申請中		
	保健医療学部	年	人	年次人	人	学 士 (看護学)	平成31年4月 第1年次	北海道札幌市清田区真栄434番地1 北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号			
	看護学科	4	100 (80)	—	400 (320)	学 士 (看護学)	平成31年4月 第1年次				
	リハビリテーション学科	4	120 (80)	—	480 (320)	学 士 (リハビリテーション学)	平成31年4月 第1年次				
	理学療法学専攻	4	80 (40)	—	320 (160)	学 士 (リハビリテーション学)	平成27年4月 第1年次				
	作業療法学専攻	4	40	—	160	学 士 (診療放射線学)	平成28年4月 第1年次				
	診療放射線学科	4	50	—	200	学 士 (診療放射線学)	平成28年4月 第1年次	北海道札幌市清田区真栄434番地1			
計		270 (210)	—	1,080 (840)							
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし										
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数					
		講義	演習	実験・実習	計	—					
—		—	—	—	—	—					
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等		
				教授	准教授	講師	助教	計		助手	
	新設分	保健医療学部 看護学科			11 (10)	2 (3)	6 (6)	7 (6)	26 (25)	3 (3)	37 (37)
		保健医療学部 リハビリテーション学科			6 (5)	2 (2)	5 (5)	5 (5)	18 (17)	0 (1)	68 (68)
		保健医療学部 診療放射線学科			6 (6)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	35 (35)
		計			23 (21)	4 (5)	15 (15)	12 (11)	54 (52)	3 (4)	140 (140)
	既設分	該当なし			— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
計			— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)		
合計			23 (21)	4 (5)	15 (15)	12 (10)	55 (51)	3 (3)	140 (140)		

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		23 (20)	7 (6)	30 (26)					
	技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	図 書 館 専 門 職 員		2 (2)	0 (0)	2 (2)					
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	2 (2)	2 (2)					
	計		25 (22)	9 (8)	34 (30)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(借用地) 運動場 面積：13,710㎡ 期間：20年				
	校 舎 敷 地	29,831㎡	0㎡	0㎡	29,831㎡					
	運 動 場 用 地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡					
	小 計	43,541㎡	0㎡	0㎡	43,541㎡	駐車場 面積：3,058㎡ 期間：1年自動 更新				
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡					
	合 計	46,599㎡	0㎡	0㎡	46,599㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
		16,060.03㎡ (16,060.03㎡)	0.00㎡ (0㎡)	0.00㎡ (0㎡)	16,060.03㎡ (16,060.03㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	30 室	26 室	19 室	2 室 (補助職員 0人)	情報処理室と共用 (補助職員 0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数					
		大学全体			50 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	保健医療学部 看護学科	15,637 [342] (15,462 [339])	63 [9] (61 [9])	6 [3] (6 [2])	469 (461)	6,434 (6,450)	96 (96)			
	リハビリテーション学科	9,140 [237] (8,356 [166])	42 [12] (42 [12])	0 [0] (0 [0])	61 (71)	960 (962)	30 (32)			
	診療放射線学科	2,577 [129] (2,149 [53])	63 [25] (12 [4])	5 [5] (3 [3])	33 (29)	834 (834)	25 (25)			
	計	27,354 [708] (25,967 [558])	271 [74] (115 [25])	19 [16] (9 [5])	563 (561)	8228 (8,246)	151 (173)			
	図書館	面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数				
	534.95㎡		130席		43,800冊					
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
	1,216.10㎡		テニスコート1面							
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
		教員一人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	－千円	－千円	
		共同研究費等		9,000千円	9,000千円	9,000千円	9,000千円	－千円	－千円	
		図書購入費	7,200千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	－千円	－千円	
	設備購入費	10,000千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	校舎移転時変更になる場合がある		
	看護学科	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	－千円	－千円			
	リハビリテーション学科	1,300千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	－千円	－千円			
	診療放射線学科	1,400千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	－千円	－千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要			寄付金、補助金等						

既設大学等の状況	大学の名称	日本医療大学							所在地
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定年次人	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	
	保健医療学部						0.95		
	看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	1.07	H26年度	北海道札幌市清田区真栄434番地1
	リハビリテーション学科	4	80	—	320	学士(リハビリテーション学)	0.73	H27年度	北海道恵庭市恵み野西6丁目17番3号
	理学療法学専攻	4	40	—	160		0.97		
	作業療法学専攻	4	40	—	160		0.49		
	診療放射線学科	4	50	—	200	学士(診療放射線学)	1.08	H28年度	北海道札幌市清田区真栄434番地1
附属施設の概要									

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の場合、収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人日本医療大学収容定員に係る学則変更認可等に関わる組織の移行表

【収容定員変更】

平成 30 年度 入学定員 収容定員 平成 31 年度 入学定員 収容定員 変更の事由

日本医療大学		
保健医療学部		
看護学科	80	320
リハビリテーション学科	80	320
(理学科学専攻	40	160)
(作業科学専攻	40	160)
診療放射線学科	50	200
計	210	840

日本医療大学		
保健医療学部		
看護学科	<u>100</u>	<u>400</u> 定員変更(20)(認可)3月申請
リハビリテーション学科	<u>120</u>	<u>480</u> 定員変更(40)(認可)
(理学科学専攻	<u>80</u>	<u>320</u>)
(作業科学専攻	40	160)
診療放射線学科	<u>50</u>	<u>200</u>
計	<u>270</u>	<u>1080</u> 定員変更(60)(認可)

日本医療大学保健医療学部 リハビリテーション学科 所在地

【北海道恵庭市】

恵庭市は、札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置し、恵まれた交通アクセスと穏やかな気候風土を背景に、早くから住宅地整備を進めると共に、公共下水道や大学・専門学校、工業団地などの都市基盤の整備を進めている。

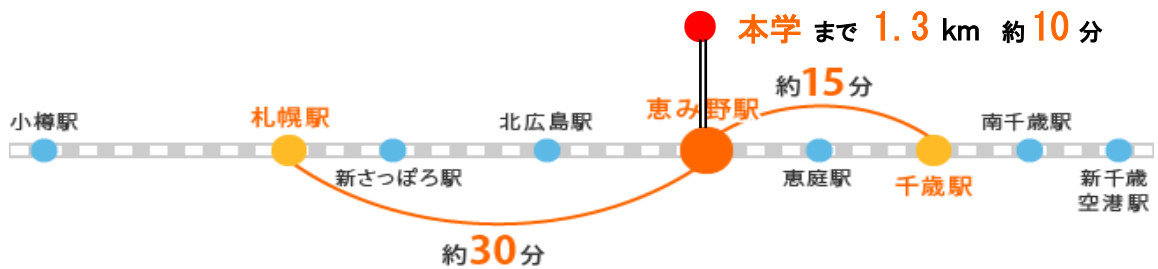


【恵庭市の概要】

(平成 30 年 5 月現在)

総人口：69,613 人
 男性：33,809 人
 女性：35,804 人
 世帯数：32,266 世帯

位置：東端 東経141度39分
 西端 東経141度14分
 南端 北緯 42度47分
 北端 北緯 43度00分



【校地位置】 北海道恵庭市恵み野西 6 丁目 17-3 (電話 0123-29-3171)

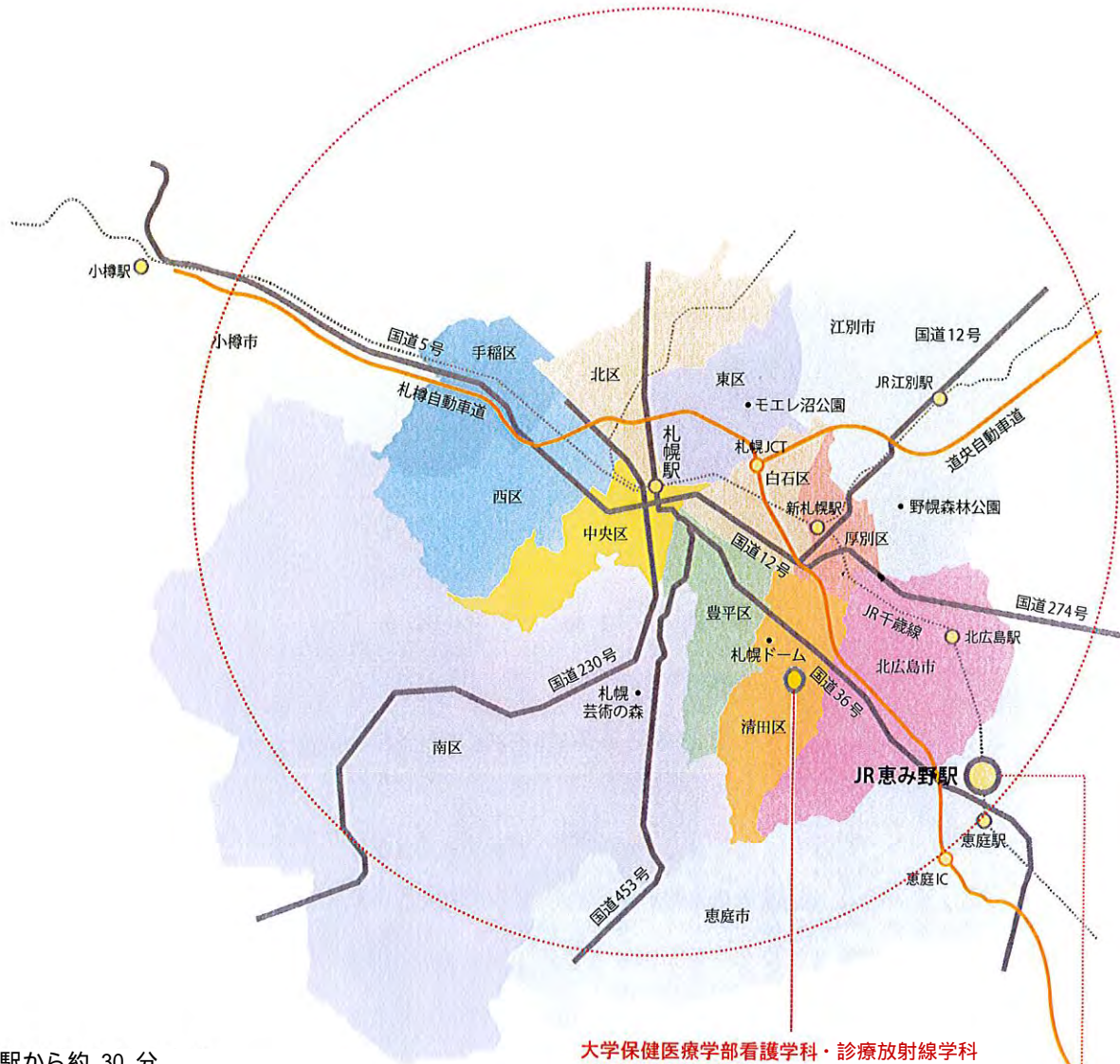


〔JR千歳線利用〕

- 新千歳空港から
 JR千歳線新千歳空港駅乗車、恵み野駅下車（快速利用は恵庭駅で普通列車乗換）25分、同駅から徒歩10分（1.3km）
- 札幌駅から
 JR千歳線札幌駅乗車、恵み野駅下車（快速利用は北広島駅で普通列車乗換）30分、同駅から徒歩10分（1.3km）

〔乗用車利用〕

- 札幌から道央自動車道利用（恵庭IC）35分
- 新千歳空港から道央自動車道利用（恵庭IC）25分

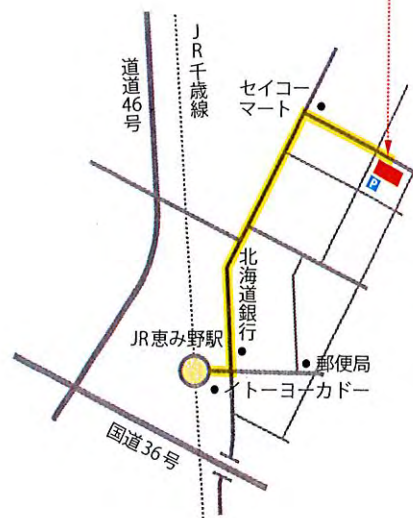


大学保健医療学部看護学科・診療放射線学科
(札幌市清田区真栄 434-1)

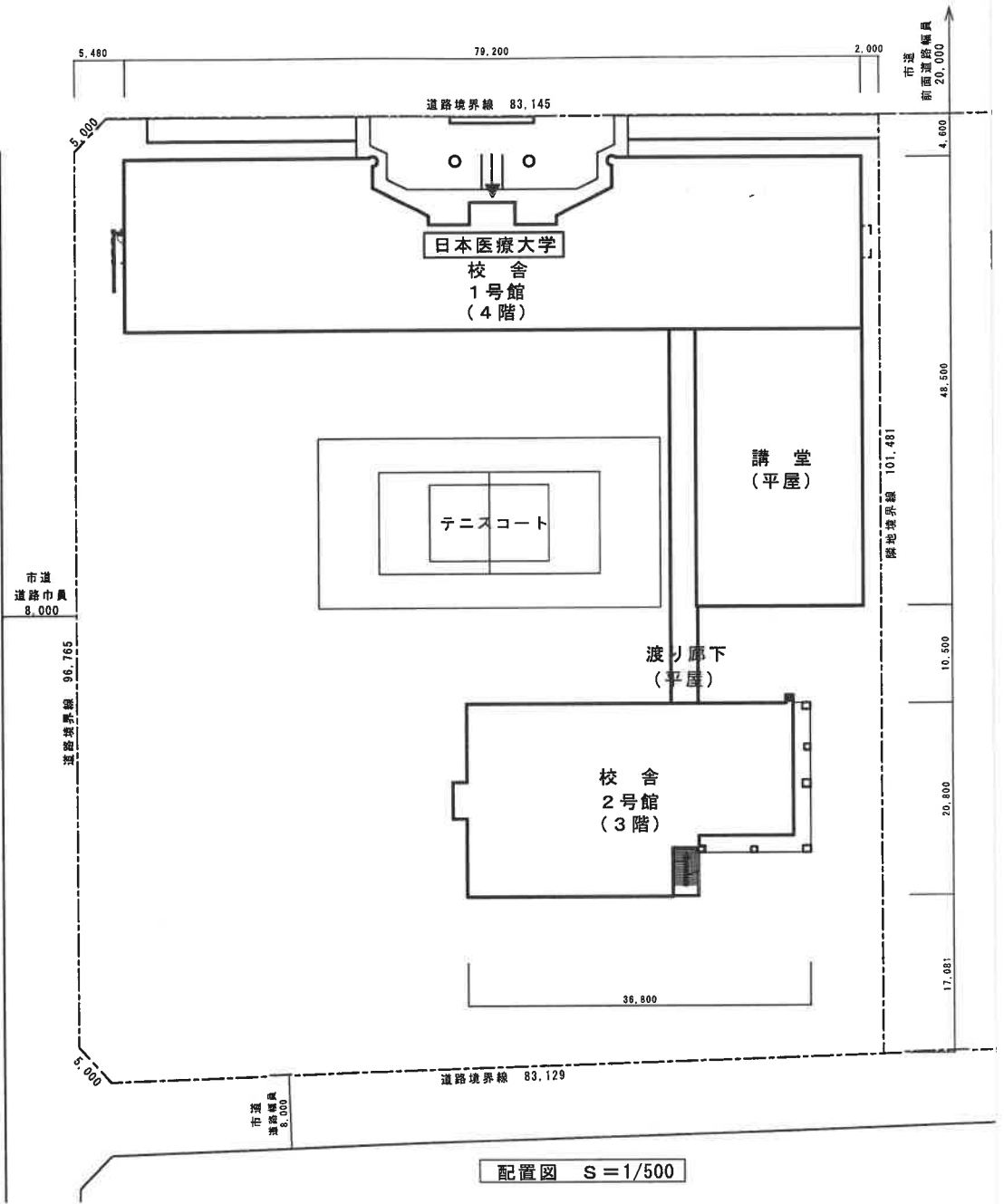
日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科

J R 札幌駅から約 30 分、
J R 恵み野駅下車、1.3 km 徒歩 10 分、
道央自動車道恵み野 I C から約 5 km。

札幌エリアに近く、自然豊かな
恵まれた環境の中にあります。



※特急および快速エアポートは J R 恵み野駅には停車しませんのでご注意ください。
快速をご利用の場合、札幌・小樽方面よりお越しの方は JR 北広島駅で、千歳方面よりお越しの方は JR 恵庭駅でそれぞれ乗り換えとなります。



日本医療大学学則（案）

（平成26年4月1日制定）

第1章 総 則

（目 的）

第1条 日本医療大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法並びに建学の精神に基づき、深く専門の学術を教授及び研究し、人間尊重を基盤とした医療人を育成して、社会の発展に寄与するとともに人々の健康及び生活の向上に貢献することを目的とする。

（所在地）

第2条 本学保健医療学部看護学科は、札幌市清田区真栄434番地1に置く。

2 本学保健医療学部リハビリテーション学科は、恵庭市恵み野西6丁目17番3号に置く。

3 本学保健医療学部診療放射線学科は、札幌市清田区真栄434番地1に置く。

（自己評価等）

第3条 本学は、教育水準の向上及び活性化を図り、その目的と社会的使命を果たすため、教育研究活動等について自己点検及び評価を行う。

2 自己点検及び評価に関する事項については、別に定める。

（ファカルティ・ディベロップメント）

第4条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究の実施に努めるものとする。

（情報公開）

第5条 本学は、教育研究活動等の実施及び成果に関する情報を広く社会に公開するよう努めるものとする。

第2章 学部、学科及び修業年限

（学部及び学科）

第6条 本学に、保健医療学部を置き、次の学科を置く。

- (1) 看護学科
- (2) リハビリテーション学科 理学療法学専攻及び作業療法学専攻
- (3) 診療放射線学科

2 前項の学部及び学科の教育上の目的

生命の尊厳の理念に基づき、豊かな感性と教養で人間性を高め、高度な知識と技術を学修し、倫理的及び論理的な実践力で、地域医療に貢献する医療人を育成する。

（修業年限）

第7条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、8年を超えて在学することはできない。

2 第16条により許可を得て留学した期間は、前項の修業年限に算入することができる。

第3章 入学定員及び収容定員

(入学定員及び収容定員)

第8条 本学の入学定員及び収容定員は、別表第1のとおりとする。

第4章 入学、休学及び退学等

(入学時期)

第9条 入学の時期は毎年4月とする。

(入学資格)

第10条 本学に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)
- (3) 外国において、学校教育による12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (8) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

(入学の出願)

第11条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて願いでなければならない。

- 2 提出期限、方法、提出すべき書類等に関する事項については、別に定める。

(入学者の選考)

第12条 入学志願者については、所定の入学試験を行い、合格者を決定する。

- 2 入学者の選考に関する事項については、別に定める。

(入学の手続及び入学許可)

第13条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに所定の手続きを完了した者に、学長は入学を許可する。

- 2 入学手続に関する事項については、別に定める。

(編入学)

第14条 本学への編入学を志願する者があるときには、選考のうえ、学長が教授会に意見を求め相当年次に入学を許可することがある。

(転入学)

第15条 他大学の学生で、本学への転入学を志願する者があるときには、選考のうえ、学長が教授会に意見を求め相当年次に入学を許可することがある。

(留 学)

第16条 外国及び国内の大学に留学を志望する者は、学長が教授会に意見を求め留学を許可することがある。

(休 学)

第17条 疾病その他やむを得ない事由により、3月以上修学できない者は、学長が教授会に意見を求め休学を許可することがある。

2 疾病その他の事由により修学が不相当と認められる学生に対して、学長は休学を命ずることがある。

3 休学期間は1年以内とする。ただし、通算して2年を超えることができない。

4 休学期間は、第7条に定める修業年限の期間に算入しない。

(復 学)

第18条 休学期間が満了したとき、又は休学期間中にその理由が消滅したときは、学長が教授会に意見を求め復学を許可することがある。

(退 学)

第19条 学生が退学しようとするときは、所定の書類を提出し、学長は教授会に意見を求め、許可する。

(再入学)

第20条 前条による退学者が3年以内に再入学を願い出た場合は、学長は教授会に意見を求め、これを許可することがある。

(除 籍)

第21条 学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、学長は教授会に意見を求め、除籍することができる。

- (1) 第7条に規定する在学期間を超えるとき
- (2) 死亡の届出があったとき
- (3) 長期にわたり行方不明の届出があった場合
- (4) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納入しないとき
- (5) 休学期間満了前に、復学、退学又は休学の願い出がないとき
- (6) 入学を辞退したとき

第5章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第 22 条 学年は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(学 期)

第 23 条 学期は次の 2 学期に分ける。

- (1) 前期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで
- (2) 後期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

(休業日)

第 24 条 休業日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)で規定する日
- (3) 創立記念日
- (4) 春季休業
- (5) 夏季休業
- (6) 冬季休業

2 学長が必要と認めた場合には、前項の休業日を変更することができる。

第 6 章 授業科目、履修方法、試験及び成績の評価

(授業科目)

第 25 条 授業科目は、必修科目及び選択科目とする。

2 授業科目及び単位数は、別表第 2 のとおりとする。

(授業科目の履修方法)

第 26 条 授業科目の履修方法に関する事項は、別に定める。

(単位数の計算方法)

第 27 条 各授業科目の単位数は、1 単位について 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 1 つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2 以上の方法の併用により行う授業については、前各号の組み合わせに応じ、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

(試 験)

第 28 条 履修した授業科目については、定期の試験を行い、学業成績を考査する。

2 試験に関する事項については、別に定める。

(成績の評価)

第 29 条 授業科目の成績の評価は、AA、A、B、C及びDとし、AA、A、B及びCを合格とする。

- 2 前項の成績評価基準については、あらかじめ明示するものとする。
- 3 合格した授業科目については、所定の単位を与える。
- 4 前項の成績は、学生に通知する。

(他大学等の授業科目の履修)

第 30 条 学長が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学の授業科目を履修することを認めることができる。

- 2 前項により学生が履修した授業科目について修得した単位は、60 単位を超えない範囲で本学において修得した単位と認めることができる。
- 3 第 1 項及び前項により学生が授業科目を履修するために本学を離れて他の地に滞在する期間は、本学の在学期間に含めることができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第 31 条 学長が教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生の制度により修得した単位を含む)を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 学長が教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなすことができる。
- 3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、前条により本学において履修したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 7 章 卒業及び学位授与

(卒業)

第 32 条 本学に 4 年以上在学し、別表第 2 に定める所定の授業科目及び単位を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

- 2 前項の卒業認定基準については、あらかじめ明示するものとする。
- 3 第 1 項の在学年限には、休学の期間を算入しない。

(学位の授与)

第 33 条 卒業証書を授与された者には、次の区分に従って学士の学位を授与する。

保健医療学部 看護学科 学士(看護学)

リハビリテーション学科 学士(リハビリテーション学)

診療放射線学科 学士(診療放射線学)

(資格の取得)

第34条 保健医療学部看護学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、保健師助産師看護師法に基づき、看護師国家試験の受験資格が与えられる。

2 保健医療学部リハビリテーション学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、理学療法士及び作業療法士法に基づき、理学療法士国家試験又は作業療法士国家試験の受験資格が与えられる。

3 保健医療学部診療放射線学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、診療放射線技師法に基づき、診療放射線技師国家試験の受験資格が与えられる。

第8章 入学検定料、入学金及び授業料等

(授業料等)

第35条 入学検定料、入学金及び授業料等の金額は、別表第4のとおりとする。

(授業料等の納付)

第36条 授業料等は、別に定める期日までに納付しなければならない。ただし、特別の事情があると認められる者は、学長の許可を得て延納することができる。

(納付金の取扱い)

第37条 納付した入学検定料及び入学金は返還しない。

2 入学検定料、入学金及び授業料等の取扱いに関する事項は、別に定める。

第9章 賞 罰

(表彰)

第38条 学生として表彰に値する行為があった者は、学長が教授会に意見を求め表彰することがある。

(懲戒)

第39条 本学の学則に違反し、又は学生の本分に反する行為をした者は、学長が教授会に意見を求め懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、戒告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当した学生に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業を怠り成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由なくして出席が常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第10章 教職員組織

(職員の種類)

第40条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員その他必要な職員を置く。

(学部長)

第41条 学部に学部長を置き、本学の教授をもって充てる。

2 学部長は、学部に関する事項を統括する。

(学科長)

第42条 学科に学科長を置き、本学の教授をもって充てる。

2 学科長は学部長を補佐し、学科に関する事項を総括する。

(事務局)

第43条 本学に事務局を置く。

2 事務局に関する事項については、別に定める。

第11章 教授会等

(教授会)

第44条 本学に教授会を置き、教授会に関する事項については、別に定める。

(委員会)

第45条 本学に、大学運営に必要な委員会を置くことができる。

2 委員会に関する事項については、別に定める。

第12章 附属施設

(附属図書館)

第46条 本学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する事項については、別に定める。

(研究所)

第47条 本学に、認知症研究所を置く。

2 認知症研究所に関する事項については、別に定める。

(キャリア学修支援センター)

第48条 本学に、キャリア学修支援センターを置く。

2 キャリア学修支援センターに関する事項については、別に定める。

(改 廢)

第49条 この規則の改廢は、学長が教授会に意見を求め、理事会の議を経て、理事長が行う。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 入学定員及び収容定員

学 部	学 科	専 攻	入 学 定 員	収 容 定 員
保 健 医 療 学 部	看 護 学 科		100 人	400 人
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	80 人	320 人
		作業療法学専攻	40 人	160 人
	診 療 放 射 線 学 科		50 人	200 人

別表第2 日本医療大学保健医療学部 教育課程（第25条第2項関係）

看護学科

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
基 礎 教 育 科 目	導入	看護を知る	1前	1		
	人間の理解	生命科学	1前	1		選択科目5単位から 3単位以上選択
		心理学	1前	1		
		発達心理学	1後		1	
		倫理学	1前		1	
		生命倫理	1後		1	
		哲学	1後		1	
		論理学	1前	1		
		宗教と思想	2前		1	
	人間と社会	人間関係論	1前		1	選択科目8単位から 6単位以上選択
		文化人類学	1後		1	
		社会学	1後		1	
		音楽	2後		1	
		法学	2前		1	
		教育学	2前		1	
		北海道史	1前		1	
		ボランティア活動	2前		1	
	生活と情報	生活科学	1後		2	選択科目7単位から 5単位以上選択
		自然科学	1前		1	
		環境科学	1後		1	
		生活と運動	1前		1	
健康とスポーツ		1後		1		
統計学		1後		1		
情報科学Ⅰ		1前	1			
情報科学Ⅱ		1前	1			
語学	日本語表現	1前	1		選択科目4単位から 2単位以上選択	
	英語Ⅰ	1前	1			
	英語Ⅱ	1後	1			
	英語Ⅲ	2前		1		
	英語Ⅳ	3前		1		
	中国語	2前		1		
	韓国語	2前		1		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専門基礎教育科目	健康と疾病	総合医療論	1前	1		
		形態機能学Ⅰ	1前	1		
		形態機能学Ⅱ	1通	2		
		形態機能学Ⅲ	1前	1		
		臨床微生物学	1前	1		
		病態病理学	2前	1		
		臨床薬理学	3前	1		
		臨床栄養学	3前	1		
		治療法概論	2前	1		
		疾病論Ⅰ	2前	1		
		疾病論Ⅱ	2後	1		
		疾病論Ⅲ	2後	1		
		疾病論Ⅳ	2後	1		
		感染症概論	1後	1		
		リハビリテーション概論	3前	1		
	社会と健康支援	公衆衛生学	1後	1		
		保健医療統計	2前	1		
		健康教育論	3前	1		
		保健医療福祉行政論	2前	1		
		社会福祉論	1後	2		
		チーム医療	2後	1		
		関係法規	3前	1		
		家族論	2前		1	} 選択科目4単位から 2単位以上選択
コミュニケーション論		1後		1		
カウンセリング論	3前		1			
臨床心理	2後		1			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専 門 教 育 科 目	看 護 の 基 本	看護学概論	1前	2		
		援助的人間関係論	1後	1		
		看護過程論	2前	1		
		看護倫理	3前	1		
		看護の基本技術論	1前	1		
		生活援助技術Ⅰ	1前	1		
		生活援助技術Ⅱ	1後	1		
		生活援助技術Ⅲ	1後	1		
		診療過程の援助技術	2後	1		
		看護ヘルスアセスメント論	2前	1		
		医療安全	3前	1		
		基礎看護学実習Ⅰ	2前	1		
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		
	対 象 の 特 徴 と 看 護 実 践	成人看護学概論	2前	2		
		成人看護援助論Ⅰ	2後	1		
		成人看護援助論Ⅱ	3前	1		
		成人看護援助論Ⅲ	3前	1		
		成人看護学特論	2後	1		
		成人看護学実習Ⅰ	3後	4		
		成人看護学実習Ⅱ	4前	2		
		老年看護学概論	2前	2		
		高齢者の健康障害	2後	1		
		老年看護援助論Ⅰ	2後	1		
		老年看護援助論Ⅱ	3前	1		
		老年看護学実習Ⅰ	3後	2		
		老年看護学実習Ⅱ	4前	2		
		小児看護学概論	3前	2		
		小児の健康障害	3前	1		
		小児看護援助論	3後	1		
		小児看護学実習	4前	2		
母性看護学概論	2後	2				
女性の健康障害	3前	1				
母性看護援助論	3後	1				
母性看護学実習	4前	2				

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数		備 考
				必修	選択	
専 門 教 育 科 目	看護実践 対象の特徴と	精神看護学概論	2後	2		
		精神の健康障害	2後	1		
		精神看護援助論	3前	1		
		精神看護学実習	3後	2		
	看護の統合実習	在宅看護学概論	2後	2		
		在宅看護援助論Ⅰ	3前	1		
		在宅看護援助論Ⅱ	3後	1		
		在宅看護学実習	4前	2		
		統合実習	4前	2		
		看護研究	3前	1		
		看護研究演習Ⅰ	3通	1		
		看護研究演習Ⅱ	4通	1		
		看護管理	3前	1		} 選択科目5単位から 3単位以上選択
		感染管理	3前		1	
		看護教育	4後		1	
		災害看護	4後		1	
		医療情報	4後		1	
		現代の看護と課題	4後	1		
		臨床看護技術演習	4後	1		
		看護ゼミナールⅠ	2通	1		
看護ゼミナールⅡ	4通	1				

リハビリテーション学科

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
基礎	科学的思考の基礎	心理学	1前	1		選択科目10単位から7単位以上選択
		発達心理学	1後		1	
		生物学	1前		2	
		物理学	1前		2	
		生活科学	1後		1	
		環境科学	1前		1	
		生活と運動	1後	1		
		健康とスポーツ	1後		1	
		統計学	1後		1	
		情報科学	1前	1		
		情報科学演習	1前		1	
		人間発達学	2後	2		
教育科目	人間と生活	倫理学	1前	1		選択科目11単位から3単位以上選択
		生命倫理	1後	1		
		哲学	1後		1	
		論理学	1前		1	
		宗教と思想	2前		1	
		人間関係論	1後		1	
		文化人類学	1後		1	
		社会学	1後		1	
		音楽	2後		1	
		法学	1前		1	
		教育学	1前		1	
		北海道史	1前		1	
ボランティア活動	2後		1			
語学	語学	日本語表現	1前	1		選択科目4単位から2単位以上選択
		英語Ⅰ	1前	1		
		英語Ⅱ	1後	1		
		英語Ⅲ	2前		1	
		英語Ⅳ	3前		1	
		中国語	1後		1	
		韓国語	2前		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専門	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学	1前	4		
		解剖学演習（骨・筋）	1前	2		
		解剖学演習（神経）	1後	1		
		体表解剖学	1前	1		
		機能解剖学	1後	1		
		生理学	1前	4		
		生理学演習	2前	1		
		運動学	2前	4		
		運動学演習	2後	1		
基礎教育科目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1後	2		選択科目10単位から4単位以上選択
		栄養学	1前		2	
		臨床心理学	2前		2	
		カウンセリング論	2後		2	
		教育心理学	2前		2	
		内科学	2後	2		
		整形外科学	2前	2		
		神経内科学	2前	2		
		精神医学	2後	2		
		小児科学	2前	1		
障害学特論	2後		2			
専門	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション論	1後	2		選択科目3単位から1単位以上選択
		チーム医療論	3前	1		
		保健医療論	2後		1	
		社会福祉学	1後		1	
		健康政策論	4後		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専門教育科目	基礎理学療法学	理学療法概論	1前		1	(理学療法学専攻) 5単位選択
		理学療法概論演習	1後		1	
		理学療法学セミナーⅠ	1後		1	
		理学療法学セミナーⅡ	2後		1	
		理学療法学セミナーⅢ	3前		1	
	基礎作業療法学	作業療法概論	1前		1	(作業療法学専攻) 7単位選択
		作業療法概論演習	1後		1	
		基礎作業学演習(基礎作業分析)	1前		1	
		基礎作業学演習(応用作業分析)	1後		1	
		作業療法学セミナーⅠ	1後		1	
		作業療法学セミナーⅡ	2後		1	
	理学療法評価学	理学療法評価学(運動貴兄)	2通		1	(理学療法学専攻) 8単位選択
理学療法評価学演習(運動貴兄)		2通		2		
理学療法評価学(神経系)		2通		1		
理学療法評価学演習(神経系)		2通		2		
臨床判断学(基礎編)		2後		1		
臨床判断学(応用編)		3後		1		
作業療法評価学	作業療法評価学	2前		1	(作業療法学専攻) 7単位選択	
	作業療法評価学演習(木曾評価)	2前		1		
	作業療法評価学演習(骨・関節系)	2前		1		
	作業療法評価学演習(神経・筋力系)	2後		2		
	作業療法評価学演習(中枢神経系)	2後		2		
理学療法治療学	運動療法学	2前		1	(理学療法学専攻) ※1	
	運動療法学演習	2後		1		
	運動器障害理学療法学	3前		1		
	運動器障害理学療法学演習	3前		1		
	神経障害理学療法学	3前		1		
	神経障害理学療法学演習	3前		1		
	呼吸・循環器障害理学療法学	3後		1		
	代謝・免疫系障害理学療法学	3前		1		
	発達障害理学療法学	3後		1		
	高齢期障害理学療法学	3後		1		
	物理療法学	3前		1		
物理療法学演習	3前		1			

専 門 教 育 科 目	理学療法治療学	義肢装具学	3前		1	(理学療法学専攻) ※1
		義肢装具学演習	3前		1	
		日常生活活動基礎学	3前		1	
		神経筋促通治療学	3後		1	
		高次脳機能障害学	3後		1	
		徒手関節治療学	3後		1	
		スポーツ理学療法学	3後		1	
	作業療法治療学	身体障害作業治療学(中枢神経障害系)	3通		2	(作業療法学専攻) ※2
		身体障害作業治療学(運動器・ない武将外形)	3前		1	
		精神障害作業治療学	3通		2	
		発達障害作業治療学	3通		2	
		高齢期障害作業治療学	3通		2	
		高次脳機能障害作業治療学	3前		1	
		義肢装具作業療法学	3後		1	
		義肢装具作業療法学演習	3後		1	
		日常生活適応学(ADL)	3前		2	
		日常生活適応学(動作分析)	3後		2	
		福祉用具学	3後		1	
		就労支援作業療法学	3後		1	
		作業療法治療学特論(治療理論)	3後		1	
	作業療法治療学特論(シーティング)	3後		1		
	作業療法治療学特論(行動分析)	3後		1		
	療法学 地域理学	地域理学療法学	3前		1	(理学療法学専攻) 2単位選択
		生活環境学	3後		1	
	療法学 地域作業	地域作業療法学	3前		1	(作業療法学専攻) 2単位選択
		福祉住環境論	3後		1	
	臨床実習法 理学療法	臨床実習Ⅰ(理学療法)	2後		1	(理学療法学専攻) 20単位選択
臨床実習Ⅱ(理学療法)		3後		3		
臨床実習Ⅲ(理学療法)		4前		16		
臨床実習法 作業療法	臨床実習Ⅰ(作業療法)	2後		2	(作業療法学専攻) 21単位選択	
	臨床実習Ⅱ(作業療法)	3後		3		
	臨床実習Ⅲ(作業療法)	4前		16		

専 門 教 育 科 目	共通・連携科目	リハビリテーション管理学	4後	1		攻) (理学療法学専 ※1 (作業療法学専攻) ※2
		呼吸リハビリテーション特論	3後		1	
		応急処置法	3前		1	
		軟部組織治療学	3前		1	
		ウィメンズヘルスケア論	3前		1	
		災害リハビリテーション	3前		1	
		地域リハビリテーション学	2前	1		
		地域リハビリテーション学演習	2前	1		
		研究法	3前	1		
		卒業研究Ⅰ	3後	1		
		卒業研究Ⅱ	4通	2		

※1 (理学療法学専攻) 高次脳機能障害学、徒手関節治療学、スポーツ理学療法学、の3単位を除く科目16単位と、高次脳機能障害学、徒手関節治療学、スポーツ理学療法学及び共通・連携科目の選択科目から6単位以上選択

※2 (作業療法学専攻) 作業療法治療学特論(治療理論)、作業療法治療学特論(シティング)、作業療法治療学特論(行動分析)の3単位を除く科目18単位と、作業療法治療学特論(治療理論)、作業療法治療学特論(シティング)、作業療法治療学特論(行動分析)及び共通・連携科目の選択科目から2単位以上選択

診療放射線学科

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
基礎科目	人間と生活	生命科学	1 前	1		選択科目 10 単位か 5 単位以上選択
		心理学	1 前	1		
		倫理学	1 前		1	
		生命倫理	1 後		1	
		宗教と思想	1 前		1	
		人間関係論	1 前		1	
		文化人類学	1 後		1	
		社会学	1 前		1	
		法学	1 後		1	
		教育学	1 前		1	
		北海道史	1 前		1	
		ボランティア活動	1 後		1	
		基礎科目	科学的思考の基礎	物理学	1 前	
化学	1 後				1	
生物学	1 前				1	
生活と運動	1 前				1	
健康とスポーツ	2 前				1	
数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1 前			2		
数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1 後				1	
数学Ⅲ(統計学)	1 後				1	
情報科学	1 前			1		
情報科学演習	1 後			1		
基礎科目	語学	日本語表現	1 前		1	選択科目 3 単位から 2 単位以上選択
		英語Ⅰ	1 前	1		
		英語Ⅱ	1 後	1		
		英語Ⅲ	2 前		1	
		中国語	2 前		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専門基礎	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1 前	1		選択科目 4 単位から 2 単位以上選択
		系統解剖学	2 前	2		
		臨床解剖学	2 後	2		
		臨床解剖学演習	3 前		1	
		生理学	2 後		1	
		病態生理学	3 前	1		
		病理学	2 後	1		
		生化学	2 前	1		
		薬理学	2 前		1	
		臨床薬理学	2 後	1		
		衛生学	1 後	1		
		公衆衛生学	1 後	1		
		臨床医学概論	2 後	2		
		臨床医学演習	3 前		1	
基礎教育科目	保健医療福祉における理工学的基礎 並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論	1 前	1		選択科目 7 単位から 4 単位以上選択
		診療放射線学概論	1 後	1		
		放射線生物学	2 前	2		
		放射線生物学演習	2 後		1	
		放射線物理学	1 後	2		
		放射線物理学演習	2 前		1	
		放射線物理学実験	2 前	1		
		放射化学	2 前	2		
		放射化学演習	2 後		1	
		電気・電子工学	2 前		2	
		医用工学	2 後	2		
		医用工学実験	2 前		1	
		放射線計測学	3 前	2		
		放射線計測学演習	4 前		1	
機能と役割	医療専門職の	基礎看護学	2 前	1		選択科目 2 単位から 1 単位以上選択
		医療コミュニケーション学	1 後	1		
		チーム医療論	2 後	1		
		医療経済学	2 前		1	
		臨床心理学	2 後		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専 門 教 育 科 目	診療画像技術学	診療画像技術学概論	2 前	1		※1
		診療画像技術学Ⅰ（一般撮影）	2 後	2		
		診療画像技術学Ⅱ（造影検査）	3 前	2		
		X線 CT 検査学	3 前	2		
		MRⅠ 検査学	3 後	2		
		超音波検査学	3 後	2		
		診療画像技術学実験Ⅰ（X線検査）	2 後	1		
		診療画像技術学実験Ⅱ（CT、超音波、眼底）	3 前	1		
		診療画像機器学	2 後	2		
		診療画像機器学演習	3 前		1	
		診療画像機器学実験	3 後	1		
	画像診断学	画像解剖学Ⅰ（X線画像）	2 後	2		
		画像解剖学Ⅱ（MRI・超音波・造影画像）	3 前	2		
		画像解剖学Ⅲ（演習）	3 後		1	
		画像診断学Ⅰ（頭部・頸部・脊髄）	3 後	2		
		画像診断学Ⅱ（胸部・心大血管・消化器他）	4 前	2		
		画像診断学Ⅲ（演習）	4 後		1	
	核医学検査技術学	核医学検査技術学概論	3 前	2		
		核医学検査技術学	3 後	2		
		核医学検査機器学	3 後	2		
		核医学検査技術学演習	4 後		1	
	放射線治療技術学	放射線治療技術学概論	3 前	2		
		放射線治療技術学	3 後	2		
		放射線治療計測学	4 前	1		
		放射線治療機器学	3 後	1		
		放射線治療技術学演習	4 後		1	
	医用画像情報学	医療画像処理学	2 後	1		
		医療画像工学	3 前	2		
		医療画像情報学	3 後	2		
		医療画像情報学演習	4 後		1	
		医療情報管理学	4 前	1		
	放射線安全管理学	放射線安全管理学	3 後	2		
		医療機器安全管理学	4 前	1		
		関係法規	4 前	1		
		放射線カウンセリング学	4 前		1	

専門 教育 科目	医療安全 管理学	医療職としての責任と役割	4 前	1		
		医療安全管理学	4 後	1		
		応急処置法 (演習)	4 前	1		
	臨床実習	臨床実習 I	3 後	4		
		臨床実習 II	4 後	6		
	総合科目	放射線技術学特別講義	4 前		1	} ※1
		総合演習 I (専門基礎領域)	4 後		1	
		総合演習 II (臨床領域)	4 後		1	
	研究 卒業	卒業研究	4 通	4		

※1 診療画像技術学、画像診断学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医用画像情報学、放射線安全管理学、総合科目の全ての選択科目の中から7単位以上を取得

別表第3 卒業要件

看護学科

必修科目	103単位
選択科目	21単位以上
合計	124単位以上

リハビリテーション学科

必修科目	50単位
選択科目	74単位以上
合計	124単位以上

診療放射線学科

必修科目	102単位
選択科目	24単位以上
合計	126単位以上

別表第4 日本医療大学 入学検定料、入学金及び授業料等(第35条関係)

看護学科

費用 納付区分	入学検定料	入 学 金	授 業 料	合 計
出 願 時	30,000	—	—	30,000
入学手続時		300,000	—	300,000
前 期	—	—	750,000	750,000
後 期	—	—	750,000	750,000
年 額	—	—	1,500,000	1,500,000

リハビリテーション学科

費用 納付区分	入学検定料	入 学 金	授 業 料	合 計
出 願 時	30,000	—	—	30,000
入学手続時		300,000	—	300,000
前 期	—	—	650,000	650,000
後 期	—	—	650,000	650,000
年 額	—	—	1,300,000	1,300,000

診療放射線学科

費用 納付区分	入学検定料	入 学 金	授 業 料	合 計
出 願 時	30,000	—	—	30,000
入学手続時		300,000	—	300,000
前 期	—	—	700,000	700,000
後 期	—	—	700,000	700,000
年 額	—	—	1,400,000	1,400,000

日本医療大学学則新旧対照表

別表第1 入学定員及び収容定員（第8条関係）

新					旧				
<p><u>附 則</u> この学則は、平成31年4月1日から施行する。</p>					追加				
学 部	学 科	専 攻	入学定員	収容定員	学 部	学 科	専 攻	入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科		100人	400人	保健医療学部	看護学科		80人	320人
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	80人	320人		リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40人	160人
		作業療法学専攻	40人	160人			作業療法学専攻	40人	160人
	診療放射線学科		50人	200人		診療放射線学科		50人	200人

学則変更(収容定員変更)の内容

平成 31 年 4 月に日本医療大学保健医療学部のリハビリテーション学科理学療法学専攻の入学定員を 40 人から 80 人に変更し、収容定員も 160 人から 320 人に変更する。

リハビリテーション学科	変 更 後		現 行	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
理学療法学専攻	80 人	320 人	40 人	160 人
作業療法学専攻	40 人	160 人	40 人	160 人
合 計	120 人	480 人	80 人	320 人

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1 学則変更（収容定員変更）の内容

平成 31 年度から下記表の通り、リハビリテーション学科理学療法学専攻の入学定員を 40 人増員し 80 人（収容定員を 160 人から 320 人）に変更する。

リハビリテーション学科	変 更 後		現 行	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
理学療法学専攻	80 人	320 人	40 人	160 人
作業療法学専攻	40 人	160 人	40 人	160 人
合 計	120 人	480 人	80 人	320 人

2 学則変更（収容定員変更）の必要性

(1) 社会からの需要

我が国の人口構成は他国に類を見ないスピードで少子高齢化が進んでおり、平成 37 年には、いわゆる「団塊の世代」がすべて 75 歳以上となり、より高齢の者が増える超高齢社会が進行していく。昭和 50 年代には平均寿命が男女とも 60 歳の社会において、主に青壮年期の患者を対象とした「病院完結型」医療が行われていた。これが近年、男性でも平均寿命が 80 歳を超え、慢性疾患で複数の疾病を持つ高齢期の患者が中心の社会となった。すなわち、現在は病気と共存しながら QOL (Quality of Life) の維持・向上を目指す時代であり、今後、平成 37 年に向けてこの傾向は一層エスカレートすることが予想される。このことから医療は、かつての「病院完結型」から、医療機関がそれぞれの得意分野を活かし、患者の住み慣れた地域や自宅を中心とした地域全体で治し支える「地域完結型」の医療へと変化し、医療と介護が切れ目なくつながる時代に入ったといえる。

すべての国民が豊かな老後を迎えるためには、国民一人ひとりが心身共に健康で、日々充実した生活を送ることができるような社会整備が必要であり、社会福祉政策、保健医療福祉システムの整備、充実を図るとともに、国民の健康と生活を支える保健医療専門職の人材育成と資質の向上が求められている。北海道においても、少子高齢化が加速しており、少子化に伴うケア力の不足は深刻な課題であり、将来、社会を担う若者を保健医療専門職へ取り込むことは急務である。

本学が所在する北海道では、高齢者人口が平成 37 年度に約 169 万人(高齢化率 33.7%)まで達し、要支援・要介護者数は、平成 25 年度から 14.1 万人増え、42.2 万人と見込まれている^(資料 1)。また、全国地方別における北海道の 65 歳以上の人口比率は、昭和 30 年では 5%以下で最下位であったのが、平成 7 年からで全国平均を上回り、平成 29 年は 29.7%と全国 20 位であり、2025 年の予測では 30%を超え、四国地方に次いで高齢者比率の高い地域になると予測されている。

このような超高齢化社会への対応として、医療や福祉の分野においては厚生労働省が平成 37 年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進している。

理学療法士は、この地域包括ケアシステムを支える一員として、社会福祉チームと協働して訪問リハビリテーション事業所や、通所リハビリテーション事業所、地域包括ケアを推進する病棟などでますます需要が高まることが予想される。事実、厚生労働省より、理学療法士が介護予防事業等において、身体に障害のない者に対して、転倒防止の指導等の診療の補助に該当しない範囲の業務を行う際、「理学療法士」という名称を使用することは何ら問題なく、このような場合は医師の指示は不要である旨の解釈が出されるなど、地域リハビリテーションにおけるニーズが向上している（資料 2）。

このように、理学療法士の活動の場も、超高齢社会にあっては病床回転率の早い急性期病棟・回復期病棟をはじめとする病院から高齢者医療福祉施設、在宅医療などの地域ケアへと急激に広がっており、それぞれの場の特性を理解し、特に地域の活動にあっては、人間と生活を総合的に判断し必要なリハビリテーションサービスを的確に実践する能力が理学療法士には求められている。

平成 28 年時点で理学療法士数は約 12.9 万人である。厚生労働省の「医療従事者の需給に関する検討会 理学療法士・作業療法士分科会」によると、病院等の医療分野における理学療法士数は全体の約 8 割を占めており、その数は年々増加している。一方、高齢者医療福祉施設等の介護分野における理学療法士数は全体の約 1 割と少なく、平成 24 年からの 5 年間では目立った増加は認められない（資料 3）。また、介護分野の理学療法部門においては人員不足と感じている施設が約半数を占めており、その理由を応募者が少ないためと回答している（資料 4）。

理学療法士・作業療法士の活動の場と役割が拡大し、多様化している今日、様々な状況や環境にある国民のリハビリテーションに対する期待に応えなければならない。そのためには、的確な状況把握と問題分析能力、対象に適したリハビリテーションサービスを提供するための専門的知識、技術の応用力などが求められ、学士課程における論理的思考能力と学問的知識・技術を活用した理学療法の実践能力の育成が必要である。

(2) リハビリテーション学科理学療法専攻の収容定員変更の必要性

日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科の教育目的は、本学の建学の精神「共生社会の実現」と、基本理念「人は人を愛し、人にふれることによって、自らも成長する」に基づき、教育理念を「職業人になる自覚をもとう」、「自

律した人間になろう」、「確かな専門知識・技術を修得しよう」、「社会に貢献できる専門職になろう」、「問題解決能力を身につけよう」と掲げている。また、本学の起源は、昭和 59 年 4 月に札幌市豊平区月寒に開設された特別養護老人ホーム「幸栄の里」に始まる。「幸栄の里」では、デンマークで発祥したノーマライゼーションの思想を本邦で実践するために入所者のみならず、在宅高齢者のサービスを事業化し、在宅介護サービスの先駆けとなった。そのため、本学では「医療と福祉の現場から誕生した日本医療大学」と謳っており、医療のみならず福祉の分野においても活躍できる人材育成を目指している。

さらに、本学の学校法人内にある認知症研究所は、大学内に設置された認知症研究所としては全国でも稀で、社会的な対応を迫られている認知症の研究—小規模多機能居宅介護における家族支援に関する研究や、民間企業とともに機能性食品の認知症への効果検証研究、認知症サポーター養成講座などを日々積極的に行っている。

また、特別養護老人ホームを地域の介護拠点に位置付け、小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護などで在宅生活を支える「ノテ地域包括ケア」の実践は本学真栄キャンパスで行われており、現在はグループ内の高齢者施設とリハビリテーション学科の教員で共同研究も実施されている。まさに医療と福祉の垣根を越え、医療と福祉の現場が一体になったキャンパスの中で、連携・協働する人材の育成を目指すことが可能な教育環境にある。

前述のとおり、理学療法士の活動の場は、病床回転率の早い急性期病棟・回復期病棟をはじめとする病院から高齢者医療福祉施設、在宅医療などの地域ケアへと広がっていたため、今後は医療のみならず福祉の分野においても活躍できる人材の育成が必要となる。理学療法学専攻の今回の収容定員増は、こうした社会的要請に対応しようとするものである。

(3) リハビリテーション学科理学療法学専攻の収容定員増加後の学生確保の見通し

北海道内私立理学療法系学部の志願者数は、平成 25 年から理学療法系学部を有した大学設置数が増え、過去 5 年間で 537 人増の 1750 人である^(資料 5)。また定員充足率も全体では 106%で安定した入学者数を確保している^(資料 6)。対して、北海道内の専門学校理学療法学科では、定員充足率が過去 5 年で 103%から 83%と減少しており^(資料 7)、北海道における理学療法士志願者は大学への進学を希望しているといえる。このような背景から、大学における論理的思考能力と学問的知識・技術を活用した理学療法の実践能力を育成するためにも、大学の定員枠増は時代の要請ともいえる。従って、本学における理学療法学専攻の入学定員拡充の学生確保の見通しは十分根拠のあるところである。

また、本学リハビリテーション学科に併設されている作業療法学専攻（定員 40 人）は開設以降未充足である。本学の入試は学部内併願制度を導入しているため、今回の理学療法学専攻の収容定員増加により、相乗効果によって作業療法学専攻への志願者も増え、定員充足に繋がると考えている。

(4) リハビリテーション学科理学療法学専攻の教育の質の保持・向上

現在本学では、教育の質の保持向上のため各学年に学生担当教員を配置し、学生担当教員間および教員間で連絡を密にし、細やかな学修・生活支援を行っている。またオフィスアワー制度を導入し、全ての教員がオフィスアワーを学生に提示し学生の訪問に応じ、学修などの相談・支援を行っている。さらに、学生の精神面での支援のため学生相談室を設け、臨床心理士による学生相談室が設置され学習環境を整えてきた。

本学リハビリテーション学科理学療法学専攻の退学者数は、以下の通りである。平成 29 年に理学療法士養成校（大学、短期大学、高等専門学校）を対象とした退学率の調査によると学生の中途退学数は全学生数の 17.3%である^(資料 8)。本学リハビリテーション学科理学療法学専攻は、全体で中途退学者数は 6.1%と全国平均を大幅に下回っている。また、留年生も休学、中途退学には至らず学業を継続している。

入学年度	入学者数	中途退学者数	退学の理由	中退率
平成 27 年度	38 人	5 人	進路変更 5 人	13.15%
平成 28 年度	43 人	1 人	進路変更 1 人	2.32%
平成 29 年度	33 人	1 人	進路変更 1 人	3.03%
合計	114 人	7 人		6.14%

本学リハビリテーション学科作業療法学専攻の退学者数は、以下の通りである。

入学年度	入学者数	中途退学者数	退学の理由	中退率
平成 27 年度	15 人	1 人	進路変更 1 人	6.66%
平成 28 年度	26 人	2 人	進路変更 2 人	7.69%
平成 29 年度	13 人	2 人	進路変更 2 人	15.38%
合計	54 人	5 人		9.25%

3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程の変更内容

リハビリテーション学科は、本学の教育理念に基づき、「幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と人間関係形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識および技術と専門職業人としての態度を教授する」ことを教育研究上の目的としている。その目的を具現化するため、以下に掲げる方針を設定し、理学療法士を育成する。

① ディプロマポリシー

本学科の卒業生は、以下の能力を身に付けていることを期待する。

- ア 人の生命、人権を尊重し、擁護する倫理的な態度
- イ 多様な価値観、個性を尊重する能力
- ウ リハビリテーションの対象者を全人的に理解する能力
- エ コミュニケーションをとおして、援助的人間関係に発展させる能力
- オ 科学的思考に基づき、理学療法・作業療法を実践する能力
- カ エビデンスに基づいた理学療法・作業療法を安全に提供する能力
- キ 保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働できる能力
- ク 問題解決に向けて、科学的思考で主体的に学修できる能力

② カリキュラムポリシー

本学科「入学者受け入れ方針」に従い、入学した学生に対し、リハビリテーション学科の教育目的・目標に基づき、以下の方針の下で教育を展開する。

- ア 人命、人権、多様な価値観を尊重できる人間性の育成
- イ 全人的理解を基盤とした援助的人間関係の形成能力の育成
- ウ 科学的思考を基盤とした実践能力の育成
- エ 保健医療福祉チームの一員として他職種と連携、協働できる能力の育成
- オ 問題解決に向けた科学的思考能力、主体的学修能力の育成

③ アドミッションポリシー

本学が求める学生は、本学の教育理念に共鳴し、自らの成長を自己推進していけることを目指すものである。

- ア リハビリテーションチームの一員として他者との連携・協調を保てる人
- イ 基本的な生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人
- ウ 何事にも根気強く望み、責任を持って最後までやりとげる人

[理学療法学専攻が求める人物像]

- ア 理学療法士になる意思が強く、必要な情報を自ら集めている人
- イ 支援を必要とする人に積極的に関わることができる人
- ウ ヒトの運動や動作のメカニズムに関心を持っている人

本学の教育課程は、当該学科の教育目的・目標を踏まえたカリキュラムポリシーのもと、科目を体系的に配置し、高度な専門性と実践力、主体的課題学習の促進力に重点を置いた教育課程を編成し実施している。教育課程は、「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域で編成している。教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成している。各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定している。また、開学以降、教員全員が参加する FD 等の研修実施時に、本学の教育課程、教育の取り組み・評価等を教員全体で共通認識し、教育評価を行っている。加えて、学生授業評価アンケートを参考に、教育の質向上に向け教育課程の内容の確認・検討も行っている。

理学療法学専攻では、今回の学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程の変更は行わないが、演習科目においては2つのクラスに分け(1クラス40人)、授業の質を担保する。クラス分けを行う演習科目は、1年前期開講の「情報科学演習」「日本語表現」「英語Ⅰ」「解剖学演習(骨・筋)」「体表解剖学」、1年後期開講の「健康とスポーツ」「英語Ⅱ」「解剖学演習(神経)」「理学療法概論演習」「理学療法セミナーⅠ」、2年前期開講の「生理学演習」「理学療法評価学演習(運動器系)」「理学療法評価学演習(神経系)」「地域リハビリテーション学演習」、2年後期開講の「運動学演習」「理学療法セミナーⅡ」「臨床判断学(基礎編)」「運動療法学演習」、3年前期開講の「理学療法セミナーⅢ」「運動器障害理学療法学演習」「神経障害理学療法学演習」「物理療法学演習」「義肢装具学演習」、3年後期開講の「臨床判断学(応用編)」「神経筋促通治療学」の計25科目とする(資料9)。

(2) 教育方法および履修指導方法の変更内容

リハビリテーション学科の教育方法に関する基本的な考え方は、学修の主体は、学生であることから、それぞれの授業科目において、学生自らが積極的に参加し、主体的に学修に取り組むことで、自らの課題を達成していくこと、並びに学生の個性に応じて、多領域にわたり、学問的興味や関心を持つことができることを目的に、演習の学修時間を多くしている。グループワークなどのチーム学修をとおして、学生相互に学びを深めるとともに、調整する能力や協働する能力、ディ

スカッション能力を育成することも狙いとしている。

理学療法学専攻では、教育方法、履修指導方法については、収容定員増後も現在のを継続していく。現在、リハビリテーション学科では、各学年の学生担任による指導の他に、1・2年次生を対象にチューター制度を設けている。チューターでは、教員と学生、クラスメイト、先輩と後輩の絆を強化し、有意義な大学生活の実現を目的としており、増員後は1人の教員に1学年約7人の小人数の配置となるため、増員後もきめ細やかな教育が継続できる。

理学療法学専攻は平成31年度からの入学定員増にともない、80人が実習できる学外実習施設が必要になる。学外実習は、2年次後期に「臨床実習Ⅰ（理学療法）」、3年次後期に「臨床実習Ⅱ（理学療法）」、4年次前期に「臨床実習Ⅲ（理学療法）」を実施する。現在本専攻では、文部科学省医学教育課に136施設を届け出ており、入学定員を80名に増加させても十分に学外実習施設を確保することができる^(資料10)。また、学外実習の受け入れ先については、本学の前身の「日本福祉リハビリテーション学院」が開学して20年以上経過しており、多くの卒業生を病院等に輩出しているため調整に難渋することはない。

臨床実習については、実習施設と本学との情報交換、連携が十分図れる体制をとるため、「臨床実習Ⅱ（理学療法）」、「臨床実習Ⅲ（理学療法）」では実習施設の巡回を実施している。実習施設の巡回については、実習中に1～2回（実習Ⅱでは第2週目、実習Ⅲでは第4週目～第6週目を原則とする）、必要によりそれ以上の巡回を実施する。実習巡回には理学療法士資格を有する学科専任教員全員を配置し、実習巡回および実習関連事項の指導を行う^(資料11)。巡回担当教員は年間を通じて学生の相談に応じ、実習や平素の学習に関するサポートも行う。実習施設巡回では、実習中の学生の課題や進捗状況を臨床実習指導者と共有し、臨床実習指導が円滑に進むよう臨床実習指導者をサポートする。また、実習期間中、学生が抱える問題・課題などについては、巡回時のみならずICT（e-mailなど）を活用したタイムリーな指導・援助を実施している。

(3) 教員組織の変更内容

理学療法学専攻では、平成30年度の専任教員数は計10人であり、その内訳は教授3人、講師4人、助教3人である。定員増に伴う教員の増員は実施しない。学生に対しての教育においては、各学年の学生担任による指導の他に、1・2年次ではチューター制度、3・4年次ではゼミ配置によってそれぞれ担当の教員に配属されるため、現状の教員数で少人数教育が可能である。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容

恵み野キャンパスでは、講義室15室、演習室11室、実習室10室を備えてお

り、指定規則に沿った設置基準備品は、既に整備されている。収容定員増によって教育上必要な機械器具、模型および実習設備などが不足することはない。また、リハビリテーション学科（理学療法学専攻、作業療法学専攻）の共通科目は恵み野キャンパスの「大教室」と「大講義室」で収容定員増後も対応できる。理学療法学専攻の演習科目はクラスを2つに分けるため、現状の施設・設備で充分対応が可能となる。

学則の変更の趣旨等を記載した書類 添付資料

目 次

- 資料 1 第 6 期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」概要
- 資料 2 理学療法士の名称の使用等について(通知) (厚生労働省医政局医事課長発出)
- 資料 3 理学療法士数と就業先別の推移
- 資料 4 理学療法士の人員不足感およびその理由について
- 資料 5 道内私大の理学療法系学部マーケット分析
道内私大理学療法志願者数推移(2013-2017 年)
- 資料 6 道内私大の理学療法系学部マーケット分析
道内私大理学療法定員充足率(2013-2017 年)
- 資料 7 道内私大の理学療法系学部マーケット分析
道内専門学校理学療法学科定員充足率推移(2013-2017 年)
- 資料 8 退学者率等(3 年制:平成 25 年度入学生、4 年制:平成 24 年度入学生)
- 資料 9 理学療法学専攻の教育課程進度表
- 資料 10 理学療法学専攻の学外実習施設一覧
- 資料 11 リハビリテーション学科理学療法学専攻臨床実習 I (理学療法)学生配置・担当教員一覧

第6期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」概要

第1 計画の基本的事項

1 計画策定の趣旨

- 道では、平成12年3月に第1期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」を策定し、その後、3年ごとに同計画を策定し、平成24～26年度までを計画期間とする第5期計画では、「みんなが支える明るく活力に満ちた高齢社会」づくりを基本テーマに、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築に向け、地域のサービス提供基盤の確保などに努めてきた。
- 本道においては、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上になる2025年（平成37年）に、65歳以上の人口が全国よりも早くピークに達すると見込まれており、平成27年度からスタートする第6期計画は、2025年を見据えた中長期的な視点に立って、計画期間内に必要となるサービスの見込量を示すとともに、道が取り組むべき方策を明らかにし、地域包括ケアシステムの構築を目指す計画とする。

2 計画の位置付け

- この計画は、老人福祉法に基づく老人福祉計画（北海道高齢者保健福祉計画）及び介護保険法に基づく介護保険事業支援計画（北海道介護保険事業支援計画）として、道が策定するものであり、両計画は、整合性を図りながら連携して事業を推進する必要があることから、一体的に策定する。

3 計画期間

平成27年度から平成29年度までの3年間とする。

第2 高齢者等の現状と将来推計

1 高齢者等の現状と推計

- 高齢者人口は、平成29年度に約161万人（高齢化率30.2％）に達すると見込まれる。

区分 (西暦)	H22 (2010)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)	H37 (2025)
高齢者人口(千人)	1,353	1,552	1,581	1,608	1,670	1,686
高齢化率(%)	24.7	28.8	29.5	30.2	32.0	33.7

※H22は、総務省統計局「国勢調査」

※H27以降は、国立社会保障・人口問題研究所等による市町村推計値の積上げ

2 要介護者等の現状と推計

- 第1号被保険者のうち、要支援・要介護者数は、平成29年度で、約33万7千人、認定率は20.9%となると見込まれる。
- 認知症高齢者数は、平成29年度で、約18万4千人に達すると見込まれる。

区 分 (西暦)	H25 (2013)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)	H37 (2025)
第1号被保険者数(千人)	A	1,477	1,552	1,581	1,608	1,686
要支援・要介護者数(千人)	B	281	305	320	337	422
認定率(%)	B/A	19.0	19.6	20.2	20.9	25.0
認知症高齢者数(千人)	C	162	169	176	184	234
比率(%)	C/B	57.2	55.3	54.9	54.6	55.5

※H25は、厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報（暫定）（年度末の実績）

※H27以降は、厚生労働省の「介護保険事業計画用ワークシート」による市町村推計値の積上げ

3 介護人材の現状と推計

- 介護保険事業に従事する介護職員については、平成29年度に、需要に対して供給人数が約700人不足すると推計される。

(単位：千人)

区 分 (西暦)	H24 (2012)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)	H37 (2025)
介護職員数(需要)	80.4	89.9	93.0	96.2	101.6	112.9
介護職員数(供給)	80.4	89.5	92.5	95.5	99.1	100.3
差 引	0.0	0.4	0.5	0.7	2.5	12.6

※介護人材需給推計ワークシート（厚生労働省作成）を使用し、北海道における介護人材の需要と供給を推計

第3 サービス提供体制の現状と評価

1 介護給付等対象サービス

(1) 居宅サービス

訪問入浴介護以外のサービスで、平成25年度の達成率が90%以上となっており、特に、訪問看護、訪問介護、通所介護の達成率が高くなっている。

訪問入浴介護以外のサービスで事業所数が増加しており、株式会社等の営利法人やNPO法人の参入が進んでいる。

区 分	単 位	平成25年度		
		見込量 (A)	実績 (B)	進捗率 (B)/(A)
訪問介護	回/年	8,291,859	9,030,748	108.9%
訪問入浴介護	回/年	119,293	106,013	88.9%
訪問看護	回/年	879,005	977,822	111.2%
訪問リハビリテーション	回/年	376,124	355,330	94.5%
通所介護	回/年	4,110,213	4,303,292	104.7%
通所リハビリテーション	回/年	1,632,807	1,488,985	91.2%
短期入所生活（療養）介護	日/年	1,223,932	1,199,147	98.0%
特定施設入居者生活介護	人	8,869	8,833	99.6%

(2) 地域密着型サービス

第5期から新たに導入された定期巡回・随時対応型訪問介護看護は200%以上の達成率となっているが、実績のない圏域が14圏域ある。

また、複合型サービスは55%程度の達成率に止まっており、実績のない圏域が17圏域となっているなど、サービスの提供体制や利用状況に地域差が生じている。

区 分	単 位	平成25年度		
		見込量 (A)	実績 (B)	進捗率 (B)/(A)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人/年	3,600	8,024	222.9%
夜間対応型訪問介護	人/年	2,930	3,712	126.7%
認知症対応型通所介護	回/年	311,157	263,744	84.8%
小規模多機能型居宅介護	人/年	52,924	46,457	87.8%
認知症対応型共同生活介護	人	14,550	14,215	97.7%
地域密着型特定施設入居者生活介護	人	718	645	89.8%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人	1,713	1,778	103.8%
複合型サービス	人/年	4,380	2,387	54.5%

(3) 施設サービス

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設いずれも90%以上の達成率となっている。

特別養護老人ホームの必要入所定員総数に対する整備状況については、平成26年度末の必要入所定員総数2万5,732床に対し、平成26年度着工の整備も含めると2万5,700床が整備される見込み。

特別養護老人ホームの整備に当たっては、より身近な住み慣れた地域でサービスを提供する観点から、地域密着型の整備を促進する必要がある。

区 分	単 位	平成25年度		
		見込量 (A)	実績 (B)	進捗率 (B)/(A)
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	人	22,031	21,905	99.4%
介護老人保健施設	人	15,785	15,751	99.8%
介護療養型医療施設	人	5,111	4,650	91.0%

1 基本テーマ

計画を推進する上での基本テーマは第5期計画のテーマを引き継ぎ、次のとおりとする。

「みんなが支える明るく活力に満ちた高齢社会」づくり

2 基本的目標

計画の基本的目標は、次の4つとする。

(1) 質の高いサービス提供体制の確保

- 高齢者が要介護状態等となっても、自分の意思で自分らしい生活を営むことを可能とする高齢者の自立と尊厳を支えるケアの確立を目指し、住み慣れた地域において継続して日常生活を営むことができるよう、ニーズに見合った医療や介護サービスが地域で適切に提供される体制の整備を図る。

(2) 地域特性に応じた地域包括ケアシステムの構築

- 高齢者が住み慣れた地域でその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、限りある社会資源を効率的かつ効果的に活用しながら、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域特性に応じた取組を推進する。
- 地域包括ケアシステムの構築に向けては、地域の創意工夫を活かせる柔軟な仕組みを目指すことが必要であり、地域の将来の姿を見据えた「地域づくり」を進める。

(3) 高齢者の社会参加の促進

- 明るく活力に満ちた高齢社会を確立するため、豊富な経験や知識、技術を持った高齢者が、健康で働き、楽しみ、積極的に社会参加するなど、様々な形で地域社会に貢献し活躍することを促進する。

(4) 介護保険の安定的な運営

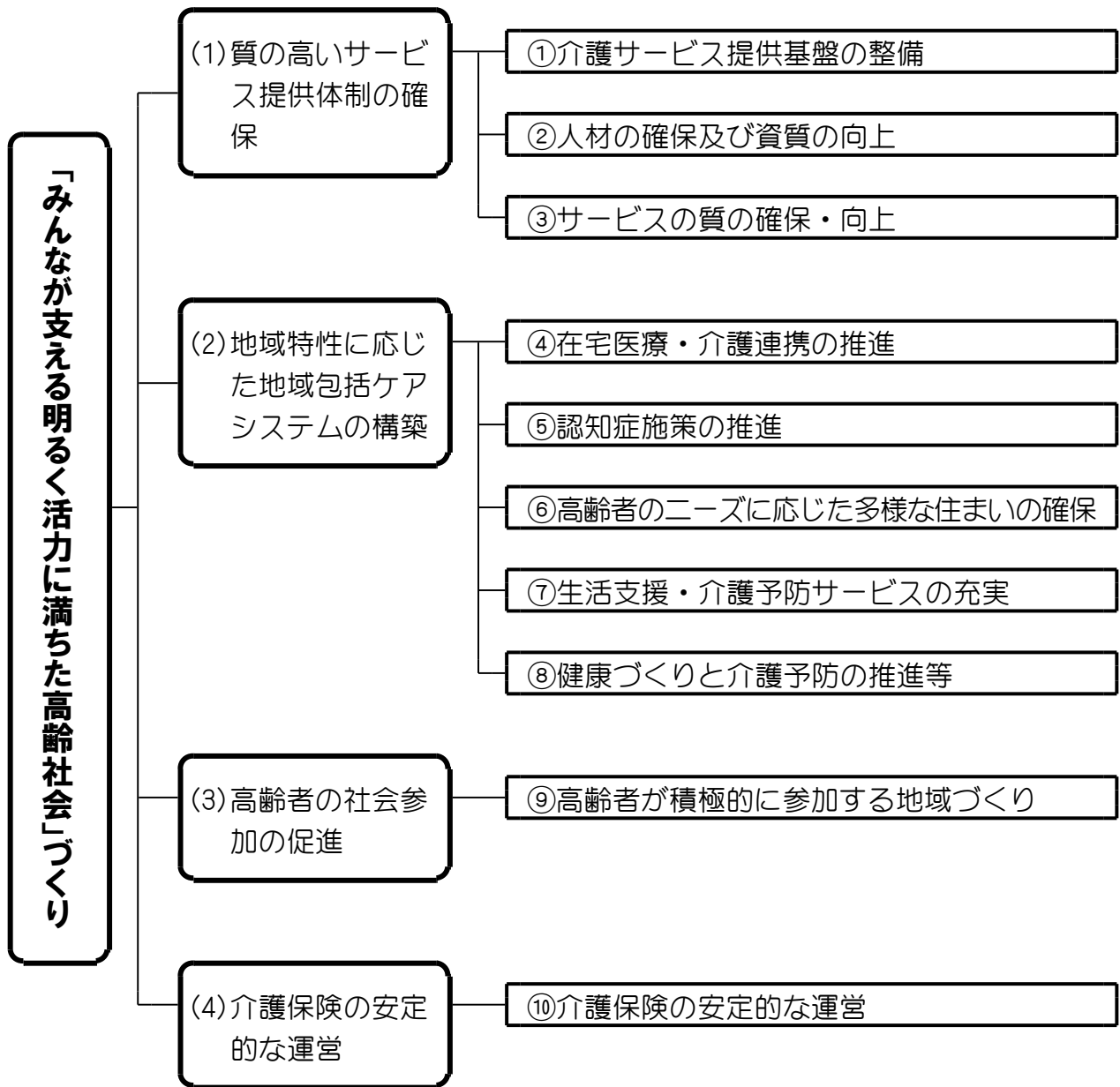
- 介護保険制度の安定的な運営を図るためには、地域住民、介護従事者、介護サービス事業所、民間企業、NPO等の理解や協力を得ることが求められることから、制度の普及啓発に努める。
- 介護保険財政の安定化やサービス提供体制の確保のためには、複数の市町村による広域的な取組が有効であることから、こうした取組を促進するとともに、制度を持続可能なものとするよう、介護サービス費用の適正化を図る。

3 計画推進の基本方針

基本的目標を実現するため、次の10の基本方針を掲げて計画を推進する。

1 基本テーマ 2 基本的目標

3 計画推進の基本方針



第5 サービス量の見込みと基盤整備

1 サービスの量の見込み

この計画におけるサービスの量の見込みについては、市町村の見込みを積み上げている。

(1) 居宅サービス

サービスの種類	平成25年度 (実績)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H25)
訪問介護 (回/月)	752,562	961,574	1,035,024	1,109,014	147.4%
訪問入浴介護 (回/月)	8,834	9,157	9,702	10,355	117.2%
訪問看護 (回/月)	81,485	98,675	107,279	116,083	142.5%
訪問リハビリテーション (回/月)	29,611	43,061	48,239	53,794	181.7%
通所介護 (回/月)	358,608	420,743	332,765	360,031	100.4%
通所リハビリテーション (回/月)	124,082	128,628	131,089	132,714	107.0%
短期入所生活(療養)介護 (回/月)	99,929	114,513	123,618	132,681	132.8%
特定施設入居者生活介護 (人)	8,833	9,716	10,476	10,991	124.4%

(2) 地域密着型サービス

サービスの種類	平成25年度 (実績)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H25)
定期巡回・随時対応型訪問 介護看護 (人/月)	669	2,462	3,187	3,864	577.5%
夜間対応型訪問介護 (人/月)	309	300	312	320	103.6%
地域密着型通所介護 (回/月)	—	—	122,642	132,584	—
認知症対応型通所介護 (回/月)	21,979	24,406	25,092	25,895	117.8%
小規模多機能型居宅介護 (人/月)	3,871	4,964	5,591	6,179	159.6%
認知症対応型共同生活介護 (人)	14,215	14,873	15,458	15,854	111.5%
地域密着型特定施設入居者 生活介護 (人)	645	705	770	888	137.7%
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護 (人)	1,778	2,364	2,565	2,840	159.7%
複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護) (人/月)	199	557	797	940	472.6%

(3) 施設サービス

サービスの種類	平成25年度 (実績)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H25)
介護福祉施設サービス (介護老人福祉施設) (人)	21,905	23,382	24,041	24,782	113.1%
介護保健施設サービス (介護老人保健施設) (人)	15,751	16,361	16,557	16,859	107.0%
介護療養施設サービス (介護療養型医療施設) (人)	4,650	4,208	3,997	3,991	85.8%

2 必要入所定員総数

1 の見込量を基に、利用率等を勘案して算定。

サービスの種類	平成26年度末 定員見込(a)	平成29年度末 必要入所定員総数(b)	比較 (b-a)
介護老人福祉施設(密着含む) (特別養護老人ホーム) (人)	25,700	29,002	3,302
介護老人保健施設 (人)	16,627	17,508	881

※建設中のものを含む

基本方針	主な推進方策
<p>1 介護サービス提供基盤の整備</p>	<p>(1) 在宅生活を支えるサービス提供基盤の充実 定期巡回・随時対応型訪問介護看護や小規模多機能型居宅介護、複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）等の設置を推進。</p> <p>(2) 施設サービスの充実</p> <p>① サービス提供基盤の整備 施設の必要入所定員総数の増加に応じた施設整備を計画的に進めるとともに、特別養護老人ホームや養護老人ホーム等について、順次改築整備を行う。</p> <p>② 特別養護老人ホームへの特例入所 要介護度が軽度であっても、在宅での生活が著しく困難であると認められる場合には、指針に基づき、市町村の適切な関与のもと、入所を特例的に認める。</p> <p>③ ユニットケアの推進 できる限り家庭的な雰囲気の下で、個別性に配慮したケアが行われるよう、ユニット型の整備を促進。</p>
<p>2 人材の確保及び資質の向上</p>	<p>① 福祉・介護への理解促進 若年層に対する福祉・介護分野への理解を促進する取組を推進。</p> <p>② 福祉・介護職への参入促進 ア 事業者と求職者との橋渡しを行う福祉人材センター・バンクの事業を充実し、多様な人材の参入促進を図る。 イ 介護福祉士の養成・確保のため、介護福祉士養成施設の運営に対する助成を行う。</p> <p>③ 福祉・介護人材の資質向上 福祉・介護職員の資質・能力の向上を図るため、職種や業務経験に応じた研修を行う。</p> <p>④ 福祉・介護の労働環境・処遇の改善 事業者が自主的に行う職場の魅力を高める取組や、求職者に対し、職場の魅力を発信する取組を支援。</p> <p>⑤ 保健・医療関係人材の養成・確保 ア 看護職員の確保が図られるよう、養成所の運営や施設整備に対する助成、修学資金の貸付け、教育教材の整備。 イ 市町村における保健活動充実のため、保健師、理学療法士、作業療法士等の研修を行うなど、資質の向上を図る。</p> <p>⑥ 介護支援専門員の養成・確保 介護支援専門員の養成・確保を図るとともに、研修等を実施し、資質の向上を図る。</p>
<p>3 サービスの質の確保・向上</p>	<p>① 事業者の指定及び指導・監査等 サービス事業者に対して、適正な事業運営が行われるよう指導監査を実施するとともに、指導担当職員の研修に努める。</p>

基本方針	主な推進方策
	<p>② 介護サービスの情報公表と評価 介護サービスの利用者が、自らのニーズにあった事業所等を選択できるよう、事業所等に関する情報を公表。</p>
<p>4 在宅医療・介護連携の推進</p>	<p>① 在宅医療との連携強化の推進 ア 研修等を通じ、介護関係職員が医療知識を身につけ、医療従事者との積極的な連携を図ることでサービスの質の向上を図る。 イ 在宅医療の提供体制を充実するため、多職種の連携体制の構築や在宅医療を担う人材育成を進める。 ウ 人口規模が小さい市町村においても、在宅医療・介護サービスの資源把握や在宅医療・介護連携支援センター（仮称）の運営などに取り組むことができるよう、隣接市町村との共同実施や第二次保健医療福祉圏におけるネットワーク化などの広域的な調整を実施。</p>
<p>5 認知症施策の推進</p>	<p>① 認知症の医療対策（早期診断・早期対応） ア 認知症の鑑別診断とその初期対応、急性期治療に関する対応や専門医療相談等を実施する「認知症疾患医療センター」の設置を促進。 イ 歯科医療従事者に対する認知症ケアの基礎知識等の習得のための研修の実施。 ② 認知症の人やその家族への支援 認知症高齢者等の身元不明者が保護された場合、警察や市町村等と連携を図り、ホームページ上で情報を公開。 ③ 市民後見人の養成や後見実施機関の整備に対する支援 市町村における市民後見人養成を支援するとともに、後見実施機関の設立、運営についての助言等を行うとともに、制度の周知や利用の促進に努める。 ④ 認知症初期集中支援チームの設置などの市町村の取組に対する支援 認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員の設置などの市町村の取組に対して助成するほか、先進的な取組に関する情報提供等を行う。</p>
<p>6 高齢者のニーズに応じた多様な住まいの確保</p>	<p>① 多様な住まいの確保 ア 「サービス付き高齢者向け住宅」の登録制度の周知や、登録及び供給の促進。 イ ケアハウスや生活支援ハウス、シルバーハウジング、ユニバーサルデザインの視点に立った公営住宅等の確保。</p>
<p>7 生活支援・介護予防サービスの充実</p>	<p>① 多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの充実強化 ア 「生活支援コーディネーター」の配置や「協議体」の設置に対する助成を行うとともに、「生活支援コーディネーター」の育成やネットワーク化の推進。 イ 「アクティブシニア」をはじめとする地域住民を対象に研修を実施するなど、多様な生活支援・介護予防サービスの担い手を確保できるよう支援。</p>

基本方針	主な推進方策
	<p>② 住民参加型の地域づくりの推進 民生委員や町内会等のネットワークによる見守り体制の構築を支援するとともに、住民主体の通いの場の立ち上げ等、地域で高齢者を支える取組を支援。</p> <p>③ 地域包括支援センターの機能強化 センター職員等を対象とした意見交換会を開催することなどにより、機能強化を図る。</p> <p>④ 高齢者等が安心して暮らせるコミュニティづくりの推進 見守り、声かけをはじめとする地域における福祉活動の推進を図るとともに、ボランティアリーダーの養成やコミュニティづくりを担う人材の育成への支援。</p> <p>⑤ 高齢者の権利擁護 高齢者総合相談・虐待防止センターにおいて、専門的な助言・支援、市町村等職員に対する研修会を開催。</p>
<p>8 健康づくりと介護予防の推進等</p>	<p>(1) 健康づくりの推進 「北海道健康増進計画（すこやか北海道21）」を推進するなど、健康づくりの普及啓発に努める。</p> <p>(2) 介護予防の推進</p> <p>① 介護予防の観点からの各種活動の推進 市町村が実施する介護予防事業に対して、振興局の「市町村支援チーム」により、技術的な助言、支援を行う。</p> <p>② 地域リハビリテーション支援体制の整備 ア 地域の関係機関等と連携し、高齢者等に対して適切なリハビリテーションサービスが提供されるよう支援。 イ 市町村が取り組む高齢者に対するリハビリテーション活動を支援するため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門職の広域派遣調整を行う。</p>
<p>9 高齢者が積極的に参加する地域づくり</p>	<p>① 就業機会の確保 「シルバー人材センター」や「高齢者事業団」の活動を促進するなど、就業機会の確保に向けた支援に努める。</p> <p>② 社会活動等の促進 社会奉仕活動を行う老人クラブ等の活動を支援。</p>
<p>10 介護保険の安定的な運営</p>	<p>① 低所得者に対する介護保険料等の負担の軽減 ア 新たに、世帯非課税の被保険者に対して介護保険料の軽減措置が講じられることから、この保険料軽減に要する費用を負担 イ 社会福祉法人等が行う利用者負担の軽減制度等について、活用促進が図られるよう、市町村や利用者等に対して制度の趣旨や内容を周知。</p> <p>② 介護保険事業の広域化の推進 広域連合の設立及びサービスの共同利用による提供基盤の確保等について、必要な情報提供、市町村間の連絡調整や助言等を行い、その取組を促進。</p>

医政医発 1127 第 3 号
平成 25 年 11 月 27 日

各都道府県医務主管部（局）長 殿

厚生労働省医政局医事課長

理学療法士の名称の使用等について（通知）

厚生労働省に設置されたチーム医療推進会議及びチーム医療推進方策検討ワーキンググループにおいて、本年 6 月から 10 月にかけて、医療関係団体から提出された医療関係職種の業務範囲の見直しに関する要望書について議論してきました。

この要望書における要望の 1 つとして、理学療法士が、介護予防事業等において身体に障害のない者に対して転倒防止の指導等を行うときに、理学療法士の名称を使用することの可否や医師の指示の要否について、現場の解釈に混乱がある実態に鑑み、理学療法の対象に、「身体に障害のおそれのある者」を追加してほしい旨の要望がありました（別添 1）。

これに対しては、本年 10 月 29 日に開催された第 20 回チーム医療推進会議において別添 2 のような方針が決定されたところですが、このような議論があったことを踏まえ、理学療法士の名称の使用等について、下記の事項を周知することとしましたので、その内容について十分御了知の上、関係者、関係団体等に対し周知徹底を図っていただきますようお願い申し上げます。

記

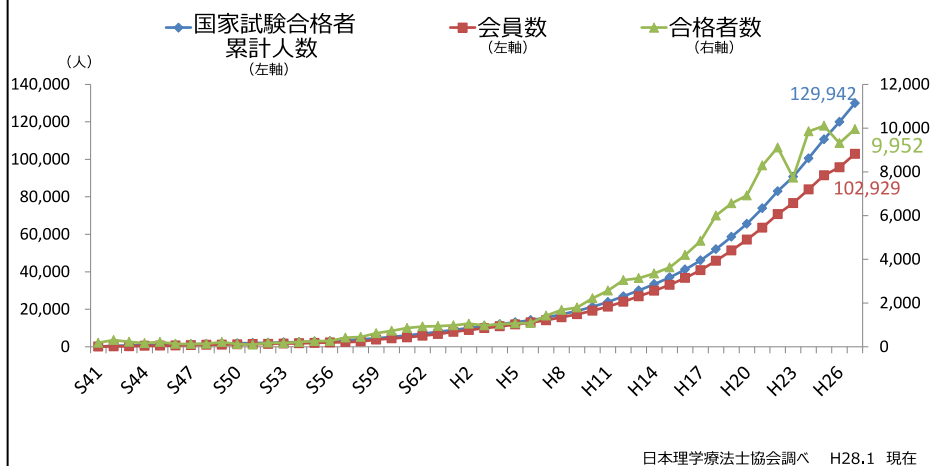
理学療法士が、介護予防事業等において、身体に障害のない者に対して、転倒防止の指導等の診療の補助に該当しない範囲の業務を行うことがあるが、このように理学療法以外の業務を行うときであっても、「理学療法士」という名称を使用することは何ら問題ないこと。

また、このような診療の補助に該当しない範囲の業務を行うときは、医師の指示は不要であること。

理学療法士数と就業先別の推移

理学療法士数の推移

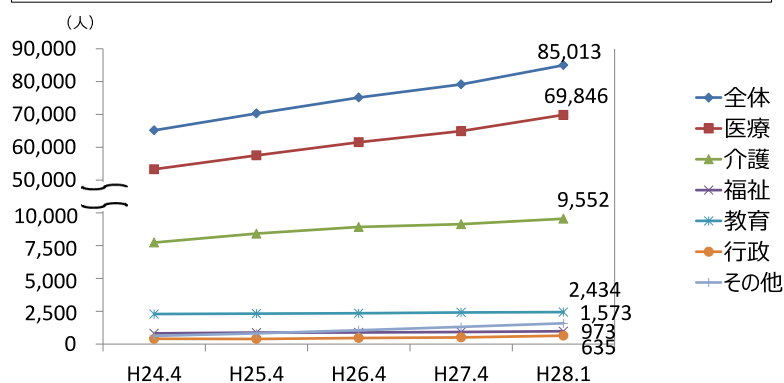
理学療法士数は、129,942名（H28.1）となり、現在では年間約1万人増加している。また、日本理学療法士協会の会員数は、102,929名（H28.1）となっている。



11

就業先別の理学療法士数の推移（H24.4～）

就業先別にみると、医療分野では約80%と高く、介護分野は約10%であった。



それぞれの分野の内訳

医療：病院、診療所

介護：介護老人保健施設、通所介護事業所、訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム 等

福祉：身体障害者福祉施設、児童福祉施設、障害者自立支援施設 等

教育：大学、短期大学、専門学校、研究施設

行政：市町村、保健所 等

その他：リハ関連企業、介護サービス関連企業、一般企業 等

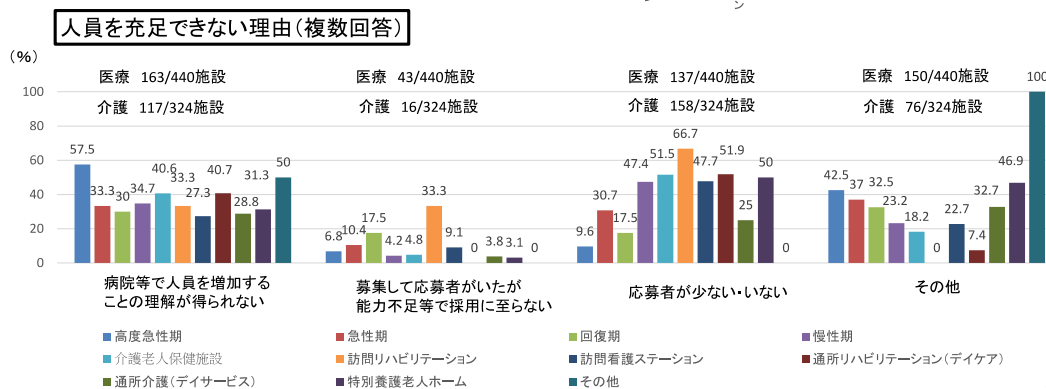
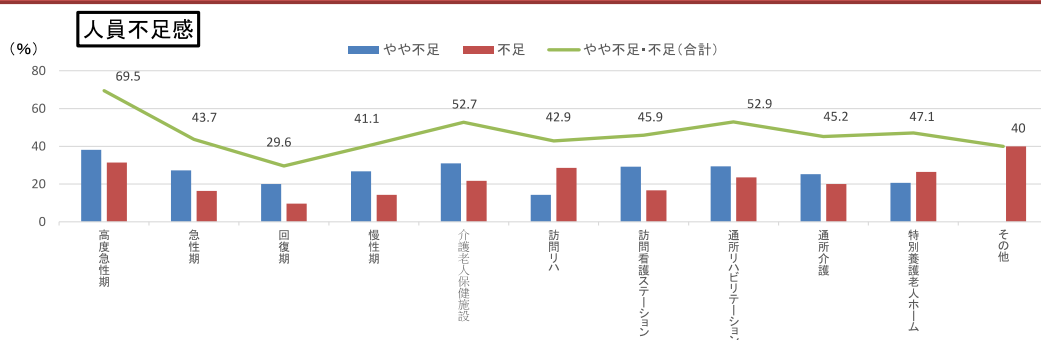
日本理学療法士協会会員情報
(H24.4から会員管理システム改変)

15

理学療法士の人員不足感およびその理由について

医療機関・介護福祉領域での人員不足感およびその理由について

* 理学療法部門責任者の意見として回答



道内私大の理学療法系学部 マーケット分析



道内私大理学療法 志願者数推移 (2013-2017年)

大学	学科	学科設置年	志願者数				
			2013	2014	2015	2016	2017
北海道医療大学	理学療法学科	2013	670	986	818	732	759
北海道科学大学	理学療法学科	2014	-	1226	764	651	627
北海道文教大学	理学療法学科	2006	543	442	400	416	278
日本医療大学	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	2015	-	-	77	100	86
合計			1213	2654	2059	1899	1750
対2013年増減			-	1441	846	686	537

道内私大の理学療法系学部 マーケット分析

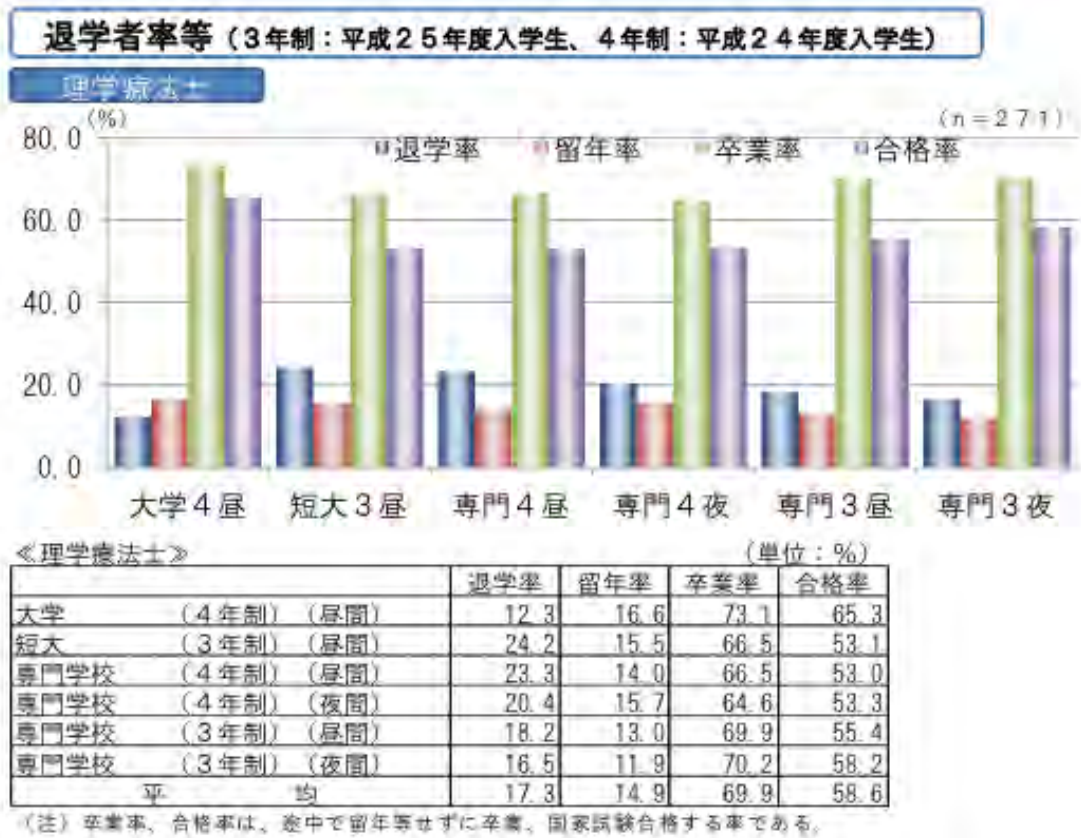


道内私大理学療法 定員充足率 (2013-2017年)

大学	学科	学科設置年	定員充足率				
			2013	2014	2015	2016	2017
北海道医療大学	理学療法学科	2013	121.3	103.8	113.8	110.0	118.8
北海道科学大学	理学療法学科	2014	-	125.0	132.5	100.0	100.0
北海道文教大学	理学療法学科	2006	不明	不明	130.0	110.0	122.5
日本医療大学	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	2015	-	-	95.0	107.5	82.5
		全体	121.3	114.4	117.8	106.9	106.0

道内専門学校理学療法学科 定員充足率推移 (2013-2017年)

専門学校	定員充足率				
	2013	2014	2015	2016	2017
専門学校北海道リハビリテーション大学校	110.0	96.6	103.3	100.0	76.6
北海道千歳リハビリテーション学院	96.2	103.7	103.7	100.0	-
札幌リハビリテーション専門学校	110.0	97.5	100.0	95.0	85.0
札幌医学技術福祉歯科専門学校	105.0	100.0	100.0	100.0	92.5
専門学校日本福祉リハビリテーション学院	100.0	85.0	-	-	-
北都保健福祉専門学校	105.0	92.5	95.0	52.5	75.0
札幌医療リハビリ専門学校	100.0	80.0	100.0	76.2	87.5
全体	103.7	93.6	100.3	87.3	83.3



理学療法学専攻の教育課程進度表

教育課程進度表（リハビリテーション学科 理学療法学専攻）

科目区分	授業科目の名称	講義形態	単位数		1年		2年		3年		4年		卒業要件単位	
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎教育科目	科学的思考の基礎	*心理学	講義	*1		15							*を含む12単位以上	
		発達心理学	講義		1		15							
		生物学	講義		2	30								
		物理学	講義		2	30								
		生活科学	講義		1		15							
		環境科学	講義		1	15								
		*生活と運動	講義	*1			15							
		健康とスポーツ	演習		1		30							
		統計学	講義		1		15							
		*情報科学	講義	*1		15								
	情報科学演習	演習		1	30									
	*人間発達学	講義	*2				30							
	人間と生活	*倫理学	講義	*1		15								*を含む5単位以上
		*生命倫理	講義	*1			15							
		哲学	講義		1		15							
論理学		講義		1	15									
宗教と思想		講義		1			15							
人間関係論		講義		1			15							
文化人類学		講義		1			15							
社会学		講義		1			15							
音楽		講義		1				15						
法学		講義		1	15									
語学	*日本語表現	演習	*1		30							*を含む5単位以上		
	*英語Ⅰ	演習	*1		30									
	*英語Ⅱ	演習	*1			30								
	英語Ⅲ	演習		1			30							
	英語Ⅳ	演習		1				30						
中国語	演習		1			30								
韓国語	演習		1				30							
専門基礎教育科目	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学	講義	4		60						19単位		
		解剖学演習(骨・筋)	演習	2		60								
		解剖学演習(神経)	演習	1			30							
		体表解剖学	演習	1		30								
		機能解剖学	講義	1			30							
		生理学	講義	4		60								
		生理学演習	演習	1				30						
	運動学	講義	4				60							
	運動学演習	演習	1					30						
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	*病理学	講義	*2			30						*を含む15単位以上	
		栄養学	講義		2	30								
		臨床心理学	講義		2			30						
		カウンセリング論	講義		2				30					
		教育心理学	講義		2				30					
		*内科学	講義	*2					30					
*整形外科学		講義	*2					30						
*神経内科学		講義	*2					30						
*精神医学	講義	*2						30						
*小児科学	講義	*1						15						
障害学特論	講義		2					30						
理念	*リハビリテーション論	講義	*2			30						*を含む4単位以上		
	*チーム医療論	講義	*1					15	15					
	保健医療論	講義		1					15					
	社会福祉学	講義		1		15					15			
健康政策論	講義		1											

※朱書き部分：クラス分けを行う演習科目

科目区分	授業科目の名称	講義形態	単位数		1年		2年		3年		4年		卒業要件単位
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門教育科目	理学療法基礎学	理学療法概論	講義	1	30								5単位
		理学療法概論演習	演習	1		30							
		理学療法セミナーⅠ	演習	1		30							
		理学療法セミナーⅡ	演習	1				30					
		理学療法セミナーⅢ	演習	1					30				
	理学療法評価学	理学療法評価学(運動器系)	講義	1				15	15				8単位
		理学療法評価学演習(運動器系)	演習	2				30	30				
		理学療法評価学(神経系)	講義	1				15	15				
		理学療法評価学演習(神経系)	演習	2				30	30				
		臨床判断学(基礎編)	演習	1					30				
		臨床判断学(応用編)	演習	1						30			
	理学療法治療学	運動療法学	講義	1				30					○以外の16単位と、○を含む共通・連携科目の選択科目の中から6単位以上
		運動療法学演習	演習	1					30				
		運動器障害理学療法学	講義	1						30			
		運動器障害理学療法学演習	演習	1						30			
		神経障害理学療法学	講義	1						30			
		神経障害理学療法学演習	演習	1						30			
		呼吸・循環器障害理学療法学	講義	1							30		
		代謝・免疫系障害理学療法学	講義	1							30		
		発達障害理学療法学	講義	1							30		
高齢期障害理学療法学		講義	1							30			
物理療法学		講義	1							30			
物理療法学演習		演習	1							30			
義肢装具学		講義	1							30			
義肢装具学演習		演習	1							30			
日常生活活動基礎学	講義	1							30				
神経筋促進治療学	演習	1							30				
○高次脳機能障害学	講義		○1							30			
○徒手関節治療学	演習		○1							30			
○スポーツ理学療法学	講義		○1							30			
学地療域法理	地域理学療法学	講義	1						30			2単位	
	生活環境学	講義	1							30			
臨床学実習法	臨床実習Ⅰ(理学療法)	実習		1				45				20単位	
	臨床実習Ⅱ(理学療法)	実習		3						135			
	臨床実習Ⅲ(理学療法)	実習		16							720		
共通・連携科目	*リハビリテーション管理学	講義	*1									*の付いた7単位を必修とする	
	呼吸リハビリテーション特論	講義		1						15			
	応急処置法	演習		1					30				
	軟部組織治療学	演習		1					30				
	ウイメンズヘルスクエア論	講義		1					15				
	災害リハビリテーション	講義		1					15				
	*地域リハビリテーション学	講義	*1				30						
	*地域リハビリテーション学演習	演習	*1				30						
	*研究法	講義	*1						30				
	*卒業研究Ⅰ	演習	*1							30			
*卒業研究Ⅱ	演習	*2								30			

※朱書き部分：クラス分けを行う演習科目

理学療法専攻の学外実習施設一覧

No	実習施設名	住所	No	実習施設名	住所
1	医療法人秀友会 札幌秀友会病院	札幌市手稲区新寒券5条6丁目2-1	35	医療法人医仁会 中村記念南病院	札幌市南区川沿2条2丁目23-4
2	社会医療法人社団三草会 クラーク病院	札幌市東区本町2条4丁目8-20	36	医療法人仁陽会 西岡第一病院	札幌市豊平区西岡3条6丁目8-1
3	医療法人社団明日佳 桜台明日佳病院	札幌市厚別区厚別西5条5丁目1-1	37	医療法人三和会 札幌南整形外科病院	札幌市南区南33条西11丁目4-1
4	北海道立子ども総合医療・ 療育センター	札幌市手稲区金山1条1丁目240-6	38	医療法人 北海道整形外科記念病院	札幌市豊平区平岸7条13丁目5-22
5	札幌医科大学附属病院	札幌市中央区南1条西16丁目291	39	社会医療法人蘭友会 札幌里塚病院	札幌市清田区美しが丘1条6-1-5
6	社会医療法人楨心会 札幌楨心会病院	札幌市東区北44条東8丁目1-6	40	札幌つきさむ中央整形外科	札幌市豊平区月寒中央通2-4-10
7	社会医療法人康和会 札幌しらかば台病院	札幌市豊平区月寒東2条18丁目7-26	41	医療法人北翔会 岩見沢北翔会病院	岩見沢市10条西21丁目1-1
8	新さっぽろ脳神経外科病院	札幌市厚別区上野幌1条2丁目1-10	42	医療法人社団 函館脳神経外科病院	函館市神山1丁目4-12
9	市立札幌病院	札幌市中央区北11条西13丁目1-1	43	社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院	函館市本町33-2
10	医療法人溪仁会 定山溪病院	札幌市南区定山溪温泉西3丁目71	44	医療法人社団我汝会 さっぽろ病院	札幌市東区北24条東1丁目3番7号
11	医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院	札幌市西区八軒9条東5丁目1-20	45	医療法人 麻生整形外科病院	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5
12	医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院	札幌市手稲区前田1条12丁目355	46	医療法人社団 札幌百合の会病院	札幌市北区百合が原11丁目186
13	医療法人愛全会 愛全病院	札幌市南区川沿13条2丁目1-38	47	医療法人社団仁生会 西堀病院	函館市中道2丁目6-11
14	医療法人溪仁会 札幌西円山病院	札幌市中央区円山西町4丁目7-25	48	社会医療法人 高橋病院	函館市元町32-18
15	医療法人社団我汝会 えにわ病院	恵庭市黄金中央2丁目1-1	49	市立函館病院	函館市港町1丁目10-1
16	医療法人医仁会 中村記念病院	札幌市中央区南1条西14丁目	50	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院	函館市五稜郭町38番3号
17	医療法人明日佳 札幌宮の沢脳神経外科病院	札幌市西区西町南20丁目1-30	51	医療法人雄心会 函館新都市病院	函館市石川町52-112
18	社会医療法人孝仁会 札幌第一病院	札幌市西区二十四軒4条3丁目4-26	52	北海道大学病院	札幌市北区北14条西5丁目
19	医療法人尚仁会 真栄病院	札幌市清田区真栄331	53	医療法人社団青優会 南小樽病院	小樽市潮見台1丁目5-3
20	医療法人北祐会 北祐会神経内科病院	札幌市西区二十四軒2条2丁目4-30	54	医療法人社団進和会 旭川リハビリテーション病院	旭川市緑が丘東1条1丁目1-1
21	医療法人社団翔仁会 輪厚三愛病院	北広島市輪厚704	55	医療法人杏仁会 大雪病院	旭川市永山3条7丁目1-5
22	医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	札幌市厚別区大谷地東1丁目1-1	56	北海道立旭川肢体不自由児 総合療育センター	旭川市春光台2条1丁目1-43
23	医療法人社団いづみ会 北星病院	千歳市清流5丁目1-1	57	国立大学法人 旭川医科大学病院	旭川市西神楽4線5号3-11
24	医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院	千歳市富丘1丁目34-11	58	J A北海道厚生連 旭川厚生病院	旭川市1条通24丁目111
25	医療法人社団明生会 イムス札幌内科リハビリテーション病院	札幌市手稲区手稲金山124	59	地域医療支援病院 旭川赤十字病院	旭川市曙1条1丁目1-1
26	社会医療法人恵和会 西岡病院	札幌市豊平区西岡4条4丁目1-52	60	道北勤医協 一条通病院	旭川市豊岡1条1丁目7-3
27	医療法人社団明日佳 札幌明日佳病院	札幌市中央区宮の森1条17丁目1-25	61	医療法人社団悠仁会 羊ヶ丘病院	札幌市厚別区青葉町3丁目1-10
28	医療法人社団明日佳 岩見沢明日佳病院	岩見沢市志文町297-13	62	市立室蘭総合病院	室蘭市山手町3-8-1
29	医療法人社団明日佳 白石明日佳病院	札幌市白石区東札幌5条5丁目2-5	63	医療法人平成醫塾 苫小牧東病院	苫小牧市明野新町5丁目1-30
30	医療法人北農会 恵み野病院	恵庭市恵み野西2丁目3-5	64	なかむら整形外科クリニック	伊達市梅本町35-43
31	医療法人 札幌山の山病院	札幌市西区山の手6条9丁目1-1	65	医療法人社団慶北会 花田病院	美唄市大通東1条北2丁目2-5
32	医療法人 記念塔病院	札幌市厚別区厚別東4条3丁目3-6	66	医療法人社団藤花会 江別谷藤病院	江別市幸町22
33	医療法人友愛会 友愛記念病院	江別市新栄台46番地1	67	医療法人社団石史山会 札幌スポーツクリニック	札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル1階
34	札幌円山整形外科病院	札幌市中央区北7条西27丁目1-3	68	市立三笠総合病院	三笠市宮本町489-1

No	実習施設名	住所	No	実習施設名	住所
69	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院	室蘭市知利別町1-45	104	独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18
70	町立長沼病院	夕張郡長沼町中央南2丁目2-1	105	医療法人元生会 森山病院	旭川市8条通6丁目左10号
71	長沼整形外科・リハビリテーション科	夕張郡長沼町西町1丁目8番15	106	市立芦別病院	芦別市本町14
72	医療法人社団養生館 苫小牧日翔病院	苫小牧市矢代町2丁目9-13	107	社会福祉法人真宗協会 帯広光南病院	帯広市空港南町303-7
73	医療法人清仁会 北海道内科リウマチ科病院	札幌市西区琴似1条3丁目1-45	108	医療法人悠康会 函館整形外科クリニック	函館市石川町2-115
74	医療法人翔陽会 滝川脳神経外科病院	滝川市西町1丁目2-5	109	医療法人社団山樹会 平山医院	函館市東雲町6番11号
75	地域医療支援病院 北見赤十字病院	北見市北6条東2丁目	110	留萌市立病院	留萌市東雲町2丁目16
76	医療法人扶恵会 釧路中央病院	釧路市黒金町8丁目3番地	111	医療法人社団 ながさわ整形外科	函館市石川町457番地2
77	独立行政法人労働者健康福祉機構 釧路労災病院	釧路市中園町13-23	112	社会福祉法人楡の会 楡の会こどもクリニック	札幌市厚別区厚別町下野幌49
78	総合病院釧路赤十字病院	釧路市新栄町21-14	113	独立行政法人労働者健康安全機構 北海道せき損センター	美唄市東4条南1丁目3-1
79	医療法人北武会 北都病院	札幌市手稲区手稲山口550番2	114	医療法人社団翔嶺館 新札幌聖陵ホスピタル	札幌市厚別区厚別東4条2丁目1-30
80	医療法人孝仁会 星が浦病院	釧路市星が浦大通3丁目9-13	115	医療法人中山会 新札幌パウロ病院	札幌市厚別区厚別東2条6丁目4-1
81	社会医療法人北斗 北斗病院	帯広市稲田町基線7-5	116	医療法人 札幌中央病院	札幌市中央区南9条西10丁目
82	十勝リハビリテーションセンター	帯広市稲田町基線2-1	117	医療法人社団カレスサポロ 北光記念病院	札幌市東区北27条東8丁目1-6
83	医療法人ケイ・アイ オホーツク海病院	札幌市東区本町2条4丁目8-20	118	医療法人為久会 札幌共立五輪橋病院	札幌市南区川沿2条1丁目2-54
84	社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院	釧路市愛国199番212	119	社会医療法人北楡会 開成病院	札幌市北区北33条西6丁目2-35
85	地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	120	医療法人社団健和会 函館おおむら整形外科病院	函館市石川町125-1
86	医療法人社団 静和会 静和記念病院	札幌市西区琴似1条5丁目1-1	121	J A北海道厚生連 遠軽厚生病院	紋別郡遠軽町大通北3丁目1-5
87	N T T 東日本札幌病院	札幌市中央区南1条西15丁目290	122	名寄市立総合病院	名寄市西7条南8丁目1
88	特定医療法人 柏葉脳神経外科病院	札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20	123	社会医療法人 札幌清田整形外科病院	札幌市清田区清田1条4丁目1-50
89	医療法人 松田整形外科記念病院	札幌市北区北18条西4丁目21-17	124	医療法人社団明生会 イムス札幌消化器中央総合病院	札幌市西区八軒2条西1丁目1-1
90	医療法人 王子総合病院	苫小牧市若草町3丁目4-8	125	医療法人 北海道循環器病院	札幌市中央区南27条西13丁目1-30
91	苫小牧市立病院	苫小牧市清水町1丁目5番20号	126	医療法人社団豊生会 東苗穂病院	札幌市東区東苗穂3条1丁目2-18
92	栗山赤十字病院	夕張郡栗山町朝日3丁目2	127	特定医療法人朋仁会 整形外科北新東病院	札幌市東区伏古5条3丁目3-2
93	北海道立江差病院	檜山郡江差町字伏木戸町484	128	社会福祉法人北翔会 医療福祉センター札幌あゆみの園	札幌市白石区川北2254-1
94	江別市立病院	江別市若草町6	129	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院	札幌市白石区東札幌6条6丁目5-1
95	J A北海道厚生連 札幌厚生病院	札幌市中央区北3条東8丁目5	130	医療法人社団 北樹会病院	札幌市豊平区月寒西5条8丁目4-32
96	医療法人 札幌麻生脳神経外科病院	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5	131	医療法人社団医修会 大川原脳神経外科病院	室蘭市寿町1丁目5-2
97	医療法人社団朋仁会 整形外科北新病院	札幌市白石区菊水元町3条3丁目1-18	132	社団法人北海道勤労者医療協会 勤医協苫小牧病院	苫小牧市見山町1丁目8-23
98	医療法人元生会 森山メモリアル病院	旭川市旭町2条1丁目31	133	社会福祉法人北海道社会事業協会 富良野病院	富良野市住吉町1-30
99	医療法人勉仁会 東小樽病院	小樽市新光2丁目29-3	134	医療法人社団高翔会 北星記念病院	北見市中央三輪2丁目302-1
100	社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院	帯広市東5条南9丁目2	135	社会福祉法人延山会 老人保健施設 苫小牧健樹園	苫小牧市澄川町7丁目9番18号
101	社会医療法人社団延山会 苫小牧澄川病院	苫小牧市澄川町7丁目9-18	136	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区菊水4条2丁目
102	国家公務員共済組合連合会 斗南病院	札幌市中央区北4条西7丁目3-8			
103	医療法人一仁会 南札幌脳神経外科	札幌市南区川沿2条3丁目2-32			

リハビリテーション学科 理学療法専攻 臨床実習Ⅰ(理学療法) 学生配置・担当教員一覧表 期間:1週間

学生	施設名	住所	受入学生数	実習担当教員	実習巡回時期
学生1	医療法人元生会 森山病院	旭川市8条通6丁目左10号	1	乾公美 教授	-
学生2	医療法人社団明日佳 岩見沢明日佳病院	岩見沢市志文町297-13	1	乾公美 教授	-
学生3	医療法人社団我友会 えにお病院	恵庭市黄金中央2丁目1-1	1	乾公美 教授	-
学生4	医療法人北晨会 恵み野病院	恵庭市恵み野西2丁目3-5	1	乾公美 教授	-
学生5	医療法人社団藤花会 江別谷藤病院	江別市幸町22	1	乾公美 教授	-
学生6	医療法人友愛会 友愛記念病院	江別市新栄台46番地1	1	乾公美 教授	-
学生7	医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院	札幌市西区八軒9条東5丁目1-20	1	乾公美 教授	-
学生8	医療法人社団明日佳 桜台明日佳病院	札幌市厚別区厚別西5条5丁目1-1	1	乾公美 教授	-
学生9	地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	1	高橋光彦 教授	-
学生10	医療法人中山会 新札幌パワロ病院	札幌市厚別区厚別東2条6丁目4-1	1	高橋光彦 教授	-
学生11	医療法人社団翔臨館 新札幌聖隷ホスピタル	札幌市厚別区厚別東4条2丁目1-30	1	高橋光彦 教授	-
学生12	医療法人 記念塔病院	札幌市厚別区厚別東4条3丁目3-6	1	高橋光彦 教授	-
学生13	新さっぽろ脳神経外科病院	札幌市厚別区上野幌1条2丁目1-10	1	高橋光彦 教授	-
学生14	医療法人社団悠仁会 羊ヶ丘病院	札幌市厚別区青葉町3丁目1-10	1	高橋光彦 教授	-
学生15	医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	札幌市厚別区大谷地東1丁目1-1	1	高橋光彦 教授	-
学生16	医療法人社団明生会 イムス札幌内科リハビリテーション病院	札幌市手稲区手稲金山124	1	高橋光彦 教授	-
学生17	医療法人北武会 北部病院	札幌市手稲区手稲山口550番2	1	佐藤秀紀 教授	-
学生18	医療法人秀友会 札幌秀友会病院	札幌市手稲区新発寒5条6丁目2-1	1	佐藤秀紀 教授	-
学生19	医療法人漢仁会 手稲漢仁会病院	札幌市手稲区前田1条12丁目355	1	佐藤秀紀 教授	-
学生20	医療法人尚仁会 真栄病院	札幌市清田区真栄331	1	佐藤秀紀 教授	-
学生21	社会医療法人 札幌清田整形外科病院	札幌市清田区清田1条4丁目1-50	1	佐藤秀紀 教授	-
学生22	社会医療法人蘭友会 札幌里塚病院	札幌市清田区美しが丘1条6-1-5	1	佐藤秀紀 教授	-
学生23	医療法人清仁会 北海道内科リウマチ科病院	札幌市西区琴似1条3丁目1-45	1	佐藤秀紀 教授	-
学生24	医療法人社団 静和会 静和記念病院	札幌市西区琴似1条5丁目1-1	1	佐藤秀紀 教授	-
学生25	医療法人 札幌山の病院	札幌市西区山の手6条9丁目1-1	1	石橋晃仁 講師	-
学生26	医療法人明日佳 札幌宮の沢脳神経外科病院	札幌市西区西町南20丁目1-30	1	石橋晃仁 講師	-
学生27	医療法人北祐会 北祐会神経内科病院	札幌市西区二十四軒2条2丁目4-30	1	石橋晃仁 講師	-
学生28	社会医療法人孝仁会 札幌第一病院	札幌市西区二十四軒4条3丁目4-26	1	石橋晃仁 講師	-
学生29	医療法人漢仁会 札幌西山病院	札幌市中央区山手町4丁目7-25	1	石橋晃仁 講師	-
学生30	医療法人社団明日佳 札幌明日佳病院	札幌市中央区宮の森17丁目1-25	1	石橋晃仁 講師	-
学生31	医療法人医仁会 中村記念病院	札幌市中央区南1条西14丁目	1	石橋晃仁 講師	-
学生32	N T T東日本札幌病院	札幌市中央区南1条西15丁目290	1	石橋晃仁 講師	-
学生33	札幌医科大学附属病院	札幌市中央区南1条西16丁目291	1	西山徹 講師	-
学生34	医療法人 北海道循環器病院	札幌市中央区南27条西13丁目1-30	1	西山徹 講師	-
学生35	医療法人 札幌中央病院	札幌市中央区南9条西10丁目	1	西山徹 講師	-
学生36	市立札幌病院	札幌市中央区北11条西13丁目1	1	西山徹 講師	-
学生37	医療法人社団石史山会 札幌スポーツクリニック	札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル1階	1	西山徹 講師	-
学生38	J A北海道厚生連 札幌厚生病院	札幌市中央区北3条東8丁目5	1	西山徹 講師	-
学生39	国家公務員共済組合連合会 斗南病院	札幌市中央区北4条西7丁目3-8	1	西山徹 講師	-
学生40	札幌山手整形外科病院	札幌市中央区北7条西27丁目1-3	1	西山徹 講師	-
学生41	医療法人社団豊生会 東苗穂病院	札幌市東区東苗穂3条1丁目2-18	1	向井康詞 講師	-
学生42	医療法人社団我友会 さっぽろ病院	札幌市東区北24条東1丁目3番7号	1	向井康詞 講師	-
学生43	医療法人社団カレスサポロ 北光記念病院	札幌市東区北27条東8丁目1-6	1	向井康詞 講師	-
学生44	札幌しらかば台病院	札幌市東区北44条東8丁目1-6	1	向井康詞 講師	-
学生45	社会医療法人社団三草会 クラーク病院	札幌市東区本町2条4丁目8-20	1	向井康詞 講師	-
学生46	医療法人ケイ・アイ オホーツク海病院	札幌市東区本町2条4丁目8-20	1	向井康詞 講師	-
学生47	医療法人愛全会 愛全病院	札幌市南区川沿13条2丁目1-38	1	向井康詞 講師	-
学生48	医療法人為人会 札幌共立五輪橋病院	札幌市南区川沿2条1丁目2-54	1	向井康詞 講師	-
学生49	医療法人医仁会 中村記念南病院	札幌市南区川沿2条2丁目23-4	1	松田智恵 講師	-
学生50	医療法人一仁会 南札幌脳神経外科	札幌市南区川沿2条3丁目2-32	1	松田智恵 講師	-
学生51	医療法人漢仁会 定山漢病院	札幌市南区定山温泉西3丁目71	1	松田智恵 講師	-
学生52	医療法人三和会 札幌南整形外科病院	札幌市南区南33条西11丁目4-1	1	松田智恵 講師	-
学生53	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区菊水4条2丁目	1	松田智恵 講師	-
学生54	医療法人社団明仁会 整形外科北新病院	札幌市白石区菊水元町3条3丁目1-18	1	松田智恵 講師	-
学生55	医療法人社団明日佳 白石明日佳病院	札幌市白石区東札幌5条5丁目2-5	1	松田智恵 講師	-
学生56	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院	札幌市白石区東札幌6条6丁目5-1	1	松田智恵 講師	-
学生57	医療法人社団 北樹会病院	札幌市豊平区月寒西5条8丁目4-32	1	木原由里子 助教	-
学生58	札幌つきさむ中央整形外科	札幌市豊平区月寒中央通2-4-10	1	木原由里子 助教	-
学生59	特定医療法人 柏葉脳神経外科病院	札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20	1	木原由里子 助教	-
学生60	社会医療法人康和会 札幌しらかば台病院	札幌市豊平区月寒東2条18丁目7-26	1	木原由里子 助教	-
学生61	医療法人仁賜会 西岡第一病院	札幌市豊平区西岡3条6丁目8-1	1	木原由里子 助教	-
学生62	社会医療法人恵和会 西岡病院	札幌市豊平区西岡4条4丁目1-52	1	木原由里子 助教	-
学生63	独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18	1	木原由里子 助教	-
学生64	医療法人 北海道整形外科記念病院	札幌市豊平区平岸7条13丁目5-22	1	木原由里子 助教	-
学生65	医療法人 麻生整形外科病院	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5	1	新開谷深 助教	-
学生66	医療法人 札幌麻生脳神経外科病院	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5	1	新開谷深 助教	-
学生67	医療法人社団 札幌百合の会病院	札幌市北区百合が原11丁目186	1	新開谷深 助教	-
学生68	北海道大学病院	札幌市北区北14条西5丁目	1	新開谷深 助教	-
学生69	医療法人 松田整形外科記念病院	札幌市北区北18条西4丁目21-17	1	新開谷深 助教	-
学生70	社会医療法人北楡会 開成病院	札幌市北区北33条西6丁目2-35	1	新開谷深 助教	-
学生71	札幌スポーツクリニック	札幌時計台ビル1階	1	新開谷深 助教	-
学生72	医療法人社団修会 大川原脳神経外科病院	宝蘭市寿町1丁目5-2	1	新開谷深 助教	-
学生73	医療法人勉仁会 東小樽病院	小樽市新光2丁目29-3	1	坂口友康助教	-
学生74	医療法人社団いずみ会 北星病院	千歳市清流5丁目1-1	1	坂口友康助教	-
学生75	医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院	千歳市富丘1丁目34-11	1	坂口友康助教	-
学生76	社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院	帯広市東5条南9丁目2	1	坂口友康助教	-
学生77	医療法人 王子総合病院	苫小牧市若草町3丁目4-8	1	坂口友康助教	-
学生78	苫小牧市立病院	苫小牧市清水町1丁目5番20号	1	坂口友康助教	-
学生79	医療法人社団翔仁会 輪厚三愛病院	北広島市輪厚704	1	坂口友康助教	-
学生80	栗山赤十字病院	夕張郡栗山町朝日3丁目2	1	坂口友康助教	-

リハビリテーション学科 理学療法専攻 臨床実習Ⅱ (理学療法) 学生配置・担当教員一覧表 期間：3週間

学生	施設名	住所	受入学生数	実習担当教員	実習巡回時期
学生1	医療法人元生会 森山病院	旭川市8条通6丁目左10号	1	乾公美 教授	第2週
学生2	医療法人社団明日佳 岩見沢明日佳病院	岩見沢市志文町297-13	1	乾公美 教授	第2週
学生3	医療法人社団我友会 えにわ病院	恵庭市黄金中央2丁目1-1	1	乾公美 教授	第2週
学生4	医療法人北農会 恵み野病院	恵庭市恵み野西2丁目3-5	1	乾公美 教授	第2週
学生5	医療法人社団藤花会 江別谷藤病院	江別市幸町22	1	乾公美 教授	第2週
学生6	医療法人友愛会 友愛記念病院	江別市新栄台46番地1	1	乾公美 教授	第2週
学生7	医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院	札幌市西区八軒9条東5丁目1-20	1	乾公美 教授	第2週
学生8	医療法人社団明日佳 桜台明日佳病院	札幌市厚別区厚別西5条5丁目1-1	1	乾公美 教授	第2週
学生9	地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	1	高橋光彦 教授	第2週
学生10	医療法人中山会 新札幌パワロ病院	札幌市厚別区厚別東2条6丁目4-1	1	高橋光彦 教授	第2週
学生11	医療法人社団翔鶴館 新札幌聖陵ホスピタル	札幌市厚別区厚別東4条2丁目1-30	1	高橋光彦 教授	第2週
学生12	医療法人 記念塔病院	札幌市厚別区厚別東4条3丁目3-6	1	高橋光彦 教授	第2週
学生13	新さっぽろ脳神経外科病院	札幌市厚別区上野幌1条2丁目1-10	1	高橋光彦 教授	第2週
学生14	医療法人社団悠仁会 羊ヶ丘病院	札幌市厚別区青葉町3丁目1-10	1	高橋光彦 教授	第2週
学生15	医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	札幌市厚別区大谷地東1丁目1-1	1	高橋光彦 教授	第2週
学生16	医療法人社団明生会 イムス札幌内科リハビリテーション病院	札幌市手稲区手稲金山124	1	高橋光彦 教授	第2週
学生17	医療法人北武会 北都病院	札幌市手稲区手稲山1550番2	1	佐藤秀紀 教授	第2週
学生18	医療法人秀友会 札幌秀友会病院	札幌市手稲区新寒券5条6丁目2-1	1	佐藤秀紀 教授	第2週
学生19	医療法人漢仁会 手稲漢仁会病院	札幌市手稲区前田1条12丁目355	1	佐藤秀紀 教授	第2週
学生20	医療法人尚仁会 真栄病院	札幌市清田区真栄331	1	佐藤秀紀 教授	第2週
学生21	社会医療法人 札幌清田整形外科病院	札幌市清田区清田1条4丁目1-50	1	佐藤秀紀 教授	第2週
学生22	社会医療法人蘭友会 札幌里塚病院	札幌市清田区美しが丘1条6-1-5	1	佐藤秀紀 教授	第2週
学生23	医療法人清仁会 北海道内科リウマチ科病院	札幌市西区琴似1条3丁目1-45	1	佐藤秀紀 教授	第2週
学生24	医療法人社団 静和会 静和記念病院	札幌市西区琴似1条5丁目1-1	1	佐藤秀紀 教授	第2週
学生25	医療法人 札幌山の病院	札幌市西区山の手6条9丁目1-1	1	石橋晃仁 講師	第2週
学生26	医療法人明日佳 札幌宮の沢脳神経外科病院	札幌市西区西町南20丁目1-30	1	石橋晃仁 講師	第2週
学生27	医療法人北祐会 北祐会神経内科病院	札幌市西区二十四軒2条2丁目4-30	1	石橋晃仁 講師	第2週
学生28	社会医療法人孝仁会 札幌第一病院	札幌市西区二十四軒4条3丁目4-26	1	石橋晃仁 講師	第2週
学生29	医療法人漢仁会 札幌西山山病院	札幌市中央区円山西町4丁目7-25	1	石橋晃仁 講師	第2週
学生30	医療法人社団明日佳 札幌明日佳病院	札幌市中央区宮の森1条17丁目1-25	1	石橋晃仁 講師	第2週
学生31	医療法人医仁会 中村記念病院	札幌市中央区南1条西14丁目	1	石橋晃仁 講師	第2週
学生32	N T T 東日本札幌病院	札幌市中央区南1条西15丁目290	1	石橋晃仁 講師	第2週
学生33	札幌医科大学附属病院	札幌市中央区南1条西16丁目291	1	西山徹 講師	第2週
学生34	医療法人 北海道循環器病院	札幌市中央区南27条西13丁目1-30	1	西山徹 講師	第2週
学生35	医療法人 札幌中央病院	札幌市中央区南9条西10丁目	1	西山徹 講師	第2週
学生36	市立札幌病院	札幌市中央区北11条西13丁目1-1	1	西山徹 講師	第2週
学生37	医療法人社団石山会 札幌スポーツクリニック	札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル1階	1	西山徹 講師	第2週
学生38	J A北海道厚生連 札幌厚生病院	札幌市中央区北3条東8丁目5	1	西山徹 講師	第2週
学生39	国家公務員共済組合連合会 斗南病院	札幌市中央区北4条西7丁目3-8	1	西山徹 講師	第2週
学生40	札幌山手整形外科病院	札幌市中央区北7条西27丁目1-3	1	西山徹 講師	第2週
学生41	医療法人社団豊生会 東苗穂病院	札幌市東区東苗穂3条1丁目2-18	1	向井康詞 講師	第2週
学生42	医療法人社団我友会 さっぽろ病院	札幌市東区北24条東1丁目3番7号	1	向井康詞 講師	第2週
学生43	医療法人社団カレスサポロ 北光記念病院	札幌市東区北27条東8丁目1-6	1	向井康詞 講師	第2週
学生44	札幌しらかば台病院	札幌市東区北44条東8丁目1-6	1	向井康詞 講師	第2週
学生45	社会医療法人社団三草会 クラーク病院	札幌市東区本町2条4丁目8-20	1	向井康詞 講師	第2週
学生46	医療法人ケイ・アイ オホーツク海病院	札幌市東区本町2条4丁目8-20	1	向井康詞 講師	第2週
学生47	医療法人愛全会 愛全病院	札幌市南区川沿13条2丁目1-38	1	向井康詞 講師	第2週
学生48	医療法人為久会 札幌共立五輪橋病院	札幌市南区川沿2条1丁目2-54	1	向井康詞 講師	第2週
学生49	医療法人医仁会 中村記念南病院	札幌市南区川沿2条2丁目23-4	1	松田智恵 講師	第2週
学生50	医療法人一仁会 南札幌脳神経外科	札幌市南区川沿2条3丁目2-32	1	松田智恵 講師	第2週
学生51	医療法人漢仁会 定山溪病院	札幌市南区定山溪温泉西3丁目71	1	松田智恵 講師	第2週
学生52	医療法人三和会 札幌南整形外科病院	札幌市南区南33条西11丁目4-1	1	松田智恵 講師	第2週
学生53	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区菊水4条2丁目	1	松田智恵 講師	第2週
学生54	医療法人社団研仁会 整形外科北新病院	札幌市白石区菊水4条3丁目1-18	1	松田智恵 講師	第2週
学生55	医療法人社団明日佳 白石明日佳病院	札幌市白石区東札幌5条5丁目2-5	1	松田智恵 講師	第2週
学生56	社会医療法人北倫会 札幌北倫病院	札幌市白石区東札幌6条6丁目5-1	1	松田智恵 講師	第2週
学生57	医療法人社団 北樹会病院	札幌市豊平区月寒西5条8丁目4-32	1	木原由里子 助教	第2週
学生58	札幌つきさむ中央整形外科	札幌市豊平区月寒中央通2-4-10	1	木原由里子 助教	第2週
学生59	特定医療法人 柏葉脳神経外科病院	札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20	1	木原由里子 助教	第2週
学生60	社会医療法人康和会 札幌しらかば台病院	札幌市豊平区月寒東2条18丁目7-26	1	木原由里子 助教	第2週
学生61	医療法人仁陽会 西岡第一病院	札幌市豊平区西岡3条6丁目8-1	1	木原由里子 助教	第2週
学生62	社会医療法人恵和会 西岡病院	札幌市豊平区西岡4条4丁目1-52	1	木原由里子 助教	第2週
学生63	独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18	1	木原由里子 助教	第2週
学生64	医療法人 北海道整形外科記念病院	札幌市豊平区平岸7条13丁目5-22	1	木原由里子 助教	第2週
学生65	医療法人 麻生整形外科病院	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5	1	新開谷深 助教	第2週
学生66	医療法人 札幌麻生脳神経外科病院	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5	1	新開谷深 助教	第2週
学生67	医療法人社団 札幌百合の会病院	札幌市北区百合が原11丁目186	1	新開谷深 助教	第2週
学生68	北海道大学病院	札幌市北区北14条西5丁目	1	新開谷深 助教	第2週
学生69	医療法人 松田整形外科記念病院	札幌市北区北18条西4丁目21-17	1	新開谷深 助教	第2週
学生70	社会医療法人北倫会 開成病院	札幌市北区北33条西6丁目2-35	1	新開谷深 助教	第2週
学生71	札幌スポーツクリニック	札幌時計台ビル1階	1	新開谷深 助教	第2週
学生72	医療法人社団医修会 大川原脳神経外科病院	室蘭市寿町1丁目5-2	1	新開谷深 助教	第2週
学生73	医療法人勉仁会 東小樽病院	小樽市新光2丁目29-3	1	坂口友康助教	第2週
学生74	医療法人社団いずみ会 北星病院	千歳市清流5丁目1-1	1	坂口友康助教	第2週
学生75	医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院	千歳市富丘1丁目34-11	1	坂口友康助教	第2週
学生76	社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院	帯広市東5条南9丁目2	1	坂口友康助教	第2週
学生77	医療法人 王子総合病院	苫小牧市若草町3丁目4-8	1	坂口友康助教	第2週
学生78	苫小牧市立病院	苫小牧市清水町1丁目5番20号	1	坂口友康助教	第2週
学生79	医療法人社団翔仁会 輪厚三愛病院	北広島市輪厚704	1	坂口友康助教	第2週
学生80	栗山赤十字病院	夕張郡栗山町朝日3丁目2	1	坂口友康助教	第2週

リハビリテーション学科 理学療法専攻 臨床実習Ⅲ(理学療法)前期 学生配置・担当教員一覧表 期間:8週間

学生	施設名	住所	受入学生数	実習担当教員	実習巡回時期
学生1	医療法人元生会 森山病院	旭川市8条通6丁目10号	1	乾公美 教授	第4週
学生2	医療法人社団明日佳 岩見沢明日佳病院	岩見沢市志文町297-13	1	乾公美 教授	第4週
学生3	医療法人社団我友会 えにわ病院	恵庭市黄金中央2丁目1-1	1	乾公美 教授	第4週
学生4	医療法人北農会 恵み野病院	恵庭市恵み野西2丁目3-5	1	乾公美 教授	第5週
学生5	医療法人社団藤花会 江別谷藤病院	江別市幸町22	1	乾公美 教授	第5週
学生6	医療法人友愛会 友愛記念病院	江別市新栄台46番地1	1	乾公美 教授	第5週
学生7	医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院	札幌市西区八軒9条東5丁目1-20	1	乾公美 教授	第6週
学生8	医療法人社団明日佳 桜台明日佳病院	札幌市厚別区厚別西5条5丁目1-1	1	乾公美 教授	第6週
学生9	地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	1	高橋光彦 教授	第4週
学生10	医療法人中山会 新札幌パワロ病院	札幌市厚別区厚別東2条6丁目4-1	1	高橋光彦 教授	第4週
学生11	医療法人社団翔鶴館 新札幌聖陵ホスピタル	札幌市厚別区厚別東4条2丁目1-30	1	高橋光彦 教授	第4週
学生12	医療法人 記念塔病院	札幌市厚別区厚別東4条3丁目3-6	1	高橋光彦 教授	第5週
学生13	新さっぽろ脳神経外科病院	札幌市厚別区上野幌1条2丁目1-10	1	高橋光彦 教授	第5週
学生14	医療法人社団悠仁会 羊ヶ丘病院	札幌市厚別区青葉町3丁目1-10	1	高橋光彦 教授	第5週
学生15	医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	札幌市厚別区大谷地東1丁目1-1	1	高橋光彦 教授	第6週
学生16	医療法人社団明生会 イムス札幌内科リハビリテーション病院	札幌市手稲区手稲金山124	1	高橋光彦 教授	第6週
学生17	医療法人北武会 北都病院	札幌市手稲区手稲山1550番2	1	佐藤秀紀 教授	第4週
学生18	医療法人秀友会 札幌秀友会病院	札幌市手稲区新寒券5条6丁目2-1	1	佐藤秀紀 教授	第4週
学生19	医療法人漢仁会 手稲漢仁会病院	札幌市手稲区前田1条12丁目355	1	佐藤秀紀 教授	第4週
学生20	医療法人尚仁会 真菜病院	札幌市清田区真菜331	1	佐藤秀紀 教授	第5週
学生21	社会医療法人 札幌清田整形外科病院	札幌市清田区清田1条4丁目1-50	1	佐藤秀紀 教授	第5週
学生22	社会医療法人蘭友会 札幌里塚病院	札幌市清田区美しが丘1条6-1-5	1	佐藤秀紀 教授	第5週
学生23	医療法人清仁会 北海道内科リウマチ科病院	札幌市西区琴似1条3丁目1-45	1	佐藤秀紀 教授	第6週
学生24	医療法人社団 静和会 静和記念病院	札幌市西区琴似1条5丁目1-1	1	佐藤秀紀 教授	第6週
学生25	医療法人 札幌山の病院	札幌市西区山の手6条9丁目1-1	1	石橋晃仁 講師	第4週
学生26	医療法人明日佳 札幌宮の沢脳神経外科病院	札幌市西区西町南20丁目1-30	1	石橋晃仁 講師	第4週
学生27	医療法人北祐会 北祐会神経内科病院	札幌市西区二十四軒2条2丁目4-30	1	石橋晃仁 講師	第4週
学生28	社会医療法人孝仁会 札幌第一病院	札幌市西区二十四軒4条3丁目4-26	1	石橋晃仁 講師	第5週
学生29	医療法人漢仁会 札幌西山山病院	札幌市中央区円山西町4丁目7-25	1	石橋晃仁 講師	第5週
学生30	医療法人社団明日佳 札幌明日佳病院	札幌市中央区宮の森1条17丁目1-25	1	石橋晃仁 講師	第5週
学生31	医療法人医仁会 中村記念病院	札幌市中央区南1条西14丁目	1	石橋晃仁 講師	第6週
学生32	N T T 東日本札幌病院	札幌市中央区南1条西15丁目290	1	石橋晃仁 講師	第6週
学生33	札幌医科大学附属病院	札幌市中央区南1条西16丁目291	1	西山徹 講師	第4週
学生34	医療法人 北海道循環器病院	札幌市中央区南27条西13丁目1-30	1	西山徹 講師	第4週
学生35	医療法人 札幌中央病院	札幌市中央区南9条西10丁目	1	西山徹 講師	第4週
学生36	市立札幌病院	札幌市中央区北11条西13丁目1-1	1	西山徹 講師	第5週
学生37	医療法人社団石山会 札幌スポーツクリニック	札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル1階	1	西山徹 講師	第5週
学生38	J A北海道厚生連 札幌厚生病院	札幌市中央区北3条東8丁目5	1	西山徹 講師	第5週
学生39	国家公務員共済組合連合会 斗南病院	札幌市中央区北4条西7丁目3-8	1	西山徹 講師	第6週
学生40	札幌山手整形外科病院	札幌市中央区北7条西27丁目1-3	1	西山徹 講師	第6週
学生41	医療法人社団豊生会 東苗穂病院	札幌市東区東苗穂3条1丁目2-18	1	向井康詞 講師	第4週
学生42	医療法人社団我友会 さっぽろ病院	札幌市東区北24条東1丁目3番7号	1	向井康詞 講師	第4週
学生43	医療法人社団カレスサポロ 北光記念病院	札幌市東区北27条東8丁目1-6	1	向井康詞 講師	第4週
学生44	札幌しらかば台病院	札幌市東区北44条東8丁目1-6	1	向井康詞 講師	第5週
学生45	社会医療法人社団三草会 クラーク病院	札幌市東区本町2条4丁目8-20	1	向井康詞 講師	第5週
学生46	医療法人ケイ・アイ オホーツク海病院	札幌市東区本町2条4丁目8-20	1	向井康詞 講師	第5週
学生47	医療法人愛全会 愛全病院	札幌市南区川沿13条2丁目1-38	1	向井康詞 講師	第6週
学生48	医療法人為久会 札幌共立五輪橋病院	札幌市南区川沿2条1丁目2-54	1	向井康詞 講師	第6週
学生49	医療法人医仁会 中村記念南病院	札幌市南区川沿2条2丁目23-4	1	松田智恵 講師	第4週
学生50	医療法人一仁会 南札幌脳神経外科	札幌市南区川沿2条3丁目2-32	1	松田智恵 講師	第4週
学生51	医療法人漢仁会 定山溪病院	札幌市南区定山溪温泉西3丁目71	1	松田智恵 講師	第4週
学生52	医療法人三和会 札幌南整形外科病院	札幌市南区南33条西11丁目4-1	1	松田智恵 講師	第5週
学生53	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区菊水4条2丁目	1	松田智恵 講師	第5週
学生54	医療法人社団研仁会 整形外科北新病院	札幌市白石区菊水4条3丁目1-18	1	松田智恵 講師	第5週
学生55	医療法人社団明日佳 白石明日佳病院	札幌市白石区東札幌5条5丁目2-5	1	松田智恵 講師	第6週
学生56	社会医療法人北倫会 札幌北倫病院	札幌市白石区東札幌6条6丁目5-1	1	松田智恵 講師	第6週
学生57	医療法人社団 北樹会病院	札幌市豊平区月寒西5条8丁目4-32	1	木原由里子 助教	第4週
学生58	札幌つきさむ中央整形外科	札幌市豊平区月寒中央通2-4-10	1	木原由里子 助教	第4週
学生59	特定医療法人 柏葉脳神経外科病院	札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20	1	木原由里子 助教	第4週
学生60	社会医療法人康和会 札幌しらかば台病院	札幌市豊平区月寒東2条18丁目7-26	1	木原由里子 助教	第5週
学生61	医療法人仁陽会 西岡第一病院	札幌市豊平区西岡3条6丁目8-1	1	木原由里子 助教	第5週
学生62	社会医療法人恵和会 西岡病院	札幌市豊平区西岡4条4丁目1-52	1	木原由里子 助教	第5週
学生63	独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18	1	木原由里子 助教	第6週
学生64	医療法人 北海道整形外科記念病院	札幌市豊平区平岸7条13丁目5-22	1	木原由里子 助教	第6週
学生65	医療法人 麻生整形外科病院	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5	1	新開谷深 助教	第4週
学生66	医療法人 札幌麻生脳神経外科病院	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5	1	新開谷深 助教	第4週
学生67	医療法人社団 札幌百合の会病院	札幌市北区百合が原11丁目186	1	新開谷深 助教	第4週
学生68	北海道大学病院	札幌市北区北14条西5丁目	1	新開谷深 助教	第5週
学生69	医療法人 松田整形外科記念病院	札幌市北区北18条西4丁目21-17	1	新開谷深 助教	第5週
学生70	社会医療法人北倫会 開成病院	札幌市北区北33条西6丁目2-35	1	新開谷深 助教	第5週
学生71	札幌スポーツクリニック	札幌時計台ビル1階	1	新開谷深 助教	第6週
学生72	医療法人社団医修会 大川原脳神経外科病院	室蘭市寿町1丁目5-2	1	新開谷深 助教	第6週
学生73	医療法人勉仁会 東小樽病院	小樽市新光2丁目29-3	1	坂口友康助教	第4週
学生74	医療法人社団いずみ会 北星病院	千歳市清流5丁目1-1	1	坂口友康助教	第4週
学生75	医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院	千歳市富丘1丁目34-11	1	坂口友康助教	第4週
学生76	社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院	帯広市東5条南9丁目2	1	坂口友康助教	第5週
学生77	医療法人 王子総合病院	苫小牧市若草町3丁目4-8	1	坂口友康助教	第5週
学生78	苫小牧市立病院	苫小牧市清水町1丁目5番20号	1	坂口友康助教	第5週
学生79	医療法人社団翔仁会 輪厚三愛病院	北広島市輪厚704	1	坂口友康助教	第6週
学生80	栗山赤十字病院	夕張郡栗山町朝日3丁目2	1	坂口友康助教	第6週

リハビリテーション学科 理学療法専攻 臨床実習Ⅲ（理学療法）後期 学生配置・担当教員一覧表 期間：8週間

学生	施設名	住所	受入学生数	実習担当教員	実習巡回時期
学生1	医療法人元生会 森山病院	旭川市8条通6丁目左10号	1	乾公美 教授	第4週
学生2	医療法人社団明日佳 岩見沢明日佳病院	岩見沢市志文町297-13	1	乾公美 教授	第4週
学生3	医療法人社団我友会 えにわ病院	恵庭市黄金中央2丁目1-1	1	乾公美 教授	第4週
学生4	医療法人北農会 恵み野病院	恵庭市恵み野西2丁目3-5	1	乾公美 教授	第5週
学生5	医療法人社団藤花会 江別谷藤病院	江別市幸町22	1	乾公美 教授	第5週
学生6	医療法人友愛会 友愛記念病院	江別市新栄台46番地1	1	乾公美 教授	第5週
学生7	医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院	札幌市西区八軒9条東5丁目1-20	1	乾公美 教授	第6週
学生8	医療法人社団明日佳 桜台明日佳病院	札幌市厚別区厚別西5条5丁目1-1	1	乾公美 教授	第6週
学生9	地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	1	高橋光彦 教授	第4週
学生10	医療法人中山会 新札幌パワロ病院	札幌市厚別区厚別東2条6丁目4-1	1	高橋光彦 教授	第4週
学生11	医療法人社団翔鶴館 新札幌聖陵ホスピタル	札幌市厚別区厚別東4条2丁目1-30	1	高橋光彦 教授	第4週
学生12	医療法人 記念塔病院	札幌市厚別区厚別東4条3丁目3-6	1	高橋光彦 教授	第5週
学生13	新さっぽろ脳神経外科病院	札幌市厚別区上野幌1条2丁目1-10	1	高橋光彦 教授	第5週
学生14	医療法人社団悠仁会 羊ヶ丘病院	札幌市厚別区青葉町3丁目1-10	1	高橋光彦 教授	第5週
学生15	医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	札幌市厚別区大谷地東1丁目1-1	1	高橋光彦 教授	第6週
学生16	医療法人社団明生会 イムス札幌内科リハビリテーション病院	札幌市手稲区手稲金山124	1	高橋光彦 教授	第6週
学生17	医療法人北武会 北都病院	札幌市手稲区手稲山1550番2	1	佐藤秀紀 教授	第4週
学生18	医療法人秀友会 札幌秀友会病院	札幌市手稲区新寒券5条6丁目2-1	1	佐藤秀紀 教授	第4週
学生19	医療法人漢仁会 手稲漢仁会病院	札幌市手稲区前田1条12丁目355	1	佐藤秀紀 教授	第4週
学生20	医療法人尚仁会 真菜病院	札幌市清田区真菜331	1	佐藤秀紀 教授	第5週
学生21	社会医療法人 札幌清田整形外科病院	札幌市清田区清田1条4丁目1-50	1	佐藤秀紀 教授	第5週
学生22	社会医療法人 蘭友会 札幌里塚病院	札幌市清田区美しが丘1条6-1-5	1	佐藤秀紀 教授	第5週
学生23	医療法人清仁会 北海道内科リウマチ科病院	札幌市西区琴似1条3丁目1-45	1	佐藤秀紀 教授	第6週
学生24	医療法人社団 静和会 静和記念病院	札幌市西区琴似1条5丁目1-1	1	佐藤秀紀 教授	第6週
学生25	医療法人 札幌山の大病院	札幌市西区山の手6条9丁目1-1	1	石橋晃仁 講師	第4週
学生26	医療法人明日佳 札幌宮の沢脳神経外科病院	札幌市西区西町南20丁目1-30	1	石橋晃仁 講師	第4週
学生27	医療法人北祐会 北祐会神経内科病院	札幌市西区二十四軒2条2丁目4-30	1	石橋晃仁 講師	第4週
学生28	社会医療法人孝仁会 札幌第一病院	札幌市西区二十四軒4条3丁目4-26	1	石橋晃仁 講師	第5週
学生29	医療法人漢仁会 札幌西山山病院	札幌市中央区円山西町4丁目7-25	1	石橋晃仁 講師	第5週
学生30	医療法人社団明日佳 札幌明日佳病院	札幌市中央区宮の森1条17丁目1-25	1	石橋晃仁 講師	第5週
学生31	医療法人医仁会 中村記念病院	札幌市中央区南1条西14丁目	1	石橋晃仁 講師	第6週
学生32	N T T 東日本札幌病院	札幌市中央区南1条西15丁目290	1	石橋晃仁 講師	第6週
学生33	札幌医科大学附属病院	札幌市中央区南1条西16丁目291	1	西山徹 講師	第4週
学生34	医療法人 北海道循環器病院	札幌市中央区南27条西13丁目1-30	1	西山徹 講師	第4週
学生35	医療法人 札幌中央病院	札幌市中央区南9条西10丁目	1	西山徹 講師	第4週
学生36	市立札幌病院	札幌市中央区北11条西13丁目1-1	1	西山徹 講師	第5週
学生37	医療法人社団石山会 札幌スポーツクリニック	札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル1階	1	西山徹 講師	第5週
学生38	J A北海道厚生連 札幌厚生病院	札幌市中央区北3条東8丁目5	1	西山徹 講師	第5週
学生39	国家公務員共済組合連合会 斗南病院	札幌市中央区北4条西7丁目3-8	1	西山徹 講師	第6週
学生40	札幌山手整形外科病院	札幌市中央区北7条西27丁目1-3	1	西山徹 講師	第6週
学生41	医療法人社団豊生会 東苗穂病院	札幌市東区東苗穂3条1丁目2-18	1	向井康詞 講師	第4週
学生42	医療法人社団我友会 さっぽろ病院	札幌市東区北24条東1丁目3番7号	1	向井康詞 講師	第4週
学生43	医療法人社団カレスサポロ 北光記念病院	札幌市東区北27条東8丁目1-6	1	向井康詞 講師	第4週
学生44	札幌しらかば台病院	札幌市東区北44条東8丁目1-6	1	向井康詞 講師	第5週
学生45	社会医療法人社団三草会 クラーク病院	札幌市東区本町2条4丁目8-20	1	向井康詞 講師	第5週
学生46	医療法人ケイ・アイ オホーツク海病院	札幌市東区本町2条4丁目8-20	1	向井康詞 講師	第5週
学生47	医療法人愛全会 愛全病院	札幌市南区川沿13条2丁目1-38	1	向井康詞 講師	第6週
学生48	医療法人為久会 札幌共立五輪橋病院	札幌市南区川沿2条1丁目2-54	1	向井康詞 講師	第6週
学生49	医療法人医仁会 中村記念南病院	札幌市南区川沿2条2丁目23-4	1	松田智恵 講師	第4週
学生50	医療法人一仁会 南札幌脳神経外科	札幌市南区川沿2条3丁目2-32	1	松田智恵 講師	第4週
学生51	医療法人漢仁会 定山溪病院	札幌市南区定山溪温泉西3丁目71	1	松田智恵 講師	第4週
学生52	医療法人三和会 札幌南整形外科病院	札幌市南区南33条西11丁目4-1	1	松田智恵 講師	第5週
学生53	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区菊水4条2丁目	1	松田智恵 講師	第5週
学生54	医療法人社団研仁会 整形外科北新病院	札幌市白石区菊水4条3丁目1-18	1	松田智恵 講師	第5週
学生55	医療法人社団明日佳 白石明日佳病院	札幌市白石区東札幌5条5丁目2-5	1	松田智恵 講師	第6週
学生56	社会医療法人北倫会 札幌北倫病院	札幌市白石区東札幌6条6丁目5-1	1	松田智恵 講師	第6週
学生57	医療法人社団 北樹会病院	札幌市豊平区月寒西5条8丁目4-32	1	木原由里子 助教	第4週
学生58	札幌つきさむ中央整形外科	札幌市豊平区月寒中央通2-4-10	1	木原由里子 助教	第4週
学生59	特定医療法人 柏葉脳神経外科病院	札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20	1	木原由里子 助教	第4週
学生60	社会医療法人康和会 札幌しらかば台病院	札幌市豊平区月寒東2条18丁目7-26	1	木原由里子 助教	第5週
学生61	医療法人仁陽会 西岡第一病院	札幌市豊平区西岡3条6丁目8-1	1	木原由里子 助教	第5週
学生62	社会医療法人恵和会 西岡病院	札幌市豊平区西岡4条4丁目1-52	1	木原由里子 助教	第5週
学生63	独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18	1	木原由里子 助教	第6週
学生64	医療法人 北海道整形外科記念病院	札幌市豊平区平岸7条13丁目5-22	1	木原由里子 助教	第6週
学生65	医療法人 麻生整形外科病院	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5	1	新開谷深 助教	第4週
学生66	医療法人 札幌麻生脳神経外科病院	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5	1	新開谷深 助教	第4週
学生67	医療法人社団 札幌百合の会病院	札幌市北区百合が原11丁目186	1	新開谷深 助教	第4週
学生68	北海道大学病院	札幌市北区北14条西5丁目	1	新開谷深 助教	第5週
学生69	医療法人 松田整形外科記念病院	札幌市北区北18条西4丁目21-17	1	新開谷深 助教	第5週
学生70	社会医療法人北倫会 開成病院	札幌市北区北33条西6丁目2-35	1	新開谷深 助教	第5週
学生71	札幌スポーツクリニック	札幌時計台ビル1階	1	新開谷深 助教	第6週
学生72	医療法人社団医修会 大川原脳神経外科病院	室蘭市寿町1丁目5-2	1	新開谷深 助教	第6週
学生73	医療法人勉仁会 東小樽病院	小樽市新光2丁目29-3	1	坂口友康助教	第4週
学生74	医療法人社団いずみ会 北星病院	千歳市清流5丁目1-1	1	坂口友康助教	第4週
学生75	医療法人社団豊友会 千歳豊友会病院	千歳市富丘1丁目34-11	1	坂口友康助教	第4週
学生76	社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院	帯広市東5条南9丁目2	1	坂口友康助教	第5週
学生77	医療法人 王子総合病院	苫小牧市若草町3丁目4-8	1	坂口友康助教	第5週
学生78	苫小牧市立病院	苫小牧市清水町1丁目5番20号	1	坂口友康助教	第5週
学生79	医療法人社団翔仁会 輪厚三愛病院	北広島市輪厚704	1	坂口友康助教	第6週
学生80	栗山赤十字病院	夕張郡栗山町朝日3丁目2	1	坂口友康助教	第6週

学生の確保の見通し等を記載した書類

I 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1 学生の確保の見通し

(1) 定員充足の見込み

① 日本医療大学全体

ア 現役の大学進学率は、全国的に上昇傾向にあり、北海道の進学率は全国と比較すると低いが、平成18年度から平成27年度の10年間の上昇率で見ると、エリア別で北海道は南関東エリアに次いで2位の上昇率であり、北海道内の高校生の大学志向が強まっていることがわかる^(資料1)。

イ 大学進学者の地元残留率において北海道は、全国でも群を抜いて高く、地元志向の強さは今後も継続すると予想される^(資料2)。

ウ 大学志願者のうち、保健衛生分野の志願者数は増加傾向にあり^(資料3)、「高校生と保護者の進路に関する意識調査」においても、「将来は役に立つ資格を身に付けたい」と考える高校生が多く^(資料4)、また、将来就きたい職業においても、理学療法士は上位にランクされている^(資料5)。

エ まち・ひと・しごと創生基本方針2017（平成29年6月9日閣議決定）で、「専門人材育成等に向けた優れた地方大学の取組に対して重点的に支援する」と示され、今後の超高齢社会のなかで、北海道の地域医療を支える人材を育成している本学は、地方創生の実現に当たり、重要な役割を担っていると考え

② 保健医療学部リハビリテーション学科（理学療法学専攻）

ア 本学を含む北海道内の理学療法分野を有する7大学の過去3年間の平均志願倍率は5.6倍～6.1倍で推移し^(資料6)、高い志願倍率を維持している。志願者数も同じく過去3年間、毎年2000人を超えており、本学科（専攻）が入学定員を40人から80人に増員しても、十分に入学定員を確保できると考える。

イ 本学が株式会社 A-forza に委託し、北海道内の高等学校に独自に実施したアンケート調査によると、平成30年3月卒業生のうち、リハビリテーション分野への進学を希望している生徒が、回答を得られた高等学校216校で569人おり、そのうち理学療法分野を希望している生徒が、回答を得られた高等学校210校で438人であった^(資料7)。

ウ 超高齢化社会と共に、理学療法士の活動の場も病院から高齢者医療福祉施設、在宅医療などの地域ケアへと急激に広がっている。国の大きな政策の柱である地域包括ケアの推進によって今後、在宅での生活を望む中・重度の高齢者に対してのリハビリが広がることは明確である。

平成30年度の介護報酬改定を見る限り、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションではリハビリの人達が自らリハビリをするだけでなく、居宅介護支援事業所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知症対応型グループホーム、小規模多機能型居宅介護等でケアプランを作成する際、セラピストがリハビリの専門職として加わることにより、基本報酬に加算されることになった。よって今後、在宅の高齢者に対するリハビリのマーケットは一層拡大し、在宅でのキーパーソンとして理学療法士が活躍する幅がますます拡大していくとみられる。

従って、理学療法士の勤務先は病院、施設だけではなく、今後は、在宅高齢者を支える事業所においても拡大していき、地域包括ケアシステムを支える一員としての理学療法士の需要はますます高まることが予想される。

③ 保健医療学部リハビリテーション学科（作業療法学専攻）

ア 作業療法学専攻（定員40人）は、開設以降未充足であるが、理学療法士と同様に、上記ウの状況により、地域包括ケアシステムを支える一員として、作業療法士の需要はますます高まることが予想される。

また、理学療法学専攻の志願者が増加し、定員が充足すれば、本学では学部内併願制度を取っており、相乗効果によって作業療法学専攻への志願者も増えるため、作業療法学専攻の定員も確実に充足できる。

(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

① 日本医療大学全体

ア リクルート進学総研の調査によると、北海道内の大学の現役進学率は、平成27年で36.8%と全国の進学率48.9%より12ポイントほど低いが、平成18年の31.0%から平成27年の36.8%までの上昇率は1.1倍とエリア別では南関東（1.2倍）に次いで2位の高さである（資料1）。

イ リクルート進学総研の調査によると、北海道内の大学進学者の地元残留率は、平成19年の71.6%から平成28年には67.1%と4.5ポイント低下したが、依然高い地元残留率を維持しており、平成28年の残留率は、2位の東海エリア（48.9%）に20ポイント近い差をつけており、全国でも群を抜いて高い（資料2）。

ウ 「平成28年度入試実態調査（大学・短大）」（株式会社リクルートマーケティングパートナーズ）によると、学部系統別の志願状況の推移で、保健・衛生学部の志願者は、平成24年に19万3,873人、平成25年に22万2,747人、平成26年に24万433人、平成27年に23万6,415人、平成28年に24万2,170人と、5年間で約5万人増加している（資料3）。

一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルートマーケティングパートナーズ合同調査「高校生と保護者の進路に関する意識調査（平成27年）」において、進路に関する価値観の問いで、「将来は役に立つ資格を身につけたい」という項目に対し、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した高校生が87.8%と価値観12項目中、最も高い結果である（資料4）。

また、将来就きたい職業について、理学療法士は全体の7位、男子については5位と、上位にランクされている。

同様に、保護者が子どもに将来就いてほしい職業においても、理学療法士は全体の5位、男子では4位と、上位にランクされている（資料5）。

② 保健医療学部リハビリテーション学科（理学療法学専攻）

ア 本学を含む北海道内の理学療法分野を有する7大学の定員合計数は358人に対し、志願者合計数は、平成27年度は2,183人、平成28年度は2,011人、平成29年度は2,016人となっており、平均志願倍率は、平成27年度は6.1倍、平成28年度は5.6倍、平成29年度は5.6倍と高い志願倍率を維持している（資料6）。

イ 本学が株式会社A-forzaに委託し、北海道内の高等学校234校の進路指導担当教員に対し行ったアンケート調査によると、平成30年3月卒業生のうち、リハビリテーション分野への進学を希望している生徒が、回答を得られた高等学校216校で569人おり、そのうち理学療法分野を希望している生徒が、回答を得られた高等学校210校で438人であった。

この調査は北海道内の高等学校216校から回答を得られたものであり、北海道内の全高等学校288校（平成29年4月1日現在）で換算すると、リハビリテーション分野への進学を希望している生徒が約700人、うち理学療法分野を希望している生徒が約600人いることが予想される（資料7）。

③ 保健医療学部リハビリテーション学科（作業療法学専攻）

ア 作業療法学専攻は開設以降未充足であるが、本学を含む北海道内の作業療法分野を有する6大学の過去3年間の平均志願倍率は5.1～5.6倍で推移し、高い志願倍率を維持している。志願者数も平成27年度1009人、28年度983人、29年度950人と毎年1000人前後を推移しており（資料8）、潜在的ニーズは高いこうした状況の中で、以下に記載する取り組みによって作業療法学専攻の志願者数が増加するのみならず、理学療法学専攻の定員が充足すれば、学部内併願制を取っているため、相乗効果で学生確保は十分できる。

2 学生確保に向けた具体的な取組状況

リハビリテーション学科全体の平成29年度時点での定員充足率は0.69で、0.7を割っていたが、以下に示すさまざまな取り組みによって、平成30年度では0.73にまで上昇し、今後もさらに上昇していく見込みである。

まず平成28年1月、質の高い学生を確保するために入学定員の6倍の志願者数をめざし、学生募集戦略の抜本的な見直しを行い、経営と教学が一体となった学生募集対策委員会を設置した。メンバーは、理事長、学長、各学科長、事務局担当者で組織され、学生確保に関する事項や広報活動に関する事項について検討を行っている。

さらには全教職員協働で、オープンキャンパスや進学相談会、高等学校訪問を実施し、学生募集活動の強化を図っている。こうした精力的な活動によって、平成31年度入試の受験者数は上昇した。平成30年1月からは、学生募集にさらに力を入れるため、『募集必達プロジェクト』をスタートさせ、募集達成に必要な改革に着手している。

全国的にも、理学療法士 80 人、作業療法士 40 人に類似した比率の定員で運営し、かつ充足している大学は多い。学生育成のための基盤としても、平成 31 年度入試の学生募集では、以下の具体的な取り組みを徹底して実行してくことで、理学療法学専攻の定員 80 人と作業療法学専攻の定員 40 人は確保できると確信している。

(1) 入試制度

推薦入試、一般入試（前期・後期）に加え、平成29年度入試からリハビリテーション学科において、本学のアドミッションポリシーに合致するより意欲の高い学生の確保を目的に、新たにA0入試（Ⅰ期・Ⅱ期）を導入した。試験科目に体験型学習とレポート、個人面接を課すことで入学志願者の能力、適性、意欲、関心等を多面的、総合的に判定している。

また、平成30年度入試からは、より多様な受験生を確保するために、受験制度を抜本的に見直し、下記の通り変更することとした。

- ① 大学入試センター試験利用入試の導入
- ② 推薦入学試験（後期）の導入
- ③ 一般入試と大学入試センター試験利用入試での学科併願受験
- ④ 一般入試選択科目のうち、理科は基礎を付した科目のみ出題
- ⑤ 同一年度内の再出願の場合、入学検定料を免除
- ⑥ 特待生制度を現在の一般入試合格者に加え、大学入試センター試験利用入試合格者も対象

さらに、平成31年度入試からは、リハビリテーション学科を含む3学科において、指定校推薦入試を導入し、これらの指定校推薦枠からの募集を徹底してい

く。

(2) オープンキャンパス

参加者がより志望する学科の理解を深めることができるよう、リハビリテーション学科を設置する恵み野キャンパスではオープンキャンパスを開催している。

オープンキャンパスでは、本学の特徴や教育理念についての説明のほか、参加者が大学での勉強内容や実際の仕事内容についてより理解を深められるよう、模擬演習授業を行っている。特にリハビリテーション学科は、本学の特徴を活かし、本学が属するつしま医療福祉グループ内の福祉施設でリハビリテーション現場体験を行うことで、今後の超高齢社会において必要とされる人材像を、より理解することができる内容としている。また、オープンキャンパスには、学生スタッフを多数動員し、参加者に大学の雰囲気や学生生活を伝えられるよう工夫している。

過去4年間の来場者の状況は、以下のとおりである。

	真栄キャンパス		恵み野キャンパス	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
平成26年度	4回	273人	3回	113人
平成27年度	4回	532人	4回	216人
平成28年度	4回	512人	4回	218人
平成29年度	4回	449人	4回	190人

平成29年度からは、道南・道央・道北・道東の北海道内4方面から無料送迎バスを運行し、オープンキャンパスの動員数増加を図っている。

さらに平成30年度では、オープンキャンパスへの参加が高校生の進路選択にとって大きなきっかけとなるため、内容と高校生へのフォロー対応を改善し、実施する予定である。

(3) 1日体験入学

オープンキャンパスの他に、リハビリテーション学科では、平成28年度から本学への志望度が高い受験希望者を対象に、1日体験入学を実施している。在學生と同じ白衣を着用しての模擬講義や模擬演習など、本学の学修内容を体験できるプログラムを設定している。平成28年度は3回実施し、参加人数は51人、平成29年度は3回実施し、参加人数は54人であった。

また、本学では高大連携の一環として、高等学校からの要請を受け、高等学校毎の体験入学や大学見学会を実施している。平成28年度は北海道内の高等学校7校から324人、平成29年度は5校から224人が参加した。

(4) KPI の設定

平成 30 年度から学生確保対策のために、学生募集対策員会に外部コンサルタントを加え、民間企業では当たり前となっている重要業績評価指標（KPI）を設定した。資料請求数 4500 件、オープンキャンパス 1400 人動員を目標に設定し、各種取り組みを連動させ、相乗効果による目標達成を目指す。

(5) 学部内併願制度の活用

本学の在学生からの聞き取り調査の結果、リハビリテーション学科の志願者には、進路検討の段階で「ひとのために働きたい⇒看護志望」とのパターンが大変多いことがわかった。当初は看護志望でも、進路検討の過程で医療職を知るにつれて理学療法士・作業療法士へ進路を変更する高校生も多い。平成 30 年度入試から導入している学部内併願制度は、こうした潜在的志願者を集めるのに有効であり、この制度を活用し、他学科との連携による定員確保に努める。

(6) 受験生の保護者対象説明会

平成28年度に受験生の保護者のみを対象とした説明会を1回実施し、20人の保護者が参加した。入学時又は入学後に必要な費用や、本学の学生サポート体制、住まいの情報等について詳しく説明を行っている。参加した保護者のアンケート結果からは回答者全員が今回の内容について満足又はやや満足と回答し好評であった。

平成29年度は7月8日（土）と10月22日（日）の2回実施し、あわせて59人の保護者が参加した。

(7) 出前授業

高等学校からの実施内容などの要望に応じて、北海道内各高等学校へ広報担当者や学科教員を派遣し出前授業や職業ガイダンスを実施している。平成28年度は17校473人、平成29年度は24校1135人を対象に実施した。

(8) 進学相談会

進学業者主催のホテル等の会場で行われる進学相談会の他に、高等学校が独自で高等学校内で実施する進学相談会に、積極的に参加している。事務局広報担当者の他に、各学科の教員も参加し、受験生に対し十分な情報提供が行えるよう努めている。

過去4年の参加回数、面談者数の状況は以下のとおりであり、知名度の向上とともに面談者が年々増加している。

	会 場		高等学校内		合 計	
	参加数	面談者数	参加数	面談者数	参加数	面談者数
平成26年度	49会場	496人	21校	180人	70会場	676人
平成27年度	39会場	452人	19校	262人	58会場	714人
平成28年度	39会場	375人	28校	447人	67会場	822人
平成29年度	35会場	383人	32校	554人	67会場	937人

(9) 高等学校訪問

北海道内の高等学校288校（平成29年4月1日現在）のうち、本学を受験した生徒が多い高等学校を中心に、高等学校訪問を実施している。平成27年度は延べ251校の訪問であったが、平成28年度は高等学校教員との信頼関係を今まで以上に強固なものにするため、本学の教員も同行し訪問高等学校数を増やした結果、延べ544校を訪問した。

平成29年度は、道北担当の職員を雇用し、受験実績等を踏まえて訪問高等学校を選別したうえで訪問回数を増やし、延べ621校を訪問した。

平成30年度は、さらに道東担当の職員も雇用し、道内の訪問回数をさらに増やしていく。また、東北地区と関東地区に事務所を開設し、それぞれの地区での高校訪問を行っていき、一層のPRに努めていく。

(10) テレビCM・新聞広告

より幅広い層に対し本学を訴求し、志願に結びつけるために、平成28年度はテレビCMを一般入試前の1月に130本放映（平成27年度は9月に109本）、また新聞の連合広告は年間通して12企画に参画（平成27年度は9企画）し認知度向上を図った。

平成29年度は、より多くの人たちが目にすると考えられるテレビCMに注力し、オープンキャンパス告知を6月から10月に449本放映した。12月と1月には一般入試及び大学入試センター試験利用試験告知を98本、放映した。

さらに平成30年度は、テレビCMや宣伝などの広報量を増やし、内容もより高校生につながるように改善し、広報の効果を上げていく。

(11) ホームページ・SNS

ホームページは、大学の概要や特徴、教育理念の他、学科毎の特徴や入試情報、イベント情報などを掲載し、情報提供を行っている。

平成28年度から、ホームページ上の新着情報（お知らせ）を毎日更新、併せてLINE、Facebook、TwitterといったSNSを活用して、本学の行事や取組み、学生の様子等をタイムリーに配信している。

また、YouTubeを活用しての、教員や学生のインタビュー、授業風景等の動画

を配信し、本学の様子をより分かりやすく伝えられるよう工夫に努めている。

以上の取り組みを確実に遂行していくことで、理学療法学専攻の定員80人は確保できる。さらに、作業療法学専攻の定員40人、看護学科の定員100人、診療放射線学科の定員50人と合わせて、本学保健医療学部全体で、地域医療、地域包括ケアシステムの一員として、地域貢献に寄与できると確信している。

II 人材需要の動向等社会の要請

1 保健医療学部リハビリテーション学科（理学療法学専攻）

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学科の人材養成に関する目的は、「保健・医療に対する社会の多様な期待に応えるために、高い倫理性と豊かな人間性を持ち、人間を統合的に理解する能力、科学的な学問体系から得られた専門的知識、技術に裏付けられた実践力、チームの一員として協働する能力、学問的探究心と問題解決に向けた科学的思考能力と主体的学修能力を備えた医療人の育成」に置いている。

さらに、これら人材養成の目的を踏まえて、リハビリテーション学科の教育上の目的は、「幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と人間関係の形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識および技術と専門職業人としての態度を教授する」こととしている。

具体的には、次の能力を養成する。

- ① 生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重できる能力
- ② 全人的理解を基盤とした人間関係を形成できる能力
- ③ 科学的に裏付けられた専門的知識と技術でリハビリテーションが実践できる能力
- ④ 保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働できる能力
- ⑤ 科学的思考と問題解決能力、主体的学修能力で自己成長できる能力

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

理学療法士の病院における従事者数は、厚生労働省の「平成 27 年医療施設（動態）調査・病院報告の概況」によると、平成 26 年度に 66,151 人（常勤換算、以下同じ）、平成 27 年 70,492 人であった^{（資料 9）}。現在、理学療法士の多くが病院で働いており、次に介護保険施設および診療所等が主な就業先となっている。

今後、超高齢社会の出現とともに、病気と共存しながら QOL (Quality of Life) の維持・向上を目指す時代となり、医療は、かつての「病院完結型」から、医療機関がそれぞれの得意分野を活かし、患者の住み慣れた地域や自宅を中心とした地域全体で治し支える「地域完結型」の医療へと変化している^{（資料 10）}。理学療法活動の場も、超高齢社会にあっては病床回転率の早い急性期病棟・回復期病棟をはじめとする病院から高齢者医療福祉施設、在宅医療などの地域ケアへと急激に広がっている。

北海道においても、高齢者人口は平成 37 年度には約 169 万人（高齢化率 33.7%）

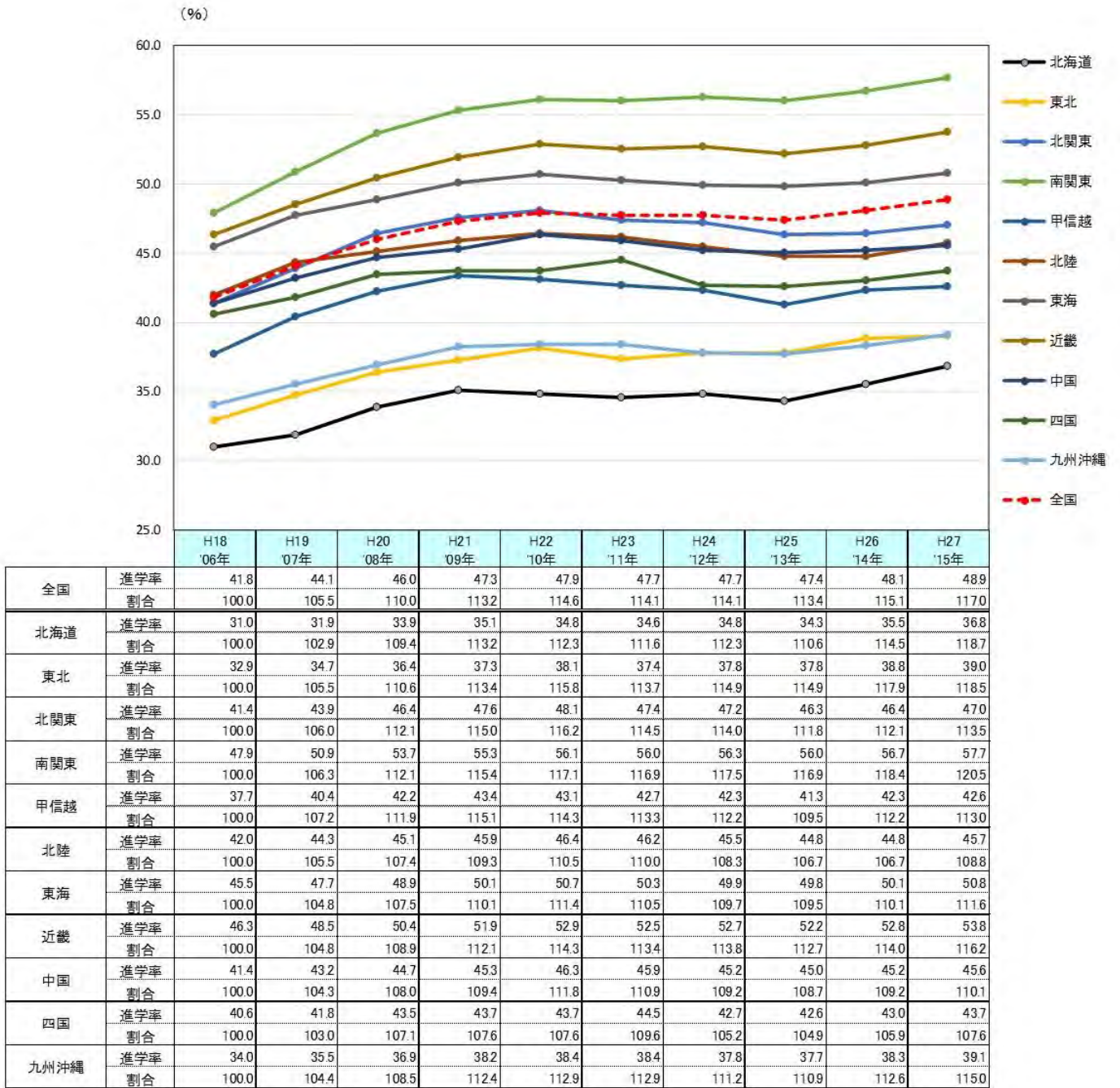
に達し、要支援・要介護者数は、平成 25 年度から 14.1 万人増え、42.2 万人と見込まれる^(資料 11)。まさに、地域包括ケアシステムの構築が第 6 期介護保険事業(支援)計画策定の柱に掲げられ、在宅系サービスの強化が求められる中で、理学療法士は地域包括ケアシステムを支える一因として、社会福祉チームと協働して訪問リハビリテーション事業所、通所リハビリテーション事業所において、また地域包括ケアを推進する病棟などにおいてますます需要が高まることが予想される。

学生の確保の見通し等を記載した書類 添付資料

目 次

- 資料 1 大学進学率の推移（現役：エリア別：2006～2015年）
- 資料 2 地元残留率の推移（大学進学者：エリア別：2007～2016年）
- 資料 3 志願状況の推移（学部系統別）
- 資料 4 【高校生】2015年 進路に関する価値観（全体／「思う・計」）
- 資料 5 【高校生】就きたい職業ランキング【保護者】就いてほしい職業ランキング
- 資料 6 北海道内の理学療法分野を有する大学の志願状況推移（平成27年度～平成29年度）
- 資料 7 北海道内高等学校進路希望調査アンケート集計
- 資料 8 北海道内の作業療法分野を有する大学の志願状況推移（平成27年度～平成29年度）
- 資料 9 理学療法士の病院における従事者数
- 資料 10 「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への変化
- 資料 11 第6期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」概要

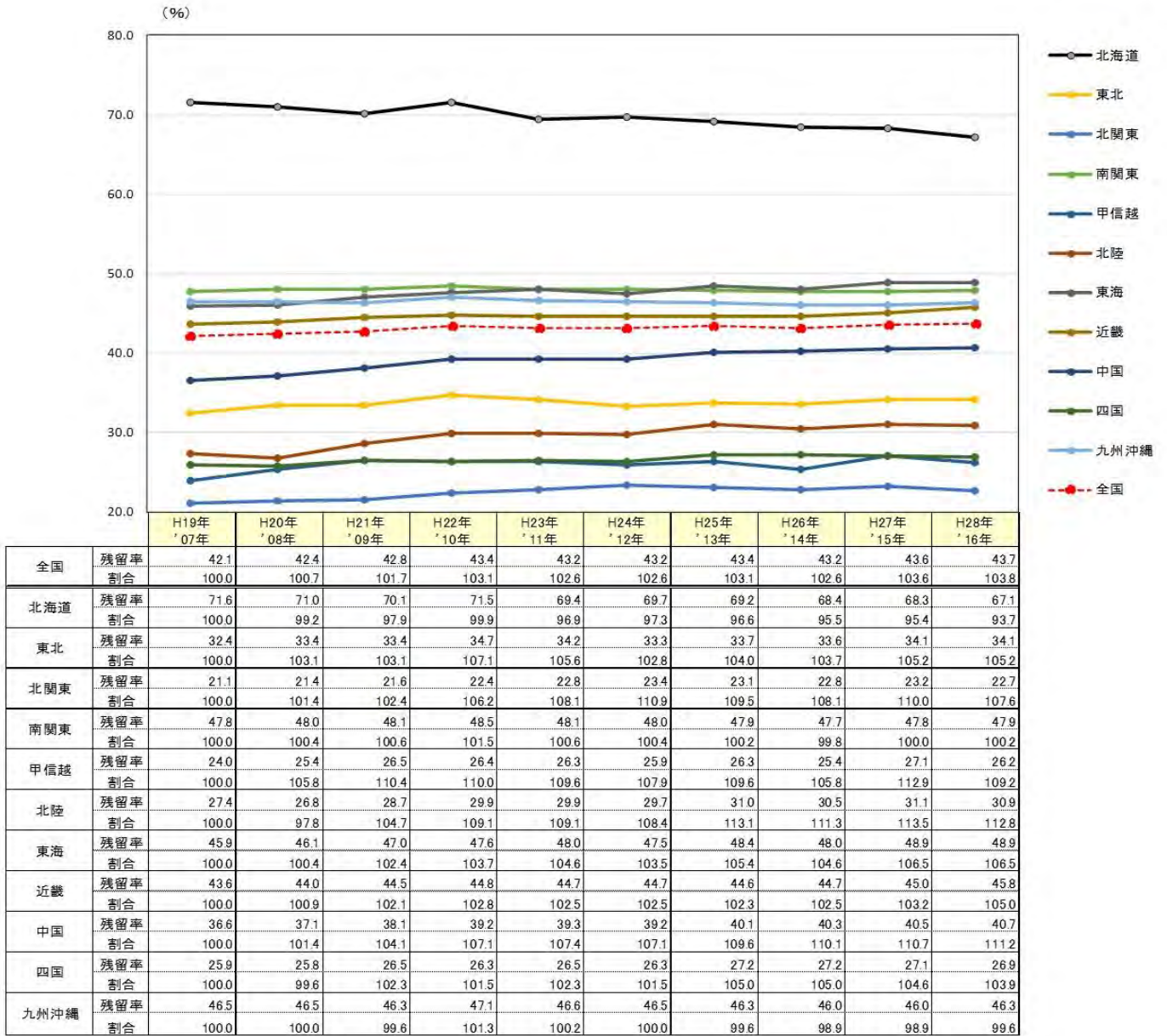
大学進学率の推移（現役：エリア別：2006～2015年）



※「学校基本調査」を基にリクルート進学総研にて作成

※リクルート進学総研 マーケットリポート

地元残留率の推移（大学進学者：エリア別：2007～2016年）



※「学校基本調査」を基にリクルート進学総研にて作成

※リクルート進学総研 マーケットリポート

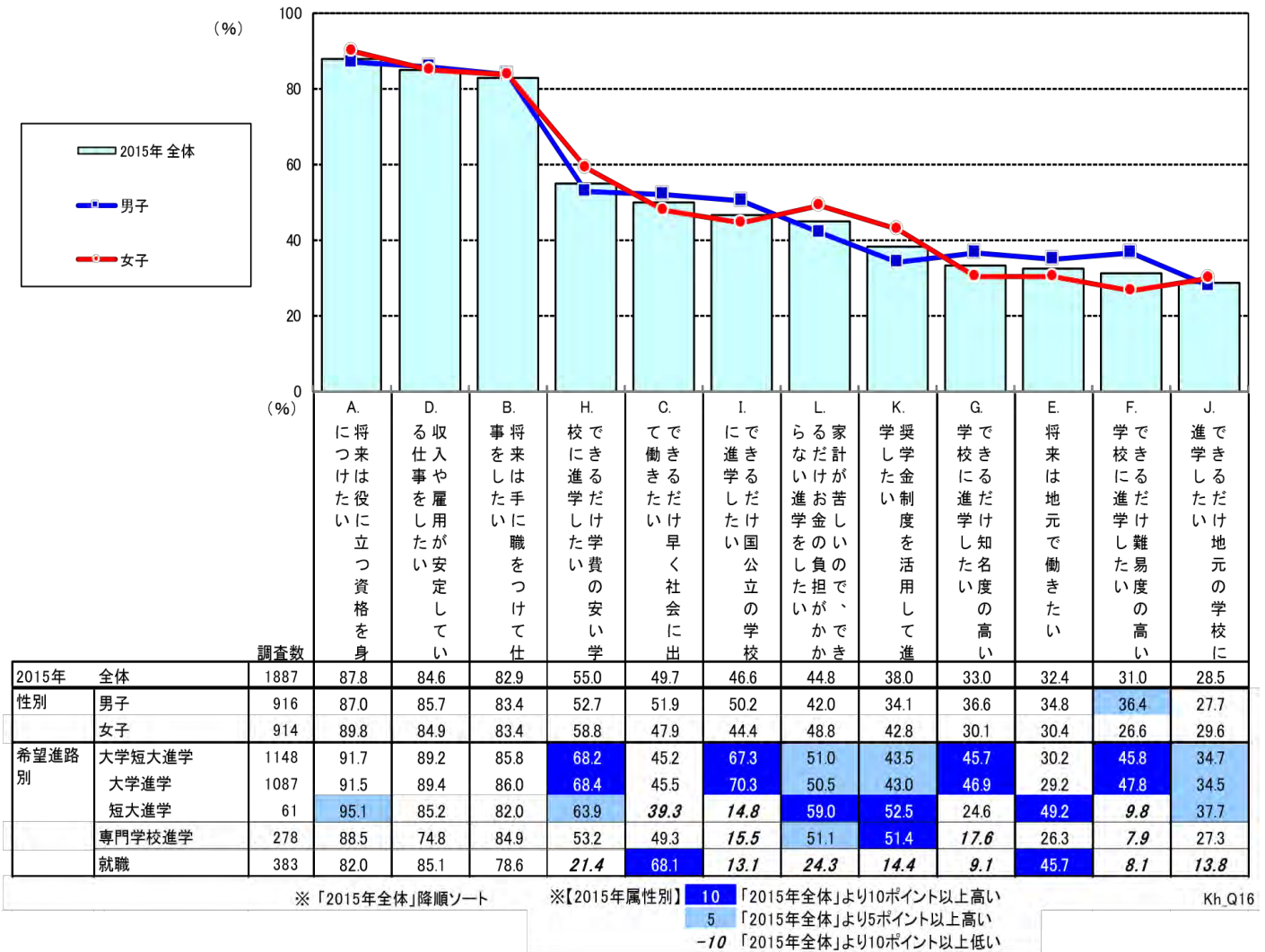
志願状況の推移（学部系統別）

	志願者数(人)						2016年度指数 ('07年度=100)
	全 体						
	2007年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	
文科系 計	2,117,100	2,087,639	2,145,806	2,117,686	2,139,932	2,251,651	106.4
法学部	286,313	234,713	246,920	244,613	249,864	273,269	95.4
経済・政経学部	456,542	430,176	424,528	426,395	438,931	467,617	102.4
経営学部	218,940	211,598	231,922	229,766	240,488	262,621	120.0
商学部	125,770	114,593	114,186	106,707	109,489	115,473	91.8
社会学部	220,584	223,661	224,353	221,305	222,154	229,720	104.1
文・人文・外国語学部	601,116	607,530	618,189	612,737	610,258	634,798	105.6
教育学部	144,035	189,419	200,535	194,226	190,044	187,001	129.8
家政学部	63,800	75,617	82,540	79,869	76,386	78,567	123.1
総合文科系	-	332	2,633	2,068	2,318	2,585	-
理科系 計	1,100,992	1,344,133	1,477,831	1,567,921	1,568,839	1,566,008	142.2
理学部	110,141	139,705	145,686	146,802	140,551	136,831	124.2
理工学部	188,971	259,715	285,754	305,982	310,477	324,257	171.6
工学部	354,075	394,598	427,717	448,656	461,598	456,714	129.0
農学部	57,218	69,721	72,120	74,108	76,561	76,168	133.1
獣医・畜産学部	25,817	25,783	26,384	28,290	26,781	27,029	104.7
水産学部	7,144	10,055	11,197	12,341	12,437	11,344	158.8
医学部	121,851	147,234	159,243	165,064	163,091	162,473	133.3
歯学部	14,831	9,429	10,579	12,197	13,745	13,139	88.6
薬学部	92,872	91,165	113,217	130,984	124,140	112,940	121.6
保健・衛生学部	128,072	193,873	222,747	240,433	236,415	242,170	189.1
総合理科系	-	2,855	3,187	3,064	3,043	2,943	-
芸術・音楽学部	71,320	54,265	55,016	55,608	55,064	56,097	78.7
体育学部	30,907	35,784	39,637	39,475	39,028	41,190	133.3
その他	139,999	163,067	169,577	173,205	185,972	192,693	137.6
全 体	3,460,318	3,684,888	3,887,867	3,953,895	3,988,835	4,107,639	118.7

※2016年度入試実態調査〈大学・短期大学〉

(株式会社リクルートマーケティングパートナーズ)

【高校生】2015年 進路に関する価値観（全体／「思う・計」）



※「高校生と保護者の進路に関する意識調査（2015年）」

一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会・株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 合同調査

【高校生】就きたい職業ランキング

【高校生】就きたい職業ランキング（就きたい職業回答者／自由回答）（％）

全体	
2015年	
順位	職業 (n= 992)
1	教師 8.6
2	公務員 8.3
3	看護師 7.3
4	製造業(自動車・造船など) 6.5
5	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 5.9
6	建築士・建築関連 4.3
7	薬剤師 3.3
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 3.3
	俳優・アイドル・ミュージシャン・声優・芸能関連 3.3
10	美容師・理容師・ヘアメイクアーティスト・エステティシャン・美容関連 3.2
11	管理栄養士・栄養士 2.6
12	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連 2.5
	技術者・研究者 2.5
14	会社員 2.3
15	社会福祉士・介護福祉士・福祉関連 2.1
	空港職員・航空関連 2.1
	エンジニア・プログラマー・IT関連 2.1
18	ファッションデザイナー・スタイリスト・アパレル 2.0
19	放射線技師・臨床検査技師 1.9
	画家・イラストレーター・アニメーター・CGデザイナー・芸術・ゲーム関連 1.9
	トリマー・動物関連 1.9

男子	
2015年	
順位	職業 (n= 407)
1	公務員 15.5
2	教師 11.3
	製造業(自動車・造船など) 11.3
4	建築士・建築関連 9.3
5	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 4.4
	エンジニア・プログラマー・IT関連 4.4
7	技術者・研究者 3.9
8	画家・イラストレーター・アニメーター・CGデザイナー・芸術・ゲーム関連 3.2
9	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連 2.7
10	薬剤師 2.0
	美容師・理容師・ヘアメイクアーティスト・エステティシャン・美容関連 2.0
	会社員 2.0

女子	
2015年	
順位	職業 (n= 565)
1	看護師 11.5
2	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 9.6
3	教師 6.7
4	俳優・アイドル・ミュージシャン・声優・芸能関連 4.6
5	薬剤師 4.4
	管理栄養士・栄養士 4.4
7	美容師・理容師・ヘアメイクアーティスト・エステティシャン・美容関連 4.2
8	公務員 3.2
	空港職員・航空関連 3.2
	ファッションデザイナー・スタイリスト・アパレル 3.2

Kh.Q21SQ1

【保護者】就いてほしい職業ランキング

【保護者】就いてほしい職業ランキング（就いてほしい職業回答者／自由回答）（％）

全体	
2015年	
順位	職業 (n= 212)
1	公務員 27.4
2	看護師 12.7
3	医療関連全般 9.4
4	教師 8.5
5	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 5.2
6	放射線技師・臨床検査技師 4.7
7	薬剤師 4.2
8	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 3.3
	医師・歯科医師・獣医 3.3
	社会福祉士・介護福祉士・福祉関連 3.3
11	製造業(自動車・造船など) 2.8
	会社員 2.8
13	管理栄養士・栄養士 1.9
	技術者・研究者 1.9
15	弁護士・裁判官・法律関係 1.4
	会計士・税理士・行政書士 1.4
	トリマー・動物関連 1.4
18	歯科衛生士 0.9
	保健師 0.9
	整体師・マッサージ師・柔道整復師 0.9
	建築士・建築関連 0.9
	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連 0.9
	店員・テーマパーク・サービス関連 0.9

子ども性別：男子	
2015年	
順位	職業 (n= 100)
1	公務員 40.0
2	医療関連全般 10.0
3	教師 9.0
4	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ 8.0
5	医師・歯科医師・獣医 5.0
	放射線技師・臨床検査技師 5.0
7	製造業(自動車・造船など) 4.0
8	社会福祉士・介護福祉士・福祉関連 3.0
	技術者・研究者 3.0
10	弁護士・裁判官・法律関係 2.0
	会計士・税理士・行政書士 2.0
	薬剤師 2.0
	建築士・建築関連 2.0
	会社員 2.0

子ども性別：女子	
2015年	
順位	職業 (n= 111)
1	看護師 23.4
2	公務員 16.2
3	医療関連全般 9.0
4	教師 8.1
5	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連 6.3
	薬剤師 6.3
7	放射線技師・臨床検査技師 4.5
8	管理栄養士・栄養士 3.6
	社会福祉士・介護福祉士・福祉関連 3.6
	会社員 3.6

Hh.Q17SQ1全体

※「高校生と保護者の進路に関する意識調査（2015年）」

一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会・株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 合同調査

北海道内の理学療法分野を有する大学の志願状況推移
(平成 27 年度～平成 29 年度)

大学名	定員	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
		志願者数	志願倍率	志願者数	志願倍率	志願者数	志願倍率
日本医療大学	40	77	1.9	100	2.5	86	2.2
北海道大学	18	71	3.9	72	4.0	72	4.0
札幌医科大学	20	53	2.7	40	2.0	39	2.0
北海道医療大学	80	818	10.2	732	9.2	759	9.5
北海道文教大学	80	400	5.0	416	5.2	278	3.5
北海道科学大学	40	764	19.1	651	16.3	627	15.7
北海道千歳 リハビリテーション大学	80					155	1.9
合計	358	2,183	6.1	2,011	5.6	2,016	5.6

志願倍率 → 志願者数／入学定員数

※「北海道内の理学療法分野を有する大学の志願状況調査（2017 年）」（株式会社 A-forza）

北海道内高等学校進路希望調査アンケート集計

※株式会社A-forzaによる調査

No	エリア	地域	設置	名称	30年度		
					全卒業予定者数	リハビリテーション分野 進学希望者数	うち理学療法分野 進学希望者
1	道央	石狩	公立	札幌北	315	2	2
2			公立	札幌北陵	315	10	9
3			公立	札幌国際情報	315	8	8
4			公立	札幌英藍	310	8	7
5			公立	札幌工業	285	0	0
6			公立	有朋	70	2	2
7			公立	札幌新川	316	5	5
8			私立	藤女子	130	1	1
9			公立	札幌西陵	274	10	10
10			私立	札幌山の手	280	1	1
11			公立	札幌琴似工業	288	0	0
12			公立	札幌手稲	320	6	5
13			公立	札幌あすかぜ	300	5	4
14			公立	札幌稲雲	267	4	4
15			公立	石狩翔陽	310	6	-
16			公立	石狩南	311	6	6
17			公立	当別	126	2	0
18			公立	札幌丘珠	299	2	2
19			公立	札幌東陵	313	5	5
20			公立	札幌東豊	264	0	0
21			公立	札幌開成	156	5	5
22			私立	札幌大谷	260	1	1
23			私立	札幌光星	340	5	5
24			私立	札幌創成	237	1	1
25			私立	札幌北斗	235	2	2
26			公立	札幌白石	315	5	5
27			公立	札幌東	319	5	5
28			公立	札幌白陵	150	0	0
29			公立	札幌真栄	159	0	0
30			公立	札幌平岡	234	2	1
31			公立	札幌清田	312	5	3
32			私立	北嶺	125	0	0
33			公立	札幌啓成	317	-	-
34			公立	札幌厚別	268	10	7
35			公立	札幌東商業	315	1	1
36			私立	北星学園大学附属	231	-	-
37			公立	江別	313	-	-
38			公立	野幌	202	3	-
39			公立	大麻	269	3	2
40			私立	とわの森三愛	369	3	1
41			私立	立命館慶祥	294	-	-
42			公立	北広島	316	2	2
43			公立	北広島西	305	1	1
44			私立	札幌日本大学	329	10	-
45			公立	恵庭南	298	4	3
46			公立	恵庭北	271	2	2
47			公立	千歳	237	10	-
48			公立	千歳北陽	179	0	0
49			公立	札幌西	317	3	3
50			公立	札幌南	320	0	0
51			公立	札幌旭丘	320	8	6
52			公立	札幌大通	210	3	2
53			私立	札幌静修	253	12	3
54			私立	札幌聖心女子学院	31	1	1
55			私立	札幌龍谷学園	321	5	3
56			私立	北星学園女子	205	5	3
57			公立	札幌南陵	228	1	0
58			公立	札幌藻岩	318	5	3
59			公立	札幌啓北商業	230	5	4
60			私立	札幌新陽	167	2	1
61			私立	東海大学付属札幌	302	4	2
62			私立	北海道文教大学明清	89	4	3
63			公立	札幌月寒	318	4	2
64			公立	札幌平岸	307	18	11
65			私立	札幌第一	428	0	0
66			私立	北海	396	2	2
67			私立	北海学園札幌	278	6	3
68			私立	北海道科学大学	176	2	2

No	エリア	地域	設置	名称	全卒業予定者数	リハビリテーション分野 進学希望者数	うち理学療法分野 進学希望者		
69	道央	後志	公立	小樽潮陵	240	10	7		
70			公立	小樽桜陽	228	10	10		
71			公立	小樽商業	96	0	0		
72			公立	小樽工業	113	0	0		
73			公立	寿都	28	1	1		
74			公立	倶知安	118	8	8		
75			公立	岩内	120	2	8		
76			公立	余市紅志	49	1	0		
77			私立	双葉	94	1	0		
78			私立	北照	76	0	0		
79			私立	北星学園余市	70	0	0		
80			公立	空知	夕張	38	0	0	
81			公立		岩見沢東	201	-	-	
82			公立		岩見沢西	141	-	-	
83	公立	美唄尚栄	90		0	0			
84	公立	芦別	116		2	2			
85	公立	滝川	239		-	-			
86	公立	砂川	89		4	3			
87	公立	深川西	121		0	0			
88	公立	深川東	32		0	0			
89	公立	長沼	57		0	0			
90	公立	栗山	74		0	0			
91	公立	月形	38		0	0			
92	公立	岩見沢緑陵	232		15	10			
93	公立	滝川西	272		4	3			
94	公立	胆振	室蘭栄	232	-	-			
95	公立		室蘭清水丘	156	-	-			
96	公立		室蘭東翔	200	-	-			
97	公立		苫小牧東	240	6	4			
98	公立		苫小牧西	158	5	3			
99	公立		苫小牧南	193	9	6			
100	公立		苫小牧総合経済	146	0	0			
101	公立		苫小牧工業	234	0	0			
102	公立		虻田	30	1	-			
103	公立		白老東	112	0	0			
104	公立		伊達	120	3	2			
105	公立		伊達緑丘	161	-	-			
106	公立		登別明日	72	2	2			
107	公立		登別青嶺	150	1	1			
108	公立	厚真	37	2	0				
109	公立	鷗川	59	3	3				
110	私立	海星学院	87	-	-				
111	私立	北海道大谷室蘭	131	2	2				
112	私立	駒沢大学附属苫小牧	252	0	0				
113	私立	苫小牧中央	49	2	2				
114	私立	北海道栄	112	5	5				
115	道央	日高	公立	富川	24	2	1		
116			公立	静内	187	-	-		
117			公立	浦河	132	2	2		
118			公立	日高	10	-	-		
119	道北	上川	公立	旭川東	280	10	8		
120			公立	旭川西	241	7	4		
121			公立	旭川北	240	5	5		
122			公立	旭川南	237	4	4		
123			公立	旭川東栄	154	2	2		
124			公立	旭川永嶺	158	6	4		
125			公立	旭川商業	234	2	2		
126			公立	旭川工業	278	-	-		
127			公立	旭川農業	159	-	-		
128			公立	士別翔雲	127	4	4		
129			公立	名寄	156	5	4		
130			公立	富良野	153	1	1		
131			公立	鷹栖	40	2	2		
132			公立	東川	75	0	0		
133			公立	おとねわっが美術工芸	36	0	0		
134			私立	旭川実業	351	4	2		
135			私立	旭川大学	159	1	1		
136			私立	旭川藤女子	89	1	1		
137			私立	旭川明成	186	10	8		
138			私立	旭川龍谷	217	3	2		
139			道北	留萌	公立	留萌	142	10	6
140					公立	苫前商業	14	0	0
141					公立	羽幌	49	3	2
142					公立	天塩	52	2	2
143			道北	宗谷	公立	稚内	183	7	7
144					公立	浜頓別	49	0	0
145	公立	枝幸			55	1	1		
146	公立	豊富			12	0	0		

No	エリア	地域	設置	名称	全卒業予定者数	リハビリテーション分野 進学希望者数	うち理学療法分野 進学希望者
147			私立	稚内大谷	90	2	2

No	エリア	地域	設置	名称	全卒業予定者数	リハビリテーション分野 進学希望者数	うち理学療法分野 進学希望者	
148	道南	渡島	公立	函館中部	230	5	5	
149			公立	函館西	159	1	1	
150			公立	函館稜北	120	2	2	
151			公立	函館商業	234	0	0	
152			公立	函館工業	238	0	0	
153			公立	函館水産	140	1	1	
154			公立	上磯	53	-	-	
155			公立	七飯	118	0	0	
156			公立	松前	45	0	0	
157			公立	福島商業	24	0	0	
158			公立	森	80	0	0	
159			公立	八雲	80	0	0	
160			公立	長万部	30	0	0	
161			公立	市立函館	320	10	8	
162			公立	知内	60	1	1	
163			私立	遺愛女子	200	1	1	
164			私立	函館大谷	85	1	1	
165			私立	函館大妻	134	0	0	
166			私立	函館白百合学園	120	1	1	
167			私立	函館大学付属柏稜	140	-	-	
168			私立	函館大学付属有斗	180	1	1	
169			私立	函館ラ・サール	185	3	3	
170			桧山	公立	江差	102	2	2
171				公立	上ノ国	23	1	1
172				公立	檜山北	90	0	0
173			釧路	公立	釧路湖陵	235	5	5
174				公立	釧路江南	240	5	5
175				公立	釧路明輝	200	1	1
176				公立	釧路東	110	0	0
177		公立		標茶	65	1	1	
178		公立		弟子屈	45	1	0	
179		公立		白糠	37	0	0	
180	公立	釧路北陽		237	1	1		
181	公立	霧多布		28	0	0		
182	私立	武修館		100	0	0		
183	公立	帯広柏葉		280	2	2		
184	公立	帯広三条		274	5	5		
185	公立	帯広緑陽		160	4	3		
186	公立	帯広工業		160	0	0		
187	公立	帯広農業		0	0			
188	公立	音更	154	1	0			
189	公立	上士幌	65	0	0			
190	公立	鹿追	70	0	0			
191	公立	新得	22	0	0			
192	公立	清水	116	0	0			
193	公立	芽室	157	0	0			
194	公立	大樹	42	1	1			
195	公立	広尾	37	1	1			
196	公立	幕別	23	0	0			
197	公立	池田	60	2	2			
198	公立	本別	47	1	1			
199	公立	足寄	40	0	0			
200	公立	帯広南商業	200	0	0			
201	私立	帯広大谷	240	2	2			
202	私立	帯広北	150	2	2			
203	私立	白樺学園	150	5	5			
204	私立	江陵	120	1	0			
205	根室	公立	根室	150	2	2		
206		公立	根室西	18	1	1		
207		公立	別海	90	1	1		
208		公立	中標津	180	0	0		
209		公立	標津	66	1	1		
210		公立	羅臼	40	0	0		
211	オホーツク	公立	北見北斗	239	5	4		
212		公立	北見柏陽	236	9	7		
213		公立	北見緑陵	152	2	1		
214		公立	網走南ヶ丘	181	5	5		
215		公立	網走桂陽	153	2	2		
216		公立	紋別	144	8	8		
217		公立	女満別	12	0	0		
218		公立	美幌	118	2	2		
219		公立	津別	23	0	0		
220		公立	斜里	64	1	0		
221		公立	清里	12	1	1		
222		公立	小清水	13	0	0		
223		公立	北見商業	157	1	1		
224		公立	訓子府	18	0	0		
225		公立	置戸	16	0	0		

No	エリア	地域	設置	名称	全卒業予定者数	リハビリテーション分野 進学希望者数	うち理学療法分野 進学希望者
226			公立	留辺薬	27	0	0
227			公立	佐呂間	23	0	0
228			公立	常呂	13	0	0
229			公立	遠軽	171	5	5
230			公立	湧別	51	2	-
231			公立	滝上	16	1	0
232			公立	興部	32	1	1
233			公立	雄武	18	0	0
234			私立	北見藤女子	101	0	0
合計					38037	569	438

北海道内の作業療法分野を有する大学の志願状況推移
(平成 27 年度～平成 29 年度)

大学名	定員	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
		志願者数	志願倍率	志願者数	志願倍率	志願者数	志願倍率
日本医療大学	40	22	0.6	45	1.1	31	0.8
北海道大学	18	42	2.3	64	3.6	52	2.9
札幌医科大学	20	29	1.5	44	2.2	47	2.4
北海道医療大学	40	803	20.1	716	17.9	687	17.2
北海道文教大学	40	113	2.8	114	2.9	92	2.3
北海道千歳 リハビリテーション大学	30					41	1.4
合計	188	1009	5.4	983	5.2	950	5.1

志願倍率 → 志願者数 / 入学定員数

※「北海道内の理学療法分野を有する大学の志願状況調査（2017 年）」（株式会社 A-forza）

理学療法士の病院における従事者数

表6 病院の職種別にみた従事者数

各年10月1日現在

	総 数				精神科病院 人	一般病院 人	医育機関 (再掲) 人
	平成27年 (2015)	平成26年 (2014)	対 前 年				
	人	人	増減数 人	増減率 %			
総 数	2 078 635.6	2 043 369.0	35 266.6	1.7	171 637.0	1 906 998.6	208 685.8
1 医 師	214 677.8	210 112.4	4 565.4	2.2	9 180.9	205 496.9	48 931.9
2 常 勤 ¹⁾	173 662	169 600	4 062	2.4	6 624	167 038	41 871
3 非 常 勤	41 015.8	40 512.4	503.4	1.2	2 556.9	38 458.9	7 060.9
4 歯 科 医 師	10 051.8	10 006.1	45.7	0.5	131.0	9 920.8	6 786.1
5 常 勤 ¹⁾	8 045	7 985	60	0.8	60	7 985	5 431
6 非 常 勤	2 006.8	2 021.1	△ 14.3	△ 0.7	71.0	1 935.8	1 355.1
7 薬 剤 師	47 941.8	46 663.4	1 278.4	2.7	2 954.6	44 987.2	5 967.3
8 保 健 師	5 309.1	5 272.1	37.0	0.7	76.9	5 232.2	711.7
9 助 産 師	22 613.4	22 223.8	389.6	1.8	-	22 613.4	3 363.3
10 看 護 師	787 404.2	767 700.8	19 703.4	2.6	54 366.7	733 037.5	89 339.3
11 准 看 護 師	129 594.0	135 799.0	△ 6 205.0	△ 4.6	28 602.1	100 991.9	366.5
12 看 護 業 務 補 助 者	192 329.0	196 696.0	△ 4 367.0	△ 2.2	28 793.9	163 535.1	6 560.1
13 理 学 療 法 士 (P T)	70 492.4	66 151.4	4 341.0	6.6	191.0	70 301.4	2 007.8
14 作 業 療 法 士 (O T)	41 376.0	39 786.2	1 589.8	4.0	6 584.8	34 791.2	870.0
15 視 能 訓 練 士	4 103.1	3 968.2	134.9	3.4	-	4 103.1	805.2
16 言 語 聴 覚 士	14 256.7	13 493.4	763.3	5.7	28.1	14 228.6	565.8
17 義 肢 装 具 士	66.4	62.5	3.9	6.2	-	66.4	-
18 歯 科 衛 生 士	5 622.8	5 362.6	260.2	4.9	140.8	5 482.0	1 109.8
19 歯 科 技 工 士	682.8	712.3	△ 29.5	△ 4.1	5.2	677.6	332.0
20 診 療 放 射 線 技 師	43 249.1	42 257.8	991.3	2.3	555.4	42 693.7	5 108.9
21 診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	151.4	179.8	△ 28.4	△ 15.8	13.2	138.2	-
22 臨 床 検 査 技 師	54 155.4	52 961.5	1 193.9	2.3	971.7	53 183.7	7 498.8
23 衛 生 検 査 技 師	96.9	112.6	△ 15.7	△ 13.9	3.2	93.7	29.9
24 臨 床 工 学 技 士	19 263.5	17 918.9	1 344.6	7.5	12.1	19 251.4	2 088.8
25 あん摩マッサージ指圧師	1 516.6	1 642.2	△ 125.6	△ 7.6	11.7	1 504.9	19.5
26 柔 道 整 復 師	493.7	522.9	△ 29.2	△ 5.6	2.0	491.7	-
27 管 理 栄 養 士	21 887.0	21 206.7	680.3	3.2	2 211.0	19 676.0	1 245.3
28 栄 養 士	4 654.9	4 851.2	△ 196.3	△ 4.0	841.6	3 813.3	195.0
29 精 神 保 健 福 祉 士	9 195.7	8 870.1	325.6	3.7	6 614.0	2 581.7	180.1
30 社 会 福 祉 士	10 077.0	9 258.6	818.4	8.8	62.9	10 014.1	425.0
31 介 護 福 祉 士	45 375.0	42 987.9	2 387.1	5.6	2 946.7	42 428.3	88.4
32 そ の 他 の 技 術 員	16 436.4	16 411.6	24.8	0.2	2 352.9	14 083.5	1 743.0
33 医 療 社 会 事 業 従 事 者	9 459.8	9 527.3	△ 67.5	△ 0.7	700.2	8 759.6	383.6
34 事 務 職 員	216 353.7	209 954.8	6 398.9	3.0	11 413.5	204 940.2	18 003.6
35 そ の 他 の 職 員	79 748.2	80 694.9	△ 946.7	△ 1.2	11 868.9	67 879.3	3 959.1
7 薬 剤 師	50 948	49 559	1 389	2.8	3 333	47 615	6 040
8 保 健 師	5 500	5 462	38	0.7	81	5 419	718
9 助 産 師	23 592	23 248	344	1.5	-	23 592	3 410
10 看 護 師	821 306	800 908	20 398	2.5	56 954	764 352	90 407
11 准 看 護 師	141 488	148 036	△ 6 548	△ 4.4	30 159	111 329	399

注：1) 医師及び歯科医師の「常勤」は、実人員である。

※平成27年医療施設（動態）調査・病院報告の概況

「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への変化 (医療と介護の境界がなくなる時代へ)

以下、「安心と希望の医療確保ビジョン」(厚生労働省 平成 20 年 6 月)より抜粋

○安心と希望の医療確保のための 3 本柱

- ・医療は、生命の尊重と個人の尊厳の保持を旨とし、医療の担い手と医療を受ける者との信頼関係に基づき行われるものであり、治療(「治す」)のみならず、疾病の予防のための措置やリハビリテーションも含め、人々の生活を「支える」かけがえのない営みであるが、ビジョンを示すことで、患者や家族等、あるいは医師をはじめとした医療従事者、また医療従事者になることを志す人々を含めた国民各位が、将来にわたり医療に関する安心と希望を抱くことを期待する。

「安心と希望の医療確保」のための 3 本柱

1. 医療従事者等の数と役割
2. 地域で支える医療の推進
3. 医療従事者と患者・家族の協働の推進

○地域で支える医療の推進

- ・「地域完結型医療」の推進

救急医療に限らず、地域の限られた医療資源を有効に活用するためには、個別医療機関がそれぞれで全ての医療ニーズに対応する「医療機関完結型医療」ではなく、医療機関がそれぞれの得意分野を活かし、地域全体で完結する「地域完結型医療」が求められる。

○医療のこれからの方向性

- ・これまでの医療は、病気を治すことに主眼を置く「治す医療」が中心であったが、人類史上未曾有の高齢化社会を迎える我が国においては、予防を重視し、日頃からの健康の維持・増進に努めるとともに、こうした「治す医療」だけではなく、病を抱えながら生活する患者と、その家族の生活を医療を通じて支援していくという「支える医療」という発想がより一層求められる。
- ・患者が住み慣れた地域でその人らしく生活し、希望する生き方を選択し、希望すれば在宅での看取りが選べることも必要であり、個人の尊厳の保持を支える在宅医療や訪問看護等を一層推進する。

第6期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」概要

第1 計画の基本的事項

1 計画策定の趣旨

- 道では、平成12年3月に第1期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」を策定し、その後、3年ごとに同計画を策定し、平成24～26年度までを計画期間とする第5期計画では、「みんなが支える明るく活力に満ちた高齢社会」づくりを基本テーマに、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築に向け、地域のサービス提供基盤の確保などに努めてきた。
- 本道においては、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上になる2025年（平成37年）に、65歳以上の人口が全国よりも早くピークに達すると見込まれており、平成27年度からスタートする第6期計画は、2025年を見据えた中長期的な視点に立って、計画期間内に必要となるサービスの見込量を示すとともに、道が取り組むべき方策を明らかにし、地域包括ケアシステムの構築を目指す計画とする。

2 計画の位置付け

- この計画は、老人福祉法に基づく老人福祉計画（北海道高齢者保健福祉計画）及び介護保険法に基づく介護保険事業支援計画（北海道介護保険事業支援計画）として、道が策定するものであり、両計画は、整合性を図りながら連携して事業を推進する必要があることから、一体的に策定する。

3 計画期間

平成27年度から平成29年度までの3年間とする。

第2 高齢者等の現状と将来推計

1 高齢者等の現状と推計

- 高齢者人口は、平成29年度に約161万人（高齢化率30.2%）に達すると見込まれる。

区分 (西暦)	H22 (2010)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)	H37 (2025)
高齢者人口(千人)	1,353	1,552	1,581	1,608	1,670	1,686
高齢化率(%)	24.7	28.8	29.5	30.2	32.0	33.7

※H22は、総務省統計局「国勢調査」

※H27以降は、国立社会保障・人口問題研究所等による市町村推計値の積上げ

2 要介護者等の現状と推計

- 第1号被保険者のうち、要支援・要介護者数は、平成29年度で、約33万7千人、認定率は20.9%となると見込まれる。
- 認知症高齢者数は、平成29年度で、約18万4千人に達すると見込まれる。

区 分 (西暦)	H25 (2013)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)	H37 (2025)
第1号被保険者数(千人)	A	1,477	1,552	1,581	1,608	1,686
要支援・要介護者数(千人)	B	281	305	320	337	422
認定率(%)	B/A	19.0	19.6	20.2	20.9	25.0
認知症高齢者数(千人)	C	162	169	176	184	234
比率(%)	C/B	57.2	55.3	54.9	54.6	55.5

※H25は、厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報（暫定）（年度末の実績）

※H27以降は、厚生労働省の「介護保険事業計画用ワークシート」による市町村推計値の積上げ

3 介護人材の現状と推計

- 介護保険事業に従事する介護職員については、平成29年度に、需要に対して供給人数が約700人不足すると推計される。

(単位：千人)

区 分 (西暦)	H24 (2012)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H32 (2020)	H37 (2025)
介護職員数(需要)	80.4	89.9	93.0	96.2	101.6	112.9
介護職員数(供給)	80.4	89.5	92.5	95.5	99.1	100.3
差 引	0.0	0.4	0.5	0.7	2.5	12.6

※介護人材需給推計ワークシート（厚生労働省作成）を使用し、北海道における介護人材の需要と供給を推計

第3 サービス提供体制の現状と評価

1 介護給付等対象サービス

(1) 居宅サービス

訪問入浴介護以外のサービスで、平成25年度の達成率が90%以上となっており、特に、訪問看護、訪問介護、通所介護の達成率が高くなっている。

訪問入浴介護以外のサービスで事業所数が増加しており、株式会社等の営利法人やNPO法人の参入が進んでいる。

区 分	単 位	平成25年度		
		見込量 (A)	実績 (B)	進捗率 (B)/(A)
訪問介護	回/年	8,291,859	9,030,748	108.9%
訪問入浴介護	回/年	119,293	106,013	88.9%
訪問看護	回/年	879,005	977,822	111.2%
訪問リハビリテーション	回/年	376,124	355,330	94.5%
通所介護	回/年	4,110,213	4,303,292	104.7%
通所リハビリテーション	回/年	1,632,807	1,488,985	91.2%
短期入所生活（療養）介護	日/年	1,223,932	1,199,147	98.0%
特定施設入居者生活介護	人	8,869	8,833	99.6%

(2) 地域密着型サービス

第5期から新たに導入された定期巡回・随時対応型訪問介護看護は200%以上の達成率となっているが、実績のない圏域が14圏域ある。

また、複合型サービスは55%程度の達成率に止まっており、実績のない圏域が17圏域となっているなど、サービスの提供体制や利用状況に地域差が生じている。

区 分	単 位	平成25年度		
		見込量 (A)	実績 (B)	進捗率 (B)/(A)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人/年	3,600	8,024	222.9%
夜間対応型訪問介護	人/年	2,930	3,712	126.7%
認知症対応型通所介護	回/年	311,157	263,744	84.8%
小規模多機能型居宅介護	人/年	52,924	46,457	87.8%
認知症対応型共同生活介護	人	14,550	14,215	97.7%
地域密着型特定施設入居者生活介護	人	718	645	89.8%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人	1,713	1,778	103.8%
複合型サービス	人/年	4,380	2,387	54.5%

(3) 施設サービス

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設いずれも90%以上の達成率となっている。

特別養護老人ホームの必要入所定員総数に対する整備状況については、平成26年度末の必要入所定員総数2万5,732床に対し、平成26年度着工の整備も含めると2万5,700床が整備される見込み。

特別養護老人ホームの整備に当たっては、より身近な住み慣れた地域でサービスを提供する観点から、地域密着型の整備を促進する必要がある。

区 分	単 位	平成25年度		
		見込量 (A)	実績 (B)	進捗率 (B)/(A)
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	人	22,031	21,905	99.4%
介護老人保健施設	人	15,785	15,751	99.8%
介護療養型医療施設	人	5,111	4,650	91.0%

1 基本テーマ

計画を推進する上での基本テーマは第5期計画のテーマを引き継ぎ、次のとおりとする。

「みんなが支える明るく活力に満ちた高齢社会」づくり

2 基本的目標

計画の基本的目標は、次の4つとする。

(1) 質の高いサービス提供体制の確保

- 高齢者が要介護状態等となっても、自分の意思で自分らしい生活を営むことを可能とする高齢者の自立と尊厳を支えるケアの確立を目指し、住み慣れた地域において継続して日常生活を営むことができるよう、ニーズに見合った医療や介護サービスが地域で適切に提供される体制の整備を図る。

(2) 地域特性に応じた地域包括ケアシステムの構築

- 高齢者が住み慣れた地域でその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、限りある社会資源を効率的かつ効果的に活用しながら、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域特性に応じた取組を推進する。
- 地域包括ケアシステムの構築に向けては、地域の創意工夫を活かせる柔軟な仕組みを目指すことが必要であり、地域の将来の姿を見据えた「地域づくり」を進める。

(3) 高齢者の社会参加の促進

- 明るく活力に満ちた高齢社会を確立するため、豊富な経験や知識、技術を持った高齢者が、健康で働き、楽しみ、積極的に社会参加するなど、様々な形で地域社会に貢献し活躍することを促進する。

(4) 介護保険の安定的な運営

- 介護保険制度の安定的な運営を図るためには、地域住民、介護従事者、介護サービス事業所、民間企業、NPO等の理解や協力を得ることが求められることから、制度の普及啓発に努める。
- 介護保険財政の安定化やサービス提供体制の確保のためには、複数の市町村による広域的な取組が有効であることから、こうした取組を促進するとともに、制度を持続可能なものとするよう、介護サービス費用の適正化を図る。

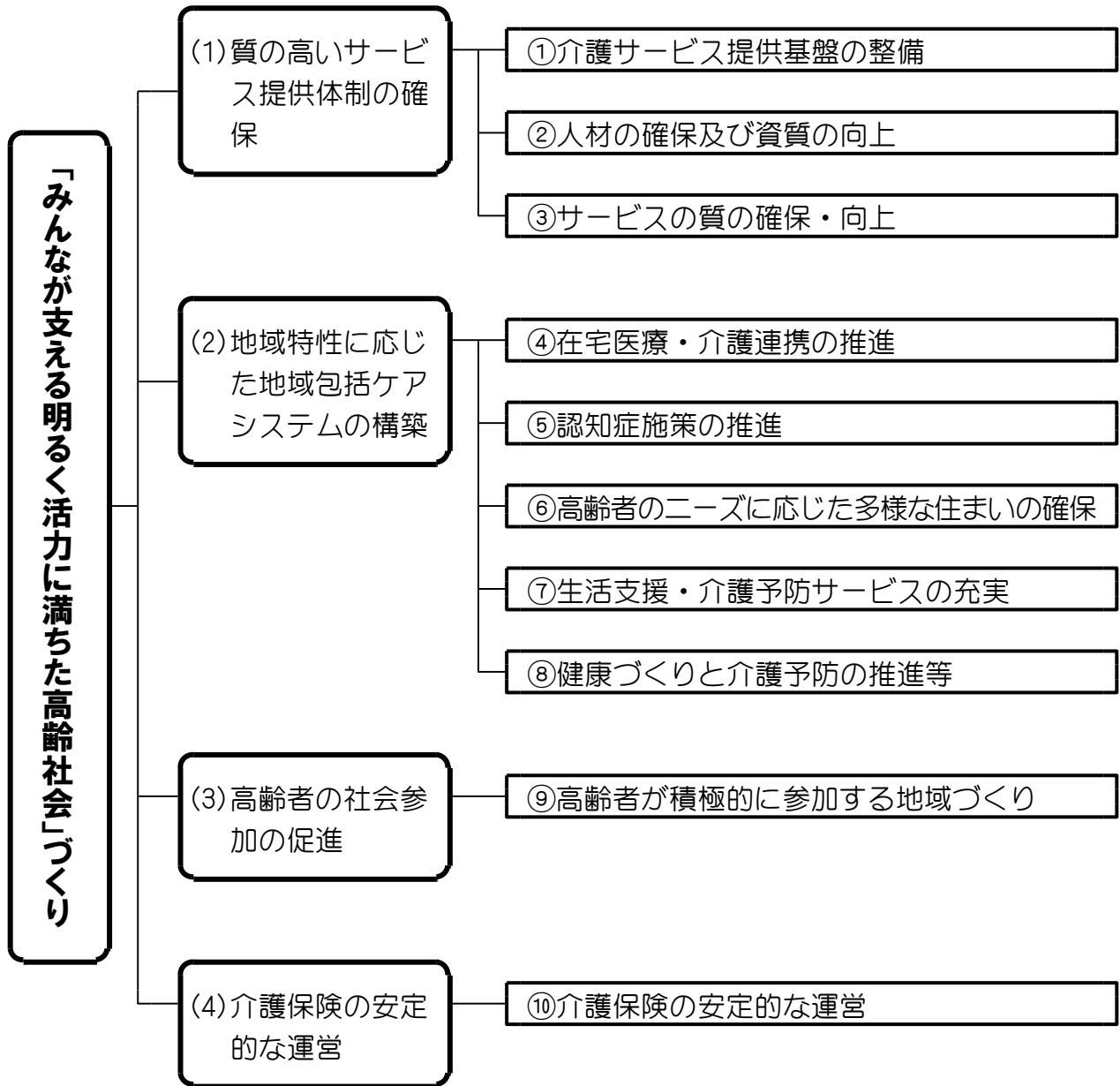
3 計画推進の基本方針

基本的目標を実現するため、次の10の基本方針を掲げて計画を推進する。

1 基本テーマ

2 基本的目標

3 計画推進の基本方針



第5 サービス量の見込みと基盤整備

1 サービスの量の見込み

この計画におけるサービスの量の見込みについては、市町村の見込みを積み上げている。

(1) 居宅サービス

サービスの種類	平成25年度 (実績)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H25)
訪問介護 (回/月)	752,562	961,574	1,035,024	1,109,014	147.4%
訪問入浴介護 (回/月)	8,834	9,157	9,702	10,355	117.2%
訪問看護 (回/月)	81,485	98,675	107,279	116,083	142.5%
訪問リハビリテーション (回/月)	29,611	43,061	48,239	53,794	181.7%
通所介護 (回/月)	358,608	420,743	332,765	360,031	100.4%
通所リハビリテーション (回/月)	124,082	128,628	131,089	132,714	107.0%
短期入所生活(療養)介護 (回/月)	99,929	114,513	123,618	132,681	132.8%
特定施設入居者生活介護 (人)	8,833	9,716	10,476	10,991	124.4%

(2) 地域密着型サービス

サービスの種類	平成25年度 (実績)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H25)
定期巡回・随時対応型訪問 介護看護 (人/月)	669	2,462	3,187	3,864	577.5%
夜間対応型訪問介護 (人/月)	309	300	312	320	103.6%
地域密着型通所介護 (回/月)	—	—	122,642	132,584	—
認知症対応型通所介護 (回/月)	21,979	24,406	25,092	25,895	117.8%
小規模多機能型居宅介護 (人/月)	3,871	4,964	5,591	6,179	159.6%
認知症対応型共同生活介護 (人)	14,215	14,873	15,458	15,854	111.5%
地域密着型特定施設入居者 生活介護 (人)	645	705	770	888	137.7%
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護 (人)	1,778	2,364	2,565	2,840	159.7%
複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護) (人/月)	199	557	797	940	472.6%

(3) 施設サービス

サービスの種類	平成25年度 (実績)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H25)
介護福祉施設サービス (介護老人福祉施設) (人)	21,905	23,382	24,041	24,782	113.1%
介護保健施設サービス (介護老人保健施設) (人)	15,751	16,361	16,557	16,859	107.0%
介護療養施設サービス (介護療養型医療施設) (人)	4,650	4,208	3,997	3,991	85.8%

2 必要入所定員総数

1 の見込量を基に、利用率等を勘案して算定。

サービスの種類	平成26年度末 定員見込(a)	平成29年度末 必要入所定員総数(b)	比較 (b-a)
介護老人福祉施設(密着含む) (特別養護老人ホーム) (人)	25,700	29,002	3,302
介護老人保健施設 (人)	16,627	17,508	881

※建設中のものを含む

基本方針	主な推進方策
<p>1 介護サービス提供基盤の整備</p>	<p>(1) 在宅生活を支えるサービス提供基盤の充実 定期巡回・随時対応型訪問介護看護や小規模多機能型居宅介護、複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）等の設置を推進。</p> <p>(2) 施設サービスの充実</p> <p>① サービス提供基盤の整備 施設の必要入所定員総数の増加に応じた施設整備を計画的に進めるとともに、特別養護老人ホームや養護老人ホーム等について、順次改築整備を行う。</p> <p>② 特別養護老人ホームへの特例入所 要介護度が軽度であっても、在宅での生活が著しく困難であると認められる場合には、指針に基づき、市町村の適切な関与のもと、入所を特例的に認める。</p> <p>③ ユニットケアの推進 できる限り家庭的な雰囲気の下で、個別性に配慮したケアが行われるよう、ユニット型の整備を促進。</p>
<p>2 人材の確保及び資質の向上</p>	<p>① 福祉・介護への理解促進 若年層に対する福祉・介護分野への理解を促進する取組を推進。</p> <p>② 福祉・介護職への参入促進 ア 事業者と求職者との橋渡しを行う福祉人材センター・バンクの事業を充実し、多様な人材の参入促進を図る。 イ 介護福祉士の養成・確保のため、介護福祉士養成施設の運営に対する助成を行う。</p> <p>③ 福祉・介護人材の資質向上 福祉・介護職員の資質・能力の向上を図るため、職種や業務経験に応じた研修を行う。</p> <p>④ 福祉・介護の労働環境・処遇の改善 事業者が自主的に行う職場の魅力を高める取組や、求職者に対し、職場の魅力を発信する取組を支援。</p> <p>⑤ 保健・医療関係人材の養成・確保 ア 看護職員の確保が図られるよう、養成所の運営や施設整備に対する助成、修学資金の貸付け、教育教材の整備。 イ 市町村における保健活動充実のため、保健師、理学療法士、作業療法士等の研修を行うなど、資質の向上を図る。</p> <p>⑥ 介護支援専門員の養成・確保 介護支援専門員の養成・確保を図るとともに、研修等を実施し、資質の向上を図る。</p>
<p>3 サービスの質の確保・向上</p>	<p>① 事業者の指定及び指導・監査等 サービス事業者に対して、適正な事業運営が行われるよう指導監査を実施するとともに、指導担当職員の研修に努める。</p>

基本方針	主な推進方策
	<p>② 介護サービスの情報公表と評価 介護サービスの利用者が、自らのニーズにあった事業所等を選択できるよう、事業所等に関する情報を公表。</p>
<p>4 在宅医療・介護連携の推進</p>	<p>① 在宅医療との連携強化の推進 ア 研修等を通じ、介護関係職員が医療知識を身につけ、医療従事者との積極的な連携を図ることでサービスの質の向上を図る。 イ 在宅医療の提供体制を充実するため、多職種の連携体制の構築や在宅医療を担う人材育成を進める。 ウ 人口規模が小さい市町村においても、在宅医療・介護サービスの資源把握や在宅医療・介護連携支援センター（仮称）の運営などに取り組むことができるよう、隣接市町村との共同実施や第二次保健医療福祉圏におけるネットワーク化などの広域的な調整を実施。</p>
<p>5 認知症施策の推進</p>	<p>① 認知症の医療対策（早期診断・早期対応） ア 認知症の鑑別診断とその初期対応、急性期治療に関する対応や専門医療相談等を実施する「認知症疾患医療センター」の設置を促進。 イ 歯科医療従事者に対する認知症ケアの基礎知識等の習得のための研修の実施。 ② 認知症の人やその家族への支援 認知症高齢者等の身元不明者が保護された場合、警察や市町村等と連携を図り、ホームページ上で情報を公開。 ③ 市民後見人の養成や後見実施機関の整備に対する支援 市町村における市民後見人養成を支援するとともに、後見実施機関の設立、運営についての助言等を行うとともに、制度の周知や利用の促進に努める。 ④ 認知症初期集中支援チームの設置などの市町村の取組に対する支援 認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員の設置などの市町村の取組に対して助成するほか、先進的な取組に関する情報提供等を行う。</p>
<p>6 高齢者のニーズに応じた多様な住まいの確保</p>	<p>① 多様な住まいの確保 ア 「サービス付き高齢者向け住宅」の登録制度の周知や、登録及び供給の促進。 イ ケアハウスや生活支援ハウス、シルバーハウジング、ユニバーサルデザインの視点に立った公営住宅等の確保。</p>
<p>7 生活支援・介護予防サービスの充実</p>	<p>① 多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの充実強化 ア 「生活支援コーディネーター」の配置や「協議体」の設置に対する助成を行うとともに、「生活支援コーディネーター」の育成やネットワーク化の推進。 イ 「アクティブシニア」をはじめとする地域住民を対象に研修を実施するなど、多様な生活支援・介護予防サービスの担い手を確保できるよう支援。</p>

基本方針	主な推進方策
	<p>② 住民参加型の地域づくりの推進 民生委員や町内会等のネットワークによる見守り体制の構築を支援するとともに、住民主体の通いの場の立ち上げ等、地域で高齢者を支える取組を支援。</p> <p>③ 地域包括支援センターの機能強化 センター職員等を対象とした意見交換会を開催することなどにより、機能強化を図る。</p> <p>④ 高齢者等が安心して暮らせるコミュニティづくりの推進 見守り、声かけをはじめとする地域における福祉活動の推進を図るとともに、ボランティアリーダーの養成やコミュニティづくりを担う人材の育成への支援。</p> <p>⑤ 高齢者の権利擁護 高齢者総合相談・虐待防止センターにおいて、専門的な助言・支援、市町村等職員に対する研修会を開催。</p>
<p>8 健康づくりと介護予防の推進等</p>	<p>(1) 健康づくりの推進 「北海道健康増進計画（すこやか北海道21）」を推進するなど、健康づくりの普及啓発に努める。</p> <p>(2) 介護予防の推進</p> <p>① 介護予防の観点からの各種活動の推進 市町村が実施する介護予防事業に対して、振興局の「市町村支援チーム」により、技術的な助言、支援を行う。</p> <p>② 地域リハビリテーション支援体制の整備 ア 地域の関係機関等と連携し、高齢者等に対して適切なリハビリテーションサービスが提供されるよう支援。 イ 市町村が取り組む高齢者に対するリハビリテーション活動を支援するため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門職の広域派遣調整を行う。</p>
<p>9 高齢者が積極的に参加する地域づくり</p>	<p>① 就業機会の確保 「シルバー人材センター」や「高齢者事業団」の活動を促進するなど、就業機会の確保に向けた支援に努める。</p> <p>② 社会活動等の促進 社会奉仕活動を行う老人クラブ等の活動を支援。</p>
<p>10 介護保険の安定的な運営</p>	<p>① 低所得者に対する介護保険料等の負担の軽減 ア 新たに、世帯非課税の被保険者に対して介護保険料の軽減措置が講じられることから、この保険料軽減に要する費用を負担 イ 社会福祉法人等が行う利用者負担の軽減制度等について、活用促進が図られるよう、市町村や利用者等に対して制度の趣旨や内容を周知。</p> <p>② 介護保険事業の広域化の推進 広域連合の設立及びサービスの共同利用による提供基盤の確保等について、必要な情報提供、市町村間の連絡調整や助言等を行い、その取組を促進。</p>

別記様式第3号(その1)

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏 名 〈就任(予定)年月〉	年齢	保有学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長代行	シマモト カズ アキ 島 本 和 明 (平成30年4月)	*	医学博士	*	日本医療大学総長 (平成28.4)